臺灣日日新報 夕刊
四月七日
夕刊定價一部貳錢
發行兼印刷人 [illegible]
臺北市榮町四丁目三十二番地
發行所 臺灣日日新報社
基隆支局 臺中支局 臺南支局 花蓮港支局 大阪支局 東京支局

支那側態度を改め
前途に解決の曙光
六日の小委員會で
日支雙方が歩寄る

【上海六日發電通】六日の停戰小委員會は午後三時開會、日本軍撤退地域特に呉淞の問題及び蘇州河以南地域に於ける支那軍の不進出問題を議したが、支那側は前回迄の強硬なる態度を改め、歩寄りの態度を示したので我方も互讓の精神で臨み、會議は[illegible]雙方共前途に解決の曙光を見るに至つた、即ち呉淞問題では支那側は遂に呉淞クリーク北岸に就ても[illegible]我に同答をなすこととなつた、同問題に就き我方の[illegible]解決を與へる爲め我軍の撤收地域に呉淞方面を日支及び中立國側を含む小委員全部で七日午後二時から實地檢分するに決し、六時十五分散會した、[illegible]支那軍の駐兵問題の內容解決のものは其の儘本會議に報告するに決した

【上海六日發聯合】六日の小委員會は悲觀説に拘らず午後三時開會、同六時半迄會議を續け、難關中の難關とされた呉淞及び蘇州クリーク以東の地區につき諒解成立した、討議は全部呉淞クリーク以東地區につき費はされ最初から支那側強硬であつたが、日本側は多少讓歩し地圖の上で雙方とも諒解成立、七日午後二時小委員全部呉淞に赴き現地につき最後決定をなす筈になつた

撤收地域を實地檢分

【上海六日發電通】小委員會散會後左のコムミユケが發表された
本日午後三時から小委員會は日本軍が撤收に際して使用する地域に付き協議の結果、好ましき進展を見た、明日の小委員會は午後から撤收地域の實地檢分に取掛ることとなつた

案外話がほぐれて來た
田代參謀長談

【上海六日發電通】小委員會散會後、田代參謀長は語る
會議は決裂の外ないと悲觀してゐたが、本日は案外に話がほぐれ、或は纏るかも知れぬと言ふ方に話が向いて來た、小委員會の仕事は之で大體一段落となつたので、後は本會議を開く必要はないと思ふ

前途は絕對的樂觀は許さぬ
撤收期明示が最難關

【上海六日發電通】六日の小委員會では支那側に讓歩の色見え、會議の空氣は好轉したが、七日の本會議は既定された支那軍駐屯地域の問題及び最難關たる我軍の撤收時期明示の問題があり、これは既に支那側が折れるものとも思はれず、依然交渉の前途は絕對に樂觀を許し難い情況にある

遂に豫算閣議は八日に延期さる
內務、農林兩省の復活要求が強硬で

【東京七日發電通】本年度追加豫算[illegible]內務、農林兩省[illegible]不可能なので、豫算閣議は一日延期し、八日の定例閣議に附議することとなつたが、右兩省と大藏省との[illegible]八日に延期しても纏まりは至難と言はれてゐる

納付金制度の創設を調査
目下大藏省に於て

【東京七日發電通】日銀の保證準備[illegible]目下大藏省で調査中なるが大綱左の如くである
一、納付金制度の創設、保證準備を現在の一億二千萬圓から十億圓に擴張すると共に保證發行稅一分二厘五毛を廢して日銀の利益金の一部を國庫に納付せしめ[illegible]なることはあるまいと見られてゐる
一、納付金制度の內容（イ）日銀の利益金より法定積立金を取り第一回配當金六分を先づ控除す（ロ）その殘りの三分の一を政府に納付す（ハ）その殘餘より第二配當四分を取る（ニ）更に殘つたものから重役賞與、行員退職資金等を取つて殘りを積立金[illegible]等に廻す

江口滿鐵副總裁を高壓的に被免
辭表を提出せぬ爲
總裁の進退注目さる

【東京七日發電通】政府は七日江口滿鐵副總裁の後任に左の如く八田嘉明氏を正式に任命した

從四位勳二等 八田嘉明
南滿洲鐵道株式會社副總裁被仰付
勳六等 江口定條
南滿洲鐵道株式會社副總裁被免

而して江口氏が願ひに依り辭任せず政府より被免されることとなつた經緯は江口氏が大養首相に對し政府の希望に副ふべく言ひ置きながら辭表を提出せざる結果政府は進んで被免の強壓手段をとつたもので今後の內田總裁の進退が注目されてゐる[illegible]

滿鐵の大森、首藤兩理事も辭任か
副總裁辭任と共に

【東京七日發電通】江口滿鐵副總裁の辭任に伴ひ、理事の辭任が問題となつてゐるが、大森、首藤兩理事は江口副總裁正式辭任と前後して辭任するものと見られてゐる

滿洲國問題で決議案を提出
アメリカ上院に

【ワシントン六日發電通】カンサス州選出共和黨上院議員アーサー・キャッパー氏は本日上院にケロッグ不戰條約の條項に反して組織せられたる組織及至協定は如何なるものも之をアメリカが承認するを拒絕するとの決議案を提出した、之は滿洲國問題を目當にしたものである

馬占山氏病み下野を希望
拜泉行きで謠言頻り

【チチハル六日發電通】馬占山氏の拜泉行は種々の謠言を生み、人心動搖せるため、政府は六日會議を開き謠言取締の布告を發すること[illegible]

滿洲國代表部を東京に設置に決す
正式承認すれば大使館に

【奉天六日發聯合】滿洲國は日滿關係重要に鑑み、東京に在日本滿洲國代表部を設置するに決し、外交部はこれが準備を進めてゐるが近く實現する筈で日本が滿洲國を承認する迄の一切の日滿間の外交事務に充てたもので、將來正式承認すると共に直にそのまま大使館に代るものである

滿洲國の人口
三千四百萬人
最初の國勢調査

【ハルビン六日發電通】滿洲政府最初の國勢調査に依ると三月三十一日現在人口三千四百萬人、面積七萬七千三百三十四平方里

滿洲新國家を英は不承認
外務次官が暗示

【ロンドン六日發電通】六日のイギリス下院に於いて外務次官イーデン大尉は質問者に答へサイモン外相は滿洲國外相より正式の外交關係を開きたいとの意味の通告を受けたが之に對し回答しなかつたと述べてイギリスが滿洲國を承認せざる事に決定した旨を暗示した

關東軍特務部確立の要點
陸軍中央部と協議

【東京七日發電通】關東軍司令部內に特務部を確立する件に付き、三宅關東軍參謀長と陸軍中央部との間にて目下協議中であるが、その要點は大略左の如きものである
一、關東軍特務部は直接軍事關係以外の諸事項に關する關東軍司令官の諮問に應じ研究を掌るものとする（現在は實現保留）
一、特務部長には關東軍參謀長が當り部員は委員制度に依る
一、委員は總て文官とし各方面の有識者を網羅する

四ケ國會議早くも分裂
英佛と獨伊とが

【ロンドン六日發聯合】英外務省に開かれたダニューヴ河畔諸國救濟會議は財政的破局に直面するダニューヴ諸國に對し即時救濟の手段を講ずる事が絕對に必要だとの原則では意見の一致を見たが、ブルガリヤをダニューヴ經濟聯合に加入せしむべきや否や、四國會議と別にダニューヴ諸國會議を開催すべきや否やの主要諸問題で、早くも英佛と獨伊とが對立するに至り、四ケ國會議は第一日で早くも分裂を示すに至つた、即ち英佛は四ケ國會議でダニューヴ經濟聯合案を確定、これをチエッコ、オーストリー、ハンガリー、ルーマニヤ、ユーゴースラビヤの各政府に提示し、同意を求むべきを主張、獨伊は直に關係全部の會議を開くべしと強調した

滿洲移民の諒解を求む

【東京七日發電通】加藤拓務次官は六日午後五時半荒木陸相を訪問し滿洲移民に付き諒解を求めた

留守隊司令官變更さる

【東京七日發電通】滿洲出動中の[illegible]留守隊司令官は都合に依り左の通り變更された
陸軍中將 蒲[illegible]
姫路兩師團留守隊司令官（姫路）
陸軍步兵學校長（千葉） 陸軍中將 原田敬一
第八師團留守隊司令官（弘前）

米長官の渡歐で
東洋問題再燃か
アメリカ官邊での話

【ワシントン六日發電通】アメリカ官邊より聞知せる所に據れば、來るジユネーヴ軍縮會議首席全權として八日當地發渡歐するスチムソン國務長官はこの機會に歐洲諸國の政治家と會見、東洋の事態に付き商議し九ケ國條約不戰條約に關するスチムソン長官の解釋に對し歐洲諸國が如何なる支持を與へるかに付き確かめる豫定であると、この結果スチムソン長官の渡歐に依り東洋の問題が歐洲外交界に再燃することも當然あり得べきことと期待されてゐる、尚スチムソン長官一行はイギリスの旅券査證を受けてゐることも確かめられた

日支問題に付
松平大使演說

【ロンドン六日發電通】六日津島財務官主催に係る英國金融業者財政家招待の非公式晚餐會席上松平大使は日支問題に關し約三十分に亙る演說をなした
日本は支那に於て何等領土的野[illegible]むを有せず、門戶解放の原則は仲まで之を尊重する、上海事件に關しては日本の上海に於ける利害關係は純然たる經濟的のものにして、何等政治的意圖を有しない、故に日本は近く開かれる圓卓會議が平和と秩序確立のため最良の方法を案出せんことを希望し期待してゐる

ロイド・ジョーヂ氏
第一線から隱退
今後は文筆に親しむ

【ロンドン六日發聯合】英政界巨頭自由黨首領ロイド・ジョーヂ氏は七十の老齡に達し、過般の英財政危機に際し擧國一致內閣に反對し、サイモン、サミユエル氏等多年の同志と別れ、更に引續き擧行された總選擧に保守黨の壓倒的勝利を見、以來氣勢頗るあがらず、今回遂に政界第一線より隱退の決意をなすに至つた、但し下院議席は維持するが今後は主として文筆に親しみ田園生活に閑日月を送ると見られてゐる

財政難局切拔けの
英佛の對案
佛は平價切下に依る
新金本位制を主張

【ロンドン六日發電通】四月當地に於て行はれた英佛會談に關し聞知する所に依ればイギリス側は現在の財政的難局を切拔けるために金本位制の一時停止案を提案したるに對しフランス側は金本位制を停止するといふ案でなく平價切下に依る新金本位制を採用し即時之を實施するといふ對案を出しフランスはこの案ならば同意する旨を述べた

その日その日

○グツと折れては恬券にかかはるから、折れるにしてもチビリ／＼だらうだ、支那の行き方は——

○蔣介石あたりには、日本に對する認識がやつと幾分はついたらしい、更に角我も不明だつた

○聯盟の支那を見て調査委員一行はどんな感想を得つつあるか、恐らく百聞は一見に若かずだらう

○今は全滿洲における兵匪や馬賊の大清掃時代だ、日滿協力一致速かに目的を達したい

○滿洲に[illegible]建設するには是等の[illegible]を平定するのが先決問題、徹底的に掃蕩しなくては

○上海の[illegible]小ぜり合、これかまたぞろ[illegible]に大げさに言傳され[illegible]て論議されるだらう

○米國邊りの新聞雜誌などは、日本を「暗殺の國」と言ひをる、誠に恥しい、が事實だから仕方ない

○失業群がカナダで一揆を起し首相に辭職を迫る、生活難を強ひられたればこそ、國でも個人でも同じ

○社會不安の一掃が本當にできたら鈴木內相大明神

○愛國五錢運動の[illegible]寄附者の激増にも同情される

○「臺北の大晦日」並ぶ振ひで東臺灣巡視、東部の住民はさぞ嬉しがることだらう

○中央集權は昔のこと、今は地方分權と民衆上達の時代だ、地方官連の認識更改が望まれてゐる

○臺灣からも[illegible]の[illegible]に[illegible]助長させすべき[illegible]積極的なるは正に[illegible]の秘訣

驅逐○○二隻
馬公に歸る

【馬公特電七日發】對岸警備中の驅逐○○は六日、○○は七日入港した

平塚長官
九日上京
天長節までには歸臺

平塚長官は九日基隆出帆の蓬萊丸にて上京し、[illegible]天長節に間に合ふやうに歸臺する筈で、用件は主に經濟關係及び其の他の雜務である

人事

▲平塚長官夫人 長官と共に九日上京
▲山崎榮氏（昭和製糖專務）六日來北八日[illegible]方面へ
▲持田二郎氏（臺灣製糖支配人）七日內地へ
▲平田末治氏（高砂麥酒重役）七日來北（[illegible]）
▲加納高氏（[illegible]會計係長）六日來北（[illegible]）

會事

▲報國[illegible]會 東門町曹洞宗別院に於て八日午後一時より五色園子の接待あり

◇—無絃琴—◇

この間名古屋で開いた日本[illegible]第十一回醫學總會は、オール日本から斯界權威あるドクトル連が集まり新記錄を作つた程の大盛會で、參會した醫師の數實に三千名といふから大したものである▲臺灣からも北醫から[illegible]の加納院長などが出席したが、會は內科、外科、小兒、婦人科、眼科、咽喉、神經、消化器、泌尿器、齒科、寄生蟲、傳染病の十二分會に分れ其の演題も一千題に及び一年間我が醫學界の研究成績の主なるものが殆ど凡て發表されたといふわけで素晴らしいものであつたさうだ▲その中には[illegible]三十餘度の[illegible]でも活きてゐるとか消化器分泌の生理とか、臺灣などに[illegible]多いが而も未だ研究の餘地のある[illegible]氏管狹窄症とか、さては不良少年の研究などまで出て隨分賑はある大會合であつたといふ▲臺北放送局のニユウスは意外な方面で意外にも利用されてゐるのには時々驚かされるが、本社のマニラ通信員の消息に見るやうな一例は可なり興味深いものだ▲マニラの[illegible]新聞デーテに對し在留邦人が臺北の時局ニユウスを聽取して送り反日紙の勝手な出たらめニユウスの裏をあかし井上前藏相の遭難記事の如き國際的[illegible]を拔いて[illegible]な成功を收めたといふが、反日紙の裏を明かしただけに痛快極まる JFAKもなか／＼國家的大事業をやつてゐるわけだ。

火の鳥
(61)
中村星湖作
吉本雅生畫

シベリヤ越えて（七）

日ではそんな事を、はつきりと[illegible]と言ひ[illegible]なかつた。が、綾子の目には不思議な涙が浮いてゐた。しかし、それは秋山の見過りで、實際は、いつも人形の目のやうな魅惑的な光を持つたかの女の目がおのづとかもし出したイリユージヨンだつたかも知れなかつた。それが、フランスでかれがかの女を見た最後だつた。

二月十一日の夜、かれが北の停車場から伯林行きの列車に乘込んだ時に、そこまで見送りに來てくれたのは小澤夫婦をはじめとして、[illegible]の東、その女友達のブラジル娘、會社員の高橋、大使館員の某、フランス人の某々等、凡そ十四、五名だつた。

旅費が乏しくなつたために、秋山は三等の切符を買つたが、三等は彼の趣味で、毛布など敷いて寢るのが愉快だつた。見送り人の或人かは、わざ／＼車內へ入つて來て『滿洲事變』がまだどう變化するか解らぬから途中を氣を付けろ、とか、シベリヤの寒さはひどいに違ひないから、寢部で來援の時分には、なるべく二等にしたがよいとか、病氣の[illegible]さんが、君のむかうに着くまで無事でゐてくれることを祈る、とか、色々親切な言葉をかけてくれたが、大方は窓越しに帽子を取つて挨拶するか、せい／＼握手を交はす程度だつた。

[illegible]の人數で、例も[illegible]らずに、[illegible]たり踊つたりした伴村氏の出發などとは比較にならない、淋しい、ひつそりした出發だつた。

「片付物があつたりしたのでつい遲くなつてすみません。」

もう、發車にあと三分とない頃に、世話女房の忙しさを汽車の中にまでもしよひ込んだやうに、息せき切つて入つて來たのは、高橋の細君だつた。かの女は、ほかの人と話し[illegible]の秋山をちよつと引張り出すやうにして、聞き取れない程の聲で囁いた。

「新城さん夫婦は來てゐませんね？」

「來てゐない。なぜ？」

「それが當り前ではあるか、[illegible]さんはこの頃も來て、ずゐぶん[illegible]らしい事を言つてましたよ、一緒に行けるものなら行きたいなんて駄々をこねられてわたし困つた」

「僕にもそんな事言つたけれど、本氣ぢやないんだよ、そんな氣もするといふだけのことさ。」

「……」

高橋の細君は、無言で、かれと握手した。何も彼もかの女だけが知つてゐるといふ風に。そして、かの女は本當に泣いてゐるのだつた。

けたたましい發車の鈴が鳴り出した。高橋の細君は泣き顏を隱しながら、あわてて列車から降りた。

「さやうなら！」

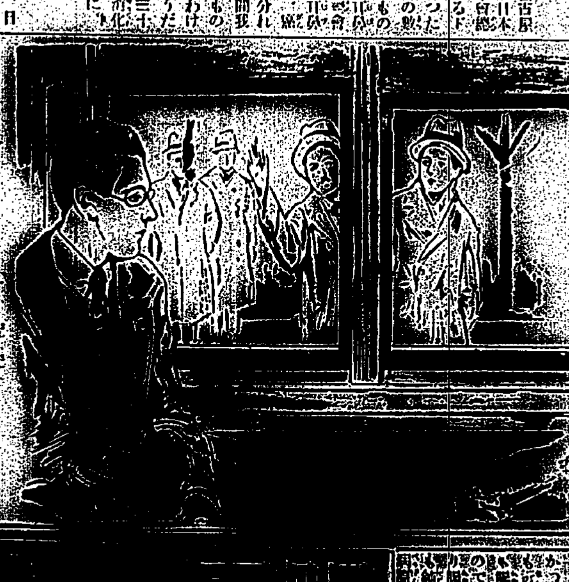
「さやうなら！」

歸らず行く者と、あとに殘る人たちとの間に、その常套的な挨拶が交はされた。見送る人々は列車に連れて二三歩動いて來るらしかつたが、長追ひする者はなかつた。

「さやうなら！」

秋山が一番あとで投げたその挨拶は、見送つてくれた人々にといふよりは、もう再びかれが歸ることはないであらうパリへ、フランスへの告別だつた。

次第に夜の闇に沒してゆくパリの町を見送しながら、いつまでもかれは窓口に佇んでゐた。



腸胃病の病源と
腸胃カタルの速療法

何より健康が第一だと言はれるが、健康の中でも腸胃の健康が絕對第一である。腸胃に故障のある人は長生きをすることが出來ず、常に[illegible]病に冒かされ、大きな事業を遂行する精力がなく、日常生活を十分に享樂することも出來ない。胃と腸はどちらも大切であるが、腸の丈夫な方が一層健康的である食物は胃の中でのみ消化されるのではなく腸の中でも消化され、しかも榮養分を血液中へ吸收するのは大部分腸の働きである。

[illegible]

腐敗醱酵 [illegible]

內臓の炎症 [illegible]

腸カタル [illegible]

粘液の分泌 [illegible]

危險率の多いのは [illegible]

[illegible]の常備が必要である。

腸胃を健全にし體重を增す
定價 二十錢・三十錢・五十錢 （徑用）一圓・二圓・六圓
本舖 東京市日本橋 津村敬天堂
振替東京八六四番

◇春光に棉の木の花ほころぶ（六日植物園で撮す）

氣紛れ喜劇王 臺灣に來るか

日程を變更して 香港には廿一日に到著

【香港特電】世界の喜劇王チャーリー・チャップリンは兄のシドニーと共に氣紛れな世界一周旅行をやつてゐるが、愈々四月下旬から五月上旬にかけて其の姿を懐かしの日本へ現はすことになつた、即ち新嘉坡で郵船諏訪丸を乘り捨てた彼は、瓜哇から蘭領各地を漫遊して再び新嘉坡に引かへすのだが、最初

豫定してゐた伏見丸に乘船する見込みが立たなくなり、結局同地を四月十六日に出帆する太平洋汽船會社のチトラル號に乘込み、二十一日に當香港へ到着するであらうと見られてゐる、而して[illegible]によるとルンペン王チャップリンは瓜哇方面土人の生活に頗る興味を感じ、同地方滯在日數も延びて自然豫定の變更を見るに至つたものの如く、香港には八日間滯在の豫定で、其の間に廣東や澳門を見物することになるであらう、さうして彼の

氣紛れ が更に其の旅程を變更しない限り、香港から[illegible]丸に搭じて、愈々日本へ急航するであらうが、彼が其の輕妙自在な[illegible]の身體を日本のキネマ・ファンの前に現はすのは五月上旬となるわけである、五月上旬となれば日本の櫻も大方は散り果ててゐるだらうが、氣候は一年中で最もよい時節だから彼は多分、最後の大的豫定變更を行つて、日本滯在を思ふ存分に延ばすかも知れない、世界三大美港の一つであるには相違ないが、さうして

極東の 關門として特異の風物に富んでゐないわけではないが、香港のやうな狹隘な土地に彼が果して八日間も滯在する氣になるだらうか、革命の策源地廣東に乘込んでも支那人の實際生活を見るであらうところの彼、澳門に於て其處に東洋のモナコを發見するであらうところの彼であるとしても、何しろ世界第一の氣紛れ者でもある彼だから急にプログラムを塗りつぶして、マニラか又は

臺灣へ と例の珍妙な足を枉げないとも限らない、[illegible]が彼に惡作してゐることだから、どんな[illegible]から彼の發興行きが實現しないとも限らない、第一彼今回の旅行の目的が[illegible]としてゐない、ただ世界各國の風物や生活を見て廻つて、醍醐味の充實を計つてゐることだけは否定出來るまい、彼が苦心の映畫「街の灯」の完成を見るなり、ぶらりと母國英國に向つたのは昨年の三月……英國に彼つたのは其の懐かしい生れ故郷であるが、[illegible]「鄕」の

稱號を 再び[illegible]に行くのだ、イヤ、新しい相手女優を漁り出しに行くのだ、等々の噂とりどりだつたが、渡英後のチャップリンはマツク首相と形式的にちよつと會つた丈けで、華やかな宴會などには成る丈け出席を避け、如何にもルンペン映畫の主人公らしくヨーロッパ各國を飄々として自由にさすらひ歩いた、フランスでは彼が映畫人としての貢獻に對し大統領からフランスの最高名譽の表徴たるレヂオン・ド・ノール十字章を贈つたが

寂しき 自由人たる彼チャップリンに取つては、さうした當時らしい社會的表彰も關心を呼ばなかつたらしい、かうしたチャップリンの事であるから、彼の旅程を今から決定的に推測して、歡迎のファンを喜ばせたり悲觀させたりすることは心なきわざである（香港通信員大航生）

スポーツを通じ 日滿の握手

オリンピック大會を 五月に滿洲で開催

【奉天六日發電通】滿洲國と日本との日滿交驩オリンピック第一回大會は五月中旬開催さるべく準備を急いでゐる

一、第一回奉天國際競技會又は新京競技場で開催す

一、選手は日滿兩國の小中學生青年團の男女を網羅す

（競技は毎年盛大に行はれる筈）

暴風を冒し 愛國二號機空輸

方正の負傷者全部を

【ハルビン六日發電通】愛國二號機は六日暴風を冒し負傷者の殘り五名を方正よりハルビンに空輸し野戰病院に收容した、之で全部の負傷者を收容し終つた譯である

靖國神社への 合祀者發表

霧社事件の殉歿者 六名も官報で公布

【東京七日發電通】四月四日付陸海軍兩大臣の名をもつて臺灣霧社事件に關し死歿したる左の者を特別を以て靖國神社に合祀を仰出された旨本日の官報で公布された

臺灣總督府警部　柴田一

臺中州巡查部長　幡手國彥

同　坂井市郎

花蓮港廳巡查　丸田英太郎

同　田島三郎

臺北州巡查　兵頭守

國難會議開かる

參列の代表者 百六十名

【高松七日發聯合】行政手段[illegible]長等一行は六日朝當地に到着、國難會議開會式は七日朝八時より開催された、目下參集せる各地代表は百六十名である

來朝の途にあるチャップリン

春・街で拾つた話……（終）

教育家がカフェ通ひ

造花の櫻の下でご氣焔

櫻の花の見られない臺北の町にも春の感覺は何處から來る？ 身に沁みる寒風、何時まで冷たくなる霜柱、重苦るしい灰色の冬の空が晴れて[illegible]の芽が、綠の芽が、仄かに咲かさを誇える春光の中に萌え出づるのを合圖のやうにして內地の春は訪れて來る。そして櫻の花が咲いたの[illegible]に春は正に酣、茲に邦人士は春の歡樂に浸るのだ、春に醉ふのだ。それなのに臺北の春の哀れは餘りに影がうすい。春を求めて探すに非ざれば春來るの感じは餘りに淋い。冬から直ぐ夏だ。春らしい話は一向落ちても居ない。春だ、櫻だ、セルの大賣出しだ、萬引レデーだ、宗川人だ、〇〇狂だの騷が[illegible]相つぐ都の空を想ひ出し僅かに春を思ふのみだ。

× ×

カフェーでも其の通りだ。ストーブを圍んで盃をあげる寒さを脫して既にセルの感觸伏かりさうなウエートレスの肌に觸まれる許り濕き感じは、北[illegible]の國ではピタリと來ない。が矢張り求めて得ざる感興を憾じつつカフェーの扉を叩く。櫻の花ーー無論ホンモノではないーーの下に頻に盃をあげて居る紳士面が居る。見た事のある顔だ。

× ×

「敎育家もカフェーは悪くないと見えますナ」と一本參ると

「ハハア」

と哄笑を爆發さして

「敎育者がカフェーにはいつちや悪いといふ法律はあるまい」

と許り先生大分メートルがあがつてゐる。

「何うも敎育者といふものは窮屈で不足でいかんヨ。社會の實狀に通じなければ所謂事件に卽した敎育は出來ないんだから」

「之れ[illegible]は風紀上如何はしい點があると[illegible]して困つたが、案外[illegible]の多い所だ。女給と春らしい話も言へば必ずつきものの樣だが、新聞にして殆と聞かないねえ」

× ×

「春らしい話だつてフン、リーベシがリーベンするとかしたとかいふ事は人間の本性に出でる事で之を以て風紀上云々といふ事は出來ないさ。美しい女を見ても何うといふ氣持ちを起きない奴ばかりちや人生は寂寞さ。敎育者といふ假面を被つてシカツメらしい顔をして、その實たまに注ぎなんかすると本性を暴露して馬鹿な目に逢ふ者もある。女敎員が婚期を逃してヒステリーになつて意地の悪いオールドミスになつてそれで立派な敎育が出來るかつてえんだ。つひ此間も年の頃は二十五、六の女敎員が古い暗い校舍の中に毎日顔を合せる男敎員の一人に妙な感じを起してそれから何の因果まで進んだか知らないが、相當の仲になつたとか、なりかけたとかで校長の御耳にはいつて[illegible]れ[illegible]の下に何うも左遷位になりさうだつてねえ。實に譯しからん。春らしくツて俺だつたら大いに嬉しいんだが、實に怪しからん話さ」

× ×

何本かのお銚子に元氣し、饒舌になる、此の男も亦戀ならぬ人生に、刹那の享樂を追ふ一人か春の一夜の點描た姿だ。

內海知事巡視

【新竹電話】內海新竹州知事は七日郡役所[illegible]試驗場等の視察を行つたが、八日は午前十時七分着出礦坑製油所、郡役所、出張所、小公學校等を巡視して出礦坑泊、九日同所に大湖を視察し苗栗に引返し一泊、十日公司寮を經て竹南に到り同所視察の上歸廳すると

何軍政部長が 軍情を報告

【南京六日發電通】軍政部長何應欽は蔣介石の招電に依り六日洛陽より歸京し、陝西、河南兩省の軍事狀態を報告した、同時に緊急政府命令で[illegible]が參謀次長に任命された

方正の激戰で 敵の死傷は數千

わが死傷四十五名

【ハルビン六日發電通】村井〇〇旅團司令部發、長谷部天野兩旅團は五日方正に入城三日來同地方の激戰に於ける我負傷は將校〇兵隊長以下三十六名、戰死下士以下九名、敵の死者七百、負傷千八百、其他我飛行機の爆擊に依る敵の死傷數千名に上る見込

古年兵三千名 召集を解除

陸軍省から發表

【東京六日發電通】陸軍省發表、先に第十四師團を上海に派遣せらるるに當り召集された豫後備兵中內地にて勤務して居る古年兵約三千名は初年兵第一期敎育を終了したため今回召集を解除されることとなり六日發令を見た

漢口に強震

【漢口六日發電通】六日午後五時十三分當地に猛烈な地震あり、市民は戶外に飛出した、支那の事とて地震計もなく震源地その他一切不明である

博愛病院の實情を 森田課長が視察

收入激減して維持困難

在廣邦人は存續を希望

【廣東本社通信員發】臺灣總督府警務局では當地の博愛會病院の實情視察の必要を認め警務局衞生課長森田俊介氏を派遣したが、同氏は松村[illegible]を臨へ此の程中より廣東各方面を

視察中 のところ、去る二日河南[illegible]を經て香港に向つた、途中汕頭[illegible]門を經て七日頃臺灣歸任の豫定である、折惡しく來廣中の米國エンプレス號觀光客の一部が同船で歸香したので船室が滿員となり、森田氏等は食堂の椅子にもたれて一夜を明かしたと云ふ有樣であつた。同氏の視察使命は博愛會病院の死活問題に關してゐるらしいが、同病院は總督府より毎年數萬の補助を受け、廣東に於ける衞生機關として相當權威を有し、在留邦人は勿論支那人の爲にも多大の

貢獻を して來たのであるが、滿洲事變以來一日の收入五六百元が僅か二十元程度に激減し、大缺損を重ね、維持困難の狀態に陷つて居るので一行の視察もこの方面に向けられ、森院長代理始め職員一同同病院の現狀について詳しく說明及び陳情するところあつたが、同病院は唯一の日本人病院であり、且つ多年の歷史を有してゐるので今後も引續き維持される樣在廣邦人は一致して希望してゐる

森田衞生課長歸る

七日入港の福建丸で

南支視察中であつた警務局衞生課長森田俊介氏は七日基隆入港の福建丸にて歸著し、臺北午前十一時十二分歸任した

大武崙炭坑の ガス爆發

三名重傷を負ふ

【基隆電話】六日午後三時半基隆大武崙炭坑坑口より百四十尺の地點で同地坑內監督唐金木（二七）及び運搬夫張心婦（二一）の兩名がアセチリンランプを提げて通行中突然坑內に彌漫してゐたガスに引火爆發し兩名とも顔面その他に大火傷を負ひ直ちに基隆醫院に擔ぎ込まれて加療中であるが何れも瀕死の重傷である

女ばかり…… 十數人を恐喝

無賴漢北署に檢擧

不景氣のせいか一ケ月前より臺北市大稻埕に無賴漢風の男が出沒し常に藝者、娼妓、酌婦等の弱い女を恐喝して絕ゑとの風評を聞き込んだ北署の防犯係は江島部長以下全員協力の下に犯人を搜索中、六日午後十時頃になつて市內日新町の路上で

金を貸す貸さんかはおまへ等の勝手だ、そしておまへ等に對して俺が如何な態度に出るかは俺の勝手だ！

とたんかを切り金錢を強要してゐる一本島人男を發見、逮捕して北署で取調べた結果、右は市內蓬萊町一の三六無職成東[illegible]（二〇）と云ひ同人は昨年十二月頃職にあぶれ食に窮した揚句市內大平町四の一七六林氏香某方より現金數圓を強奪して成功した事に味を覺え、以後數回に亘り女ばかりの恐喝を働いた事を自白した、目下餘罪その他につき嚴重取調べ中

優秀飛行機の 製作に進出

帝大航空研究所が 豫算に經費を計上

【東京七日發電通】滿洲上海兩事變の經驗により從來の重要性を愈々加はり、飛行機の製作は焦眉の急となつたが、帝大航空研究所では飛行機製作の權威的立場より一歩を進め、今回多年に亘る學術的研究を基礎として飛行機製作の計畫を立て、明年度豫算に經費計上の筈であるが、政府にして困難とせば民間特志家の寄附を仰ぎ、是非實現せしむる意氣込であるが、試作計畫中の飛行機は

一、長距離用飛行機

二、上昇力高速力飛行機

の二種である

能高郡下に きのふ降雹

立鷹駐在所附近に 十數分間降り續く

【臺中電話】能高郡立鷹駐在所附近は六日朝六時半頃から前日來の曇天であつたが、八時頃になるや直徑一センチ位の降雹あり十數分間降り續いて附近一帶は眞白となつた

警察の元給仕 惡事を働く

【基隆電話】元基隆署元町派出所給仕を勤めてゐた林瑞滿は昨年末頃から管內住民の諸所に於しその無智に乘じて手數料を強要し又は屆け出でた拾得物を橫領した他同派出所勤務巡查の名を詐つて數々の不正を働いてゐた事をこの程管內住民の非難の聲漸く高くなつた所から基隆署刑事係の知る所となり、七日松野警部補は同人を召喚取調べを開始した、因みに同人は目下元町某官衙の雇員を勤めてゐる

東京札幌間に 超特急

廿四時間で走る

【東京七日發電通】東京札幌間列車のスピードアップは財界不況に禍せられ一時沙汰止となつてゐたが今回七年度の鐵道改良費一千一百萬圓をもつて今秋十一月末までに、靑函間連絡時間を除いて東京札幌間全部の線路を改良することとなつた、これに依つて東京札幌を二十四時間で突破する超特急が實現される

貴金屬と現金 二千餘圓を盜む

北署、大泥棒を逮捕

二、三日前より臺北北署[illegible]刑事が貴金屬現金[illegible]二千餘圓を盜いだ大泥棒として市內[illegible]町[illegible]秋鴻（三二）を北署に逮捕し、嚴重に取調べを續けてゐるが、右者の大膽不敵な犯罪手口その他より綜合して見ご既報の本年一月十九日午前一時頃市內大正町八條通[illegible]某宅に押し入り現金貴金屬類二千百餘圓を窃取した犯人であるやも知れずと見なされ、引き續き詳細調査中

臺北の花祭り

七日の講演會を皮切りに 十日までの催し物

臺北に於ける年中行事の華たる釋尊降誕花祭會は年々盛大に擧行されて來たが本年は特に花祭會當日は勿論、七日より講演を龍山寺に開催するをきつかけに八日午後七時より當日本社三階に於て「釋尊降誕に就て」の講題の下に岡田榮觀師、龜山圓香師の講演あり、[illegible]に同日午後六時半より[illegible]になる[illegible]「花まつりの歌」を[illegible]して[illegible]、[illegible]、宗敎劇等番組がある（入場無料）入場券は東門曹洞宗別院東本願寺等で配布中、更に九日は[illegible]より市內各病院慰問者慰問をなし、午後七時より[illegible]

池中に溺死體

【基隆電話】六日午後四時半頃基隆市西町山中の池に二十四五歲位の支那人風の男の溺死體が浮かんでゐたのを通行人が發見屆出でにより基隆署より吉田部長出張檢視したが住所氏名不詳死因も不明なので目下取調べ中

◇長唄歌詞訂正　七日夜八時四十分からの杵屋彌司さん長唄「[illegible]娘」の歌詞は放送局の手違ひで全然違つたものである由につきお斷りしておく

兵器獻金ご 橋費寄附

新竹州大溪街役場產業技手黃福恩君は[illegible]の[illegible]と[illegible]道路開設の爲[illegible]金百圓を[illegible]寄附した又[illegible]內地人の同好者を以て組織した[illegible]會にては持寄品を賣却し四十五圓六十八錢を兵器獻金に[illegible]することになつてゐる

アミ族蕃が 讚美歌合唱

設敎六十周年記念式

北部臺灣基督長老敎會設敎六十周年並に臺北私立神學校創立五十周年記念祝賀のため加奈陀長老敎會團總務長ブラウン博士を迎へて六七日の兩日午前九時より淡水中學講堂に於て信者一同の記念禮拜及び記念講演式を行つたが、六日は午後二時より

祝賀式 を行ひ、來賓平塚長官、安武文敎局長、中瀨州知事、[illegible]郡長、淡水郡守[illegible]南部からも來會した信者約合せて一千餘名の列席を見、頗る盛會であつた、次に張金波氏から[illegible]ブラウン博士及び[illegible]博士（南部敎會代表）マクウワード博士（[illegible]代表）[illegible]總會長その他の祝辭があり、夜に入ると午後六時半より[illegible]の

宗敎劇 とアミ族蕃の合唱があつた、アミ族の男女は正式に立派な服裝をして男女が「上帝[illegible]」の合唱をし來賓を驚かし午後十時に閉會した

ウエルカム

▲ケイ子樣同級です、變な男といふのはカスリの着物か洋服で髮を分けた人でせう（エス子）▲商業學校を卒業する南洋協會支部は何處にありますか（發展生）▲總督府內にあります（係）▲金融人野球聯盟に[illegible]組合も加入しては如何（一六銀行）▲エス子よジャパンタイムス社の口座は東京六四八四番です（エッチ生）▲小公學校の敎員試驗檢定は敎員の經驗と受驗者の經驗で選びます州市郡視學に聞いて下さい（文敎局職員某）▲シグネ・レオン嬢の[illegible]と舞踊には[illegible]（ソアン）▲新竹[illegible]の集配人は異つた所に手紙を配つては困ります（不滿生）

天氣概況（七日）

本島及沖繩方面は今朝來高氣壓へ一帶に風弱く[illegible]、島內は臺中以北と澎湖島は曇り、臺北地方は小雨模樣がありますが南部は[illegible]好天氣となつて居ります

▲天氣豫報（八日）

臺北[illegible]　北乃至東の風弱く曇り（但し山地雨あり）

[illegible]　北乃至東の風弱く曇り

各地氣溫（六日）

[illegible]

商況

米況（七日）

[illegible]

東京期米

[illegible]

神戶期米

[illegible]

大阪期米

[illegible]

株況

大阪短期

[illegible]

食道樂　二鶴本店　電話三三一番

店舗新築記念の爲め　メガネ 時計 二割引　分解掃除六十錢 半ケ年保證　東京堂　臺北市 郵便本局前

生徒募集　晝間五月十六日 夜間五月十日開始　活動寫眞應用自動車解說フイルム（全十三卷）　臺北市東門町三三番地（電話四〇六九番）　公認 東洋自動車講習所　規則の申込次第[illegible]　所長[illegible]

殘月譜（149）

志乃田廸司作
清水三重三畫

見えぬ絲（五）

夕方の丸勘の店は忙しい。

何町れが炭を積んで、どし／＼入つて來る。

それを、介所の前へ、大きな帳面に矢立の墨をつけては番頭が、書き入れて居る。

「ええかい、旅どん！」

「おお、帳面は合つたぞ」

「ちやい、さよなら」

「御苦労さま」

つ、と、ど、ど、とう」

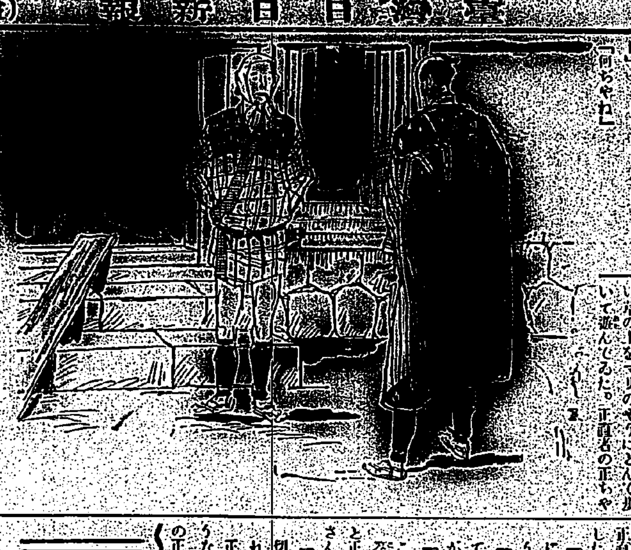
さになつた何町れの馬子は、馬を叱つて、手綱を肩に出て行くのだ。

入り交つて、小田原提燈をさげた何町れが又一組。

其處へ、脇侠束の、きりり、とした男が立つた。

「ちよいと、お訊ね申しやすが――」

「何ちやね」



鉈豆煙管で、一服つけた馬子が、うさん臭さうに云つた。

「あの、丸勘さんと云ふのは？」

「此の御店だぜ」

「へへへ、さうで御座いますか、なるほど、豪勢なもので御座いますな」

「ははは丸勘は我孫子の名物さ」

「全くで――」

男は、のび上つて、向ふの店先を見る。

「お前さん何處から來なさつた」

馬子が訊ねた。

「へえ、あつちからで――」

「あつちつて、何處だい」

「その、江戸なんで――」

「はははゝ成程ゝ江戸か、あつちに違ひねえ――」

馬子は煙管をはたいて。

「と、どう、どう」

と、駈け出した。

「あつ――」

男は、思はず、横飛びに飛んで

「ひでえことをしやがる、躓りもしないで――」

と呟いた。

「おう、どいた／＼」

太い聲が、すぐ、脇の男の後ろにした。

「何だ？」

ふりかへると。

「ふん、ふん」

と勢かい、呼吸を大きく出した馬の長い顔が、すぐ眼の前だ。

「わつ！――危ねえ」

「邪魔になるぜえ」

馬子はちろり男を見て行つた。

「何の若く所か見たけりや店へ行かつしやい、茶位奨るぜ、丸勘さんは」

馬子は、人のいい顔で、笑つてゐる。

「ありがとう」

いそ／＼しさうに旅の男は一寸退いたが、ふと気付いたやうに、通りかけの馬子に近寄つた。

「一寸、伺ひます」

「何ちやね」

「此處の丸勘の旦那に、お内儀さんかありますか？」

「無いなあ」

「えつ？」

「丸勘の旦那は獨りもんだよ」

「へえ！」

旅の男、意外な面持ちだ。

「おい、聞いたか！迎つてるぞ、丸勘のお内儀さん、出來たぞ、存前はとつてゐるが美しいぜ」

「さうかい、そいつあ、俺あ知らなんだ、はははは」

馬子と云ふ馬子が大口開いて笑つた。

童話

正直正ちやん

山中三郎

村に春がやつて來ました。子供たちは柔かい草の上をマリのやうにとんで歩いて遊んでゐた。正直者の正ちやんも子供たちの仲間に入りたかつたが、村の子供たちは正ちやんと遊ばなかつた。何故かと云ふと「あんなとんまのとん正と遊ぶと馬鹿になる」とみんなが言ふのです。正ちやんは人に向つて正直ですけれどもその正直は餘り度がすぎて失敗するのでした。

「正ちやん明日の遠足雨が降らないといいな」と友達が言ふと「さあ僕はお天氣博士でないから判らない」と正ちやんは答へるのです

ひねくれ者のとん正と云はれるのもこんなことからであつて、別に正ちやんは、さうひねくれてゐるわけではない。けれども、とん正と云はれるのはこんなことにもよるのです。ある日正ちやんのお母さんが町へ醤油を買ひに馬に乗せてやりました。すると途中でお馬に川の水をのませてやらうと正ちやんは川岸に馬をつれてきたのですが馬は水をのみません

「喉が渇いてないからかしら」

と正ちやんは今買つて來た醤油を川へぶちまけてしまひました。しかし馬はまだ水をのみません。この噂が村に傳はつて、とん正々々と云はれました

お母さんは正ちやんを何とかしてよい方の正直者にしてやらうと色々教へました

「正ちやん、お前いつか見たいに他人様が『正ちやんはお利口さうですね』と云つた時などは『ええ僕、利口さうですよ』なんて答へるとお馬鹿さんとその人が思ひますよ」

「でもお母さん、僕は自分で利こう者と思つてゐるから正直に答へたんですよ」

と正ちやんは申しますので、お母さんはよくそのわけを教へました「人には、けんそんと遠慮が大切です。自慢や自惚は人に笑はれます」

正ちやんはそれから今までのやうな子供でなくほんとうの正直者の正ちやんらしくなりました

正ちやんの家は野菜や炭をつくつてゐました。正ちやんは學校から家へかへると馬の背に薪や炭をのせて、町へ賣りに行く。町の人は正ちやんの賣る薪や炭がかけねなくて良い品なのでだんだんかふ人がふえて來ました。それでお父さんのない二人きりの母子は、やりやくその日／＼を暮してゐた。けれども、不幸はどこからともなくやつてくるもので、町には大きな薪炭屋の店が二つ出來て正ちやんの品より良い安いのを賣つたので、正ちやんの商賣はすつかりいけなくなつて、母子はお米をかふのにも差支へるやうになりました

×　×

それで、大事な馬を賣ることになりました。正ちやんは町へ行つて馬の買手をさがしましたが、町の人は馬なんか省みません。仕方なく村の人々に話して見ましたが、どこでも飼つてくれません。正ちやんは仕方なく、隣村へ行つたのですがそこでも駄目です

村はずれまで來て正ちやんは悲しくなつて馬をそばのお地藏さんにつないでがつかりと腰を下してゐました。太陽が山へ落ちて四邊はうすやみです。心配して待つてるお母さんのことを思つて立上つて、馬をせき立てやうとすると、馬はつないだ綱がピンと張つてお地藏さんをゆはえたまま歩き出したのでお地藏はドツと倒れました。と台石の中からパーツと黄金の光がかがやいたのであります。お地藏さんの下には多くさんの大判小判がありました。これでお役所から正ちやんに下げられお母さんと二人樂くお地藏さんをお守りして暮しました（をはり）

名家敗退將棋（四八）

（小泉氏三回勝四人目）

平手　△六段　小泉兼吉
先　▲六段　平野信助

▲一六歩△七三桂▲三七桂△七五歩▲同歩△同銀▲三三角成△同銀▲八八銀

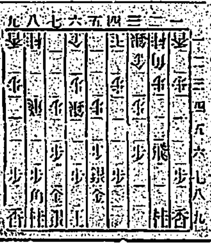
◇平野六段曰く　一六歩は一時間近く考へたが四六銀の運びは常に用ゐて居るので端に位を張つて模様を見た

▲小泉六段曰く　七三桂は七五歩同歩同銀三三角成同銀八八銀で面白くないので桂を繰り上けた

▲平野六段曰く　三七桂は手損で指したがいけなかつた此處では四六銀の方が確かであつた

▲小泉六段曰く　七五同銀は手徳となつて敵の惡思ひ運んだ形に囚はれて殘念でした

▲大崎八段評　後手七三桂は危く攻めに用ゐられれば大きい徳であるが桂頭を逆に攻められる味があるので直ちに七五歩と仕掛る所である先手三七桂はよろしくない無論四六銀と出て六五桂の跳出を緩和する所である後手七五同銀は好機を逸した七七歩同角なれば六五桂三三角成五七桂不成と運べば駒徳が築いて優勢である



（圖は六四銀迄の局面）

持駒　▲平野氏　歩

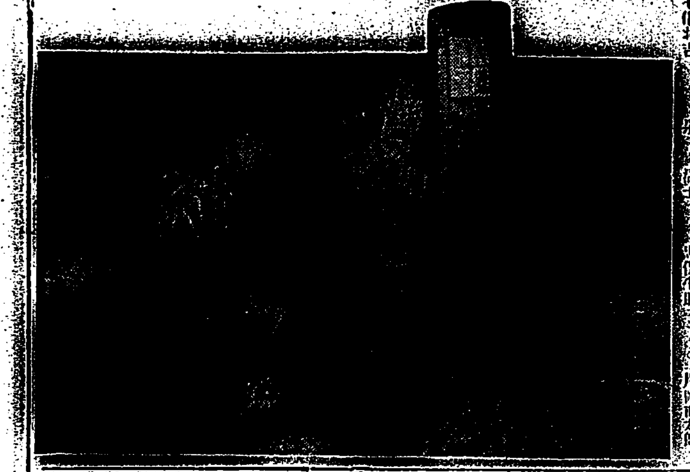
持駒　△小泉氏　歩

新興キネマ特別提供

仇討雙又録

七日より芳乃館上映

原作脚色　内田菊子
監督　[illegible]田一
主演　嵐寛壽郎
配役……
東城龍馬　嵐寛壽郎
久留島大學　嵐徳三郎
七化お吉　[illegible]泉静子
栗井左衛門　嵐橘右衛門
同　杏太郎　市川[illegible]三郎
東城眞之進　玉島[illegible]造
庭丹後　尾上紋彌
竹内兵庫　嵐山[illegible]之助
岸岸武兵衛　東正二郎
思保平助　片岡市太郎
小百合　岡島艶子
その母おくに　河合[illegible]子
龍馬の母おしづ　月岡千草



【梗概】隣市試合の敗北を恨み、久留島大學は龍馬の父[illegible]之進を斬つて逃走した龍馬は敵久留島大學を求めて三年したが目指す大學はおろか大切な仇討赦免状も七化お吉のために掏られてしまつたうらぶれた己れの姿を見るにつけ武家に生れた悲哀を悲しくも破綻を見た小百合との戀の渦巻に彼の心は悶え苦しんださうした彼の苦闘に下郎平助は夜を日について赦免状を探つたお吉を尋ね求めた月日は過ぎて或る年一龍馬が京の地へ歩を入れた時思ひもかけぬ友しかも戀の仇杏太郎が浪人中川浪平のために危うく返り討ちにならうとする所を救つた然し龍馬の心は仇討ち本懐を遂げた杏太郎に燃えた再び彼等の旅はあてどない大學を求めて日向の國に歩を進めた。だが時は來た平助の茶店から不斷の神への願ひは叶つて目差す仇大學を見付けて追ふたが斃れ彼の寐劔にあえなくも冤された、憤怒に燃える龍馬の劔は大學に迫つた

だが時は剣と見て彼は劔を逃れる「明日龍ケ原にて華々しく討たれる」と念打したその日は來たが恐れて飛馬弟を返り討ちにせんと謀つたこの混亂で杏太郎は死んだ杏太郎ゆえに龍馬は杏太郎を殺したのだつた。やがて龍馬は杏太郎の骸を抱いて故郷に歸る時一お吉は何時までもその後を追うて行つた（完）

臺日案内

料金　[illegible]

書籍　杉見書店　臺北市本町
小學校教科書参考書廉價買入　臺北市新起町　平光書店　電二〇〇

藥種商　ネオ・エルビン

醫院　小林醫院　内科小兒科
專門外科　梅野醫院

内地土産　三共舍

寫眞　醫療用X光線フイルム　パテー全島代理店　臺北市榮町
◉寫眞速成

下宿屋　太陽館　臺北市本町三丁目　電話三〇二五
御下宿　福井館　臺北市錦町　電二六四四

製靴商　ヒコウ運動靴

紙文房具　萬年筆大勉強　臺北市京町二ノ　電三五八八
洋畫材料は　小塚支店　臺北市京町一丁目　電一〇二七
志々田毛商會

旅館　北投温泉

世帯道具　萬年漆器特約

自動車

雑件　ベニヤ板
特許商標　岸喜鑑　事務所
まさかや商店　電話一六五五
大理石各種
五千圓
營業案内　活動寫眞は　高島商會　電八四〇
仕事　博信社

ヘチマコロン
ヘチマクリーム

柔らかな四月の風
朗らかな心のよろこび
ヘチマコロンは戀の匂ひ
思ひ出はヘチマクリーム
人生の快調は
スマートと清麗です

定價
ヘチマコロン
徳川瓶　八十錢
大瓶　五十錢
新型　四十五錢
小瓶　三十錢
ヘチマクリーム
大瓶　七十五錢
中瓶　五十錢
小瓶　三十錢

名古屋　笹田本店
攝津灘　笹田商店
類似の商標に御注意を乞ふ

初恋の味
滋強飲料
カルピス

純良
白葡萄酒
白玉ホワイトワイン
青春
老いざる可し
朝に一杯
夕に一杯

この石鹸は
地肌から整へます
だから他の化粧料が
少くても濟みます
これがパームオイル
の特長なのです！

定價十錢（附帶稅）

漢文臺灣日日新報

六日停戰小委員會
中國讓步意漸接近
前途現解決曙光

六日上海電。六日停戰小委員會。午後三時開會。日本軍撤退地域。特議吳淞問題。蘇州河以南。浦東之中國軍不進出問題。中國態度。不似前回之強硬。双方漸大接近。我國亦以互讓精神。開會前雖悲觀。比開會不然。双方前途俱有解決曙光。即吳淞問題。中國已內諾吳淞小淡北岸。認元我駐兵欄。欲再請訓。然後回答於我。同問題欲與最後的解決。故我軍撤收地域。特如吳淞方面。決定以日華中立國等之小委員全部。於七日午後三時。實地檢分。六時十五分散會。又中國軍駐兵問題之內。未解決者。決定報告于本會議。

七日午後小委員會
撤收地域實地檢分

六日上海電。小委員會散會後。發表公記留明書。本日午後三時。小委員會。協議日本軍撤收時所使用地域。形勢頗好。明日小委員會。自午後起。欲實地檢分撤收地域。

我軍撤收時期明示
爲會議最難關
形勢未許樂觀

六日上海電。六日小委員會。中國有讓步之意。會議空氣好轉。七日本會議。尚有中國軍駐屯地域問題。及最難關之我軍撤收時期明示問題。此等想中國不易讓步。悲觀的空氣依然濃厚。停戰交涉前途。尚難絕對樂觀也。

小委員會事一段落
田代參謀長談

六日上海電。停戰會議散會後。田代參謀長語左。會議想決裂之外無策。然本日意外進展。或能成議亦未可知。小委員會議事。大體一段落。以後不必多開會議也。

安奉線
匪賊頭目飲彈自殺

六日奉天電。安奉線務手戶屯驛西南方柳家子。三家子。綿華堡子。黑牛屯附近。大小十八頭目所率一千數百馬賊團蟠居。就中有勢力之護國軍匪賊。與自安奉線移動之五百條馬賊合流。大々的欲襲擊煙臺炭坑。護國軍於四日夜在三家子。方殺頭目飲彈。課中隊部。射頭四死。豫想匪團變動云。

武漢正規兵
互相軋轢
恐起兵變

六日漢口電。武漢地方駐屯正規軍間軋轢至甚。警備司令官。第二十一路軍指揮夏斗寅。辭退兩職。恐起兵變云。

豐原四人組強盜案
臺中法院第二回公判

既報臺中州豐原郡下。四人組強盜。傷害。恐嚇家宅侵入案。被告劉慶榮外三名。去四日午前十時起。在臺中地方法院。開第二回公判。大飼裁判長而外。有小田川。橋爪。兩陪席判官。及吉田檢察官立會。辯護人小宮。遠山。加賀田中四氏。緣該事當時。頗聞動世人聽聞。故傍聽人溢於堂外。茲摘記大飼裁判長。訊問共犯張銅鍾。當年二十七之梗概。裁判長問汝等對員林賴敦序。要借五百圓。及入其宅情形。携帶三枝刀。各用紙包裹。置之棹上然否。張供稱乃暗藏在身中。未曾露現。併會敦序之弟。最初提出四五圓。後增至十圓。乃受之而出。次問共到西屯小港尾子。廖學泉。訪宿廖之岳父處。所談何事。則供稱係劉慶榮與之熟商。自已不知。將往北斗居林燮處。學泉致以倘叫門不開。可詐名何木成。當信而開門。及際備石灰胡椒之事。則直認不諱。是夜至林燮之家。叫門。內答誰人。對以開門便知。因欲探詢一事。答夜深不便開。天明可來。對以在逃之人。白晝不敢來。答若然可借給四五十圓。對以有要事要問明。非爲財而來。渠先行到竹圍邊。見林跳出。用電火照之。乃喊慶榮。林遂用拳毆渠。慶榮亦至。云是即林燮。隨問林燮。能記得否。即向黨羽三人。云。可殺之。王泉用灰粉撒投林燮。慶榮揮刀斬其足。渠斬其手。四人出刃亂刺。追林燮。走入蔗園。彼等四人。乃徒步涉大肚溪。至彰化南郭。鄧阿海之家。裁判長問。汝扭住林胸襟。叫王泉搜其身。林云金項有。置在家內。因斯時其家人喊賊。乃斬之非歟。張供稱曰非。問尋林燮是欲殺之。或欲告貸。供稱是要問他對廖登珪之事實。因廖登珊。與何請金和解。彼等四人。爲廖保護。一日須給三圓。不肯交付。關係林燮唆使。又次問四人到草屯公園。詩春云。土城黃春帆其宿。慶榮乃寫信。信內敘拔其棘殺。請撥出五百圓。四人各採刀。到春帆宅前。詩春朝泉。持信先入。因春帆不在。其長男維棟閱信。遂喚總入。四人乃俱入內。慶榮對維棟。用國語談話後。維棟乃入內室。出則交給以一信函。受之到外面開封。內置金二十五圓然否。則供曰是也。又問若不給金汝等。則將如斬林燮斬之。且令威示以刀否。供稱未嘗議及至是。次問逃匿於社口劉森外兩名處。明告而求藏匿。則否認。逃豫者之口供亦翻。納向某紙揭載。關於襲豐原賴爲。封林某々等家宅無實記事。非常憤然否。供稱誠然。問曾議出如何手段。供稱曾致書於賴爲等。限五日內取消。不然將用武力對抗。問仍用刀殺之乎。供因無有豫定。問爲汝等四人。豐原大屯兩郡下富豪。咸戰々兢々知之乎。于今思之。該抑不該。則供稱眞不該。此後當改悛。問學歷家庭。乃公學二年退學。父死母存。未受室。傷害前科二犯也。過午裁判長宣告休憩。午後一時續開。

共產軍蜂起
進擊安慶
國府派討伐隊

六日南京電。安徽。河南。湖北三省々境地大安地方共產軍。乘陝調元氏率軍赴津浦線蚌埠之際。四處蜂起。有蚌埠安慶方面形勢。不許樂觀。國民政府急派討伐隊。

關東軍特務部
直接軍事關係以外
應司令官諸問並司研究

七日東京電。關東軍司令部內。欲確立特務部。三宅關東軍參謀長。現與陸軍中央部協議中。其要點大體如左。

一、關東軍特務部。關於直接軍事關係以外諸事項。應關東軍司令官諸問。並司研究。

一、特務部長。以關東軍參謀長充之。部員依委員制度。

一、委員俱爲文官。網羅各方面有識者。

軍司令官
初巡視東部
檢閱宜蘭中隊

阿部軍司令官。訂來十一日發臺北。初巡視東部蘇澳。下午零時十二分抵蘇澳驛。乘東海自動車赴花蓮港。視察後歸途。十七日下午四時二十三分發蘇澳驛抵礁溪。投宿于樂園。翌十八日午前七時二十七分發礁溪驛抵宜蘭。即赴分屯中隊檢閱。續開茶話會。下午五時十六分發宜蘭驛歸北云。

大森首藤
兩理事辭任

七日東京電。江口滿鐵副總裁辭任。而理事辭任問題繼起。大森。首藤兩理事。因江口副總裁正式辭任。亦決定辭任云。

漢口地方強震

六日漢口電。六日午後五時十三分。當地有強烈地震。市民跳出戶外。因無地震計。震源地其他一切不明。

多門○團東部線
出動以來彼我損害

六日奉天電。多門○團東支線東部方面出動以來。彼我損害如左。我軍戰死下士官以下九名。負傷將校一名。下士官以下三十六名。敵遺棄於戰場之死體。不下五百。負傷至少亦千五百。其他退却中。被我飛行機射殺者千餘名。計超過三千名云。

內務農林兩省
豫算復活要求強硬
閣議難延想難解決

七日東京電。本年度追加豫算復活交涉。除內務。農林兩省外。略照大藏省原案決定。而對於產業開發之內務省。農林省復活要求頗強。六日午前午後兩行折衝。皆不奏效。擬提出於七日閣議。亦不能解決。豫算閣議。乃延期一日。閣議於八日定例閣議。右兩省與大藏省。懸隔過甚。雖延於八日。亦難解決也。

復活容認七十萬圓
藏相猶命全部削除
追加豫算或難決定

六日東京電。大藏省藤井主計局長。六日午前十一時訪高橋藏相。關各省追加豫算復活要求之主計局查定案。除內務。農林兩省外之各省復活容認額七十萬圓（內五十萬圓乃爲裁判所復活費）。有所說明。高橋藏相。意欲全部削除。命其再查定。高橋藏相之意。如此強硬。明日閣議。追加豫算。或不能決定也。

第八、十兩師團
留守隊司令官變更

七日東京電。滿洲出動弘前姬路兩師團留守隊司令官後有故變更如左。

陸軍運輸部長（廣島）陸軍中將　谷　移

補第十師團留守隊司令官（姬路）

陸軍步兵學校長（千葉）陸軍中將　原田　敬一

補第八師團留守隊司令官（弘前）

中瀨知事
送總督至州境
視察蘭陽三郡

中瀨臺北州知事。訂來八日。送總督。巡視東部至州境後。視察蘭陽三郡。同行者。略定奧川警務部長。伊藤地方課長。三上文書課長諸氏。日程如下。八日送總督至州界。是晚宿大濁水溪。九日發當地。視察南澳東澳及蘇澳郡役所。庄役場其他。晚宿于蘇澳。十日發同地。視察羅東郡役所。街役場。農業倉庫。營林所。昭和製糖會社。午前十一時四十五分。發二結驛。抵宜蘭。即赴宜蘭女子公。招待三郡下重要官民。開茶話會。下午視察郡役所。街役場。農林學校等。晚宿杉崎旅館。十二日擬視察金瓜石礦山其他。即日歸北云。

臺南州下
瘧病防遏
益擧效果

臺南州下瘧疾。至昨年十月。每月死亡者。不過十二三名。然至同十一月。其死亡率。忽多至百七十九名。州衛生課。於內外防遏作業。傾注全力。始得佳績。十二月百六十七。一月百五十一。二月八十八。逐漸減少。又三月分現正調查。應減至六十六名。其效果顯著。今後將益圖同作業之統制及充實云。

新竹州下
複線鐵道
工事趕施中

新竹州下。複線之鐵道完成者爲中撫山崎間。及新竹竹南間。紅毛山崎間。目下趕施新竹紅毛間。其延長三英里四分。若此數日來晴天繼續。至來五月中旬。可望完成開通云。

長老教記念祝

北部臺灣基督長老教會設立六十周年記念會。六日午前九時。在淡水盛大舉行。午後二時。開盛大祝賀會。平塚總務長官。中瀨臺北州知事。安武文教局長。江藤社會課長等列席。至晚歸北。

彰化畜魂碑
本日除幕祭

彰化屠場畜魂碑。築造已就。定本八日。舉除幕祭。當日恰逢古曆三月三日上巳辰。獸肉消費頗廣。是日擬不屠殺。以昭誠敬。故欲購求獸肉者。已鳴鑼通告。俾于前一日買取云。

國富調查特別委員
推柳澤伯爲委員長

六日東京電。森書記官長。邀國富統計權威者。於六日午前十一時。到首相官邸會議。森官長謂歐洲戰後國際的經濟上。或國力上之變化。大體一段落。日本於金解禁發端。國民生活上生變化。又從來帝國外交方針。至今日致重與歐美各國協調。然自滿洲事變發生以來。歸亞細亞之氣分濃厚。經濟問題。與世界各國關係。先致重日本地位。其他教育文藝萬般問題。須先省察日本自身能力。然後進行。是故此際宜知我國富。以解決諸問題。此國富統計乃重大問題也。調查機關之形體樣式。設特別委員。使之立案。又委員長推柳澤保惠伯。委員爲滿鐵大淵三樹。帝大山崎覺次郎。商大藤本幸太郎。資源局松井春生。統計局長長谷川赳夫諸氏也。

滿洲移民問題
拓務次官與陸相協議

七日東京電。加藤拓務次官。六日午後五時半。訪問荒木陸相。滿洲移民之事。求其諒解。

總督巡視蘭陽
俟視察太平山時
經州知事代爲傳達

既報南總督。巡視東部。經過于蘭陽地方。爲是蘭陽三郡地方民。熱望總督順途停車宜蘭。視察三郡下諸懸案。去五日朝。橫山郡守。用電話。託中瀨知事。對南總督。傳達民意。去六日朝。接到中瀨知事回答。云總督意見如左。今回視察。主爲州廳所在地。俟另日視察太平山。同時巡視蘭陽。希將情傳達于蘭陽郡民云々。

農業部早稻
耕作狀況
在來種多枯苗

中央研究所農業部。本年早季耕況。第一回調查成績。在來種一月二十七日播種。內地種二月六日播種。而至三月二十二日之挿秧期耕作況。在來種在播種當時。天候順調。高溫多照。萌芽活著良好。內地種播種後。降雨相連。阻礙活着。其後低溫。生育不佳。間如在來種。秋當枯死稍加。第因三月上旬晴天。生育恢復。在移植時。兩種皆得良苗。其中地種挿秧時。苗身二八耗三。葉凋三耗九。比前年同期。苗身長二、〇。葉凋〇、二〇。較之平年。苗身短一、二。葉凋〇、二。又附近農家之挿種挿秧期。雖比農業部稍早。而一般耕況。與農業部相似云。

運蔗中用武
兩名重傷

虎尾郡二崙庄三塊厝人廖萬終。年二十二。與同庄人廖清雲。年二十六。廖榮年二十四。在同所余光明蔗園運蔗。雙方因細故口角。後用武。清雲及廖榮兩名。負重傷。在該地醫師治療無效。去五日入嘉義回生病院。聞危篤中云。

臺灣愛國號
中止造重爆擊機
或改製爲輕爆擊機二臺

全島民醵出之兵器獻納金。已達二十二萬餘圓。現在發起人一選。議其醵案。聞有主張爲若製造重爆擊機。於教育編成關係上。或飛行場關係上。使屬於本島殊難。且滿蒙上海之兵火。今得稍康。臺灣愛國號之重爆機。別不要在職場使用。反是。若充爲最精銳機八八式輕爆擊機。或價祭二臺。與照明燈之製作費。較爲得策。近或見決定具體案。軍部爲與陸軍中央部磋商。至本月末。或派人上京。至正式決定。尚要數日云。

沖繩移米四十萬袋
將來有益增趨勢
三井森田氏視察談

三井物產穀肥部主任森田鋭吉氏。由沖繩視察內地米界。此次歸北。氏談。臺灣與沖繩關係。近益緊接。而臺灣米之移出。蓬萊在來。年約四十萬袋至四十五萬袋。然從來因亂賣。殊蒙于營業。以後移出商須各自覺。現在沖繩。由縣外移入。年三十萬石。以後依其自覺。臺灣米之移入必然增加。唯因外米移入。在來米或大受影響。而蓬萊則益見增加也。九州因在地米廉賤。全不成問題。暫時應無望。阪神京阪。資米過剩。及期米賤。全然不買賣。若出買價。則京阪神在庫應減少。內地輸入外米百萬石。而本島亦信當然許可輸入。今臺灣米移出內地。輸入賤價外米。由國家濟上觀之。甚爲得策。若外米輸入于本島。由實狀觀之。百二十萬石亦爲適當。一期蓬萊最初以九圓二三十錢。現在落至八圓四十錢。且料跌至八圓。六七月交。成約五六萬。然恐居奇危險。本年視例年約爲少。臺灣市價。現在多不合理。以後須互相大加注意也云云。

是々非々

用甲放作非。黃乙被疑猜。[illegible]。肥料棄一案。（鳳林園詠）[illegible]。受褒哭雞豚。突有私搜捕。來報某菜園。煙草實自生。當作犯法論。主人張不在。妻被召出門。加以大毆打。頭部留傷痕。翌日精神異。至今成病源。惡吏猛於虎。無辜痛含冤。敢告刑事長。查究起覆盆。（三峽浪評）

鹽糖會社溪州線二林驛亭前無設置便所。故何受旅客煩言。同會社至去二月中。始行著手建築。竣工後初一二日間。公開爲一般旅客使用。及後則日夜用鎖關閉。其理由無非爲怠於洗掃。（旅客煩言再也）

北海道強盜案
照會到臺灣調查
想係被人詐用姓名年月日

地挽友吉。年六十。千葉縣長生郡東村人。自大正四年。移住臺中市新高町。近勤務于臺中市水源地詰室。去一兩日前。臺中署。接北海道余市署照會。謂地挽友吉。在北海道余市爲強盜。希將同人在臺中市當時詳細狀況通知。爲是臺中署。去六日喚地挽到署。取調結局。判明係同名異人。然原籍地。及生年月日亦同。如斯之偶。極爲稀聞。于是該署將地挽指紋及寫眞。送與余市署。與本人對照。更問地挽。在是地有友人否。被同人談曰。余自日清之役。充軍夫。渡中國。明治二十八年八月來臺。在屏東及臺南奉職。住臺南時。勤務于同地刑務所。充事業係。退職後到臺中。勤務于帝國製糖。又退社後。則就職于臺中市水道。想盜詐用余姓名及原籍地竝生年月日。其人爲誰。臺灣。凡三十年以上。與余茫然思之不出。又余來原籍地。全無音信往來。鄉里之人。亦不知余住在何處。豈有余能分身在北海道爲強盜之理。眞咄々怪事也。

臺中州下
蔗害程度
約四億斤

臺中州下。去二月初之霜害。甘蔗中首于生產程度者。業已全部調完。北霜害之蔗。蔗總斤量。約四億斤。北中全然損失者八千餘萬斤。又關甘蔗。蔬菜等被害額。正爲續行詳細調查。概算按二百五十萬圓至三百萬圓云。

屏東高女
志願者三百名
入學百名

屏東高女。設置實行委員十數名。去七日下午一時集于街役場會議室。由特

全國小學女教員
生活權擁護運動
擧數項之理由
五月開全國大會

全國小校女教員會。因最近依地方財政上理由。發良有資格者女教員。被其免職。以無資格者之代用教員充之。不特如是。女教員之數。全國激減。爲講此對策。就泉生活擁護運動。訂來五月七日起至九日三日間。在東京。開全國小學校女教員大會。討究其根本原因。主爲

一、以節減豫算爲理由。免職俸良有資格者女教員。代以無資格教員補充之勢。瀰漫全國。

一、夫婦奉職爲教員之時。不問年齡如何。婦被免職。

一、單以比較的高給爲理由。三十歲未滿。四十歲未滿。多被免職。

對此。務爲生活擁護。講究具體對策。現正準備云。

釋尊降誕
開講演會

南瀛佛教會。主開釋尊降誕講演會。于八日午後七時起。開于市內日新町北警前臨濟宗布教所。有沈本圓。李添春。沈德融。高林玄寶四講師出演。是夜並映照活動寫眞。又臺北講演會。于翌九日夜七時開于同所。唯講師及講題尚未定。又十日花祭行事。是日大稻埕有志。參加花祭行列。自午前十時。由日新町起點。經太平町至若竹町法華寺。會同城內各團體。然後向新公園舉行。且是日特聘大稻埕德樂軒音樂團。在新公園內演奏云。

少年竊盜送院

本籍地兵庫縣津名郡谷口村人。現住所北港郡北港街北港七二番地之九。戶主近野侍郎之三男近野光男。年二十。去年九月中曾犯竊盜事件。現起訴猶豫中。更于前月二十一日午後八時頃。潛入北港街北港城某家中。竊取同人銀殼腕時計一個。時價十五圓。被發見中黃兩刑事檢舉。嚴重取調。此外更有四五件餘罪。月五日。附一件書類。移送法院嘉義支部待判。

臺中發自動車至彰驛
乘客中一老翁死去
屍體置郡役所後待認

月六日午間。有臺中發彰化行自動車朝日號。滿載乘客。至彰化驛前。諸客紛々下車而去。尚餘一老翁。初疑其假寐及車停。尚依然不動。就視之一息奄々。呼之不應。適守驛巡查見之。欲爲保護。其時兩足已伸。直絕息。竟不知爲何方人氏。死屍暫安置郡衙後。以待承認者云。

澎湖

教員異動

廳下例年教員異動。四月一日前後。即發表各赴任地。本年異動人數計十三人。去月杪各蒞本職校。所最得意者。如湖西一公教員黃柏奇氏。榮擢爲隘門主任。洪如老氏轉勤後寮一公。氏原白沙庄人。臨去之時。父兄生徒。其爲惜別。用樂隊送送。稱爲衣錦榮歸云。

受助成金

湖西青年團。數次奉仕作業。事達當局。者番由臺灣教育會。交付事業助成金五十圓。田中校長。以下團員。均感激奮勵。

研究成績

去月末。木間庶長。臨湖西一公卒業式。觀展覽會場。對田中校長。合讚有加。之教授細目十科目分。並及教員研究物。有地方化。蓋因會場陳列兒童成績品。研究調查册子十册。臨長亦寄納。持一部歸廳。

學校增級

湖西第二公校。男女生徒計不下二百數十人。校長外教員僅四名。於教授法不無故障。茲幸本年。增加一級。有川榮助氏。補所增之缺。數年懸案。告一段落云。

羅東

事務研究

羅東郡街庄吏員事務研究會。者番輪値冬山庄役場。定九日午前八時半。開於冬山公會堂。

郡守招宴

羅東郡守梅谷修三氏。爲新任披露。去六日正午。招待同郡大街庄長。協議會員。小公學校長等。在同郡役所。開宴進會。

豚病藥新發賣

[illegible]

祝賀敘勳

▲新竹東街長鄭神寶氏之敘勳祝賀會。去七日下午六時半。開于新竹公會堂。出席者。有樋口郡守外二百餘名。[illegible]代表發起人。[illegible]各起述祝辭。[illegible]述謝辭。[illegible]

會事

▲臺北龍山公校男第一回卒業生之同級會。訂本月九日午後六時。假萬華三仙樓旅亭。開懇親例會。希望會員多數出席。

▲臺北市花祭講演會。訂四月七日午後七時。會場假萬華龍山寺內。演題如左。佛教與片岡。李添春。東洋思想及佛教。曾景來。佛是人格心源。林秋梧。禪之宣言。沈德融。

▲海山郡下[illegible]坂橋公學校長。者番轉長基三公校長。又同校石上首席。代山子公校長。其他陳鋼川訓導外五名。亦各轉動。去四日由桐谷街長。及川野郡長發起。午後五時。在林氏庭園開送別會兼歡迎會。者百餘人。

▲在鄉軍人會新竹分會。六日下午七時起。在新竹俱樂部。開評議員會。

▲新竹郡水上庄。昭和六年度堆肥品評會。審查終結。訂來九日午前十時。在水上公學校講堂舉授與式。

▲新竹青年團。于去六日午後六時。假青年團會館。爲[illegible]之元新竹中學校長大木俊九郎氏。開送別會。席上團長鄭紹[illegible]氏。代表團員敘禮。述送別辭。次大木氏道謝。後共晚餐。席上大木氏。以自屏東團員合同署名。贈與黃啓文氏揮毫。午後八時賓主盡歡散席。又新竹市臺灣書道新竹支部會員三十餘名。合同揮毫三幅。時贈爲紀念。而同氏定來八日午前九時三十四分新竹發列車。携眷歸遊內地云。

人事

▲督府石渡技師。爲新竹州前田技師之後任。去二日下午一時四分。到新竹。而前木蘇澳技手。同日由新竹首途赴蘇澳。

▲新任竹州衛生課長下村八五郎氏。四日下午三時半。赴到新竹履任。

▲霧峯林獻堂氏。四日乘山丸。自香港歸臺。即日搭夜行車回臺中。

▲本社高雄通信員鄭向氏來信。言前月三十日。由高雄乘地厘丸發廈。三十一日。乘海登號。轉向香港。大約二禮拜間。便能歸臺。廈門百物奇貴。原因于爲上海諸大工廠。遭兵燹云。

キング

五月號

▲怪奇探偵 怪探偵トンギル 小山旺一郎
▲現代小說 愉快な連中 田河水泡
▲現代小說 未來花 菊池寛
▲時代小說 薩摩飛脚 大佛次郎
▲實話 海龍號
▲新作落語 米專賣

三上於菟吉先生作

見よ！小倉十五萬石のお家を繞って忠臣、惡人、毒婦、美女入亂れて大波瀾！戀あり我あり涙あり トテモ面白い 神田伯山師が

久米正雄先生作 白夜

◎時計五百個外一萬人當選 大懸賞 詳細はキング五月號を御覧

▲振分け小平
▲菊五郎格子
▲敵陣潜行
▲天晴れ照將軍 白井喬二

讀切五大小說

▲任俠恩愛 江戸一番の男 前田曙山
▲愛は輝く 畫家の妻 岡田三郎
▲相撲奇緣 僕は啞である 川上三太郎
▲豪俠無双 だゝら團兵衛 山本周五郎
▲純情熱血 山の勇者 伊東茂

▲百姓の小伜から商業王
▲日本一のトマト村
▲外交交渉秘訣廿ヶ條
▲自分の事と他人の事
▲我が處世の信條

上海軍壯烈實記

見よ！鬼神も哭く記念大記錄！！

▲歌へ躍れ！新興日本大行進曲
▲奇想天外・面白い漫畫樂天國
▲現代評判男評判女大アルバム
▲よもやま大座談會
▲最新兵器の話
▲トリックの話

▲新代議士朴春琴氏を語る
▲感動美談 忠馬「栗毛」
▲東西古今偉人綸ばなし
▲現代人傑讃歌 吉井勇

定價 平月通り五十錢 大日本雄辯會講談社

◉證券部設置謹告◉

今回都合ニ依リ合資會社高砂株式店解散致候ニ付從來同店取扱ノ公債株式賣買一切ノ御用ハ爾今弊社ニ證券部ヲ新設致シ一層懇切敏速ニ御取扱可申上候間倍舊御愛顧御用命ノ程奉願上候

昭和七年四月七日

臺北市本町二丁目
株式會社高砂商店

指定 京都 兩洋中學

試驗場 臺北市 臺中 臺南ニテ施行

獨學 中學講義

サユリ コウモトニック

三共の新養毛料

拔毛止 フケ止 若禿

春のフケ・痒み止め

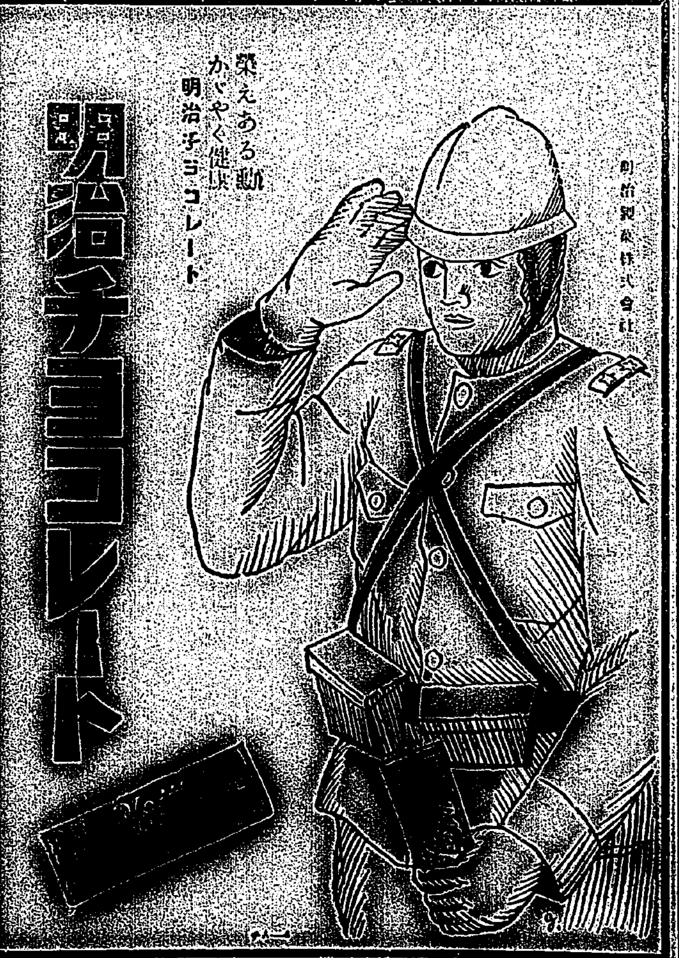
小 一圓廿錢 大 二圓

三共株式會社

せき 喘息 注射に優る 内服新藥 ネオペクトン

效果百%

入澤達吉先生 岡田和一郎先生 中川滿先生



明治チヨコレート

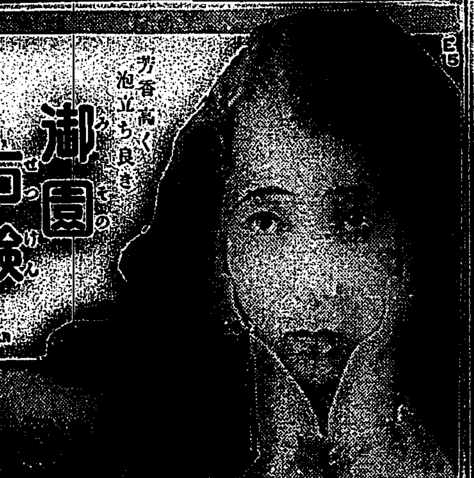
榮えある勲
かゞやく健康
明治チヨコレート
明治製菓株式會社

專賣特許 國產推薦

專用特殊製品 カモ井のリボンハイトリ

カモ井のハイトリ紙

發賣元 株式會社大谷商店 大阪市博勞町



芳香高く 泡立ち良き 御園の石鹸

15 SEN

せきつゐ 神經痛・リウマチ

満蒙への大投資と臺灣

工業化の爲めの資本が要る

一

満洲國から帝國政府に對し交渉のあつた借款問題に關しては三井三菱からの借款的財政援助申出によつて案外容易に解決し満洲國の新國家開設に相應しいスタートを切ることになつた、殊に三井、三菱の兩財閥は單に二千萬圓程度の立出に限らず今後も引續き必要に應じて五千萬圓乃至は一億圓の借款を引受ける意向にあるものの如くである、更に之が刺戟となつて財界各方面に對し非常なショックを與へ、住友、安田等の財閥も満蒙投資に乘り出さうとして來たらしいので、我國の主なる財閥が擧つて援助のため起つものと見て差支へないであらう。

二

現在未だ國家として所謂滿洲國を承認してゐない我國が進んで借款を引受けると云ふことは國際的にも財政的にも極めて困難なる事情にあるのは言ふ迄もない、然し乍ら我が財閥が從來とその行方を異にし滿洲の財政經濟の發展に關し無報償で積極的に援助しやうと申出た如きは殆んど未曾有のことでなければならない、新らしい風の吹き廻しも結局は時勢の然らしめる所であらうけれども、支那問題など可成財閥に非難が浴せられてゐた川買などもあり財閥としても大いに肝發した結果と見ねばなるまい、勿論資本家が他に投資をなす場合、全然利益を度外視してやれと註文したら、或はやるものとかへたりする事は聊か無理である、殊に今日のやうに海外投資に手を焼いてゐる眞最中に新に相當巨額の投資をやらうと云ふことは中々容易なことではない、ただ滿洲國はその地我國と境を一にし、今日迄にも何億の大資本が入つてゐる關係もあり、同國への投資は我國經濟[illegible]の延長とも見られてゐるので幾分の犧牲を拂つても將來の謀をなしおくは資本家として當然のプランなりと言はねばならぬ。

三

新に建設された滿洲國は見渡す限りの平原と[illegible]に蔽はれた膨大な土地からなつてゐるが、そこには[illegible]鐵、牧何んでも宜しいと云ふ無限の寶庫である、此の無限の寶庫を開發するには第一にどうしても莫大なる資金が必要である、滿洲國には豐なる寶が藏されてはゐるが決して路上に落ちてゐるのではない、之を得るには莫大な資金がいる、その資金が新滿洲國としては何よりも緊切であるのだ、滿洲國は今や雙手を擧げて世界の投資を待望しつつある、然し乍ら全世界を通じこの經濟不安は國際投資の如何に困難であるかを如實に物語てゐる、我國とても勿論之が例外ではない、實際財政的行詰りに逢着してゐることは明であるが果して對滿洲國投資に無限の能力があるかどうかは甚だ疑問である、けれども滿洲國の資源開拓は我等隣邦國人としてのなすべき務でなければならぬ、他國に先んじられては決して之を闘することは容易でない、此の意味から見て今回の三井、三菱の對滿投資は國家的にも非常に有意義であると考へられる、ただ[illegible]のは今回借款の履行である、殊に事業の遂行上之を最も恐れるであらう、吾人は此の點について我政府と滿洲國とに期し安心して投資の出來るやう先づこれ等障礙の排除を要請[illegible]立を希望致したい。

四

次に滿蒙投資と本島との關係を見るに勿論直接には何等の影響もないであらうが、間接には滿蒙の資源開發と同時に人口の增加に伴ひ、砂糖、青果物、米等の輸出增加を來すであらうから大いに結構なことと言はねばならない、けれども吾人の最も懸念する所は本島への投資の減少を來しはしないかと云ふことである、殊に日月潭工事完成後は是非とも內地の大資本投下を要せねばならないのであるが滿蒙への投資の爲に資本家が躊躇するやうになりはしないかである、現に松木電力社長は過般の消息を漏してゐる。吾人は滿蒙への投資と本島への投資との比較論は敢て避けるが、經濟的に行詰つてをり內地資本の投下を待つてゐる事故で滿洲に劣らぬもののある事を認めねばならない。八日より全島初巡視の途につく南總督の眼に是等の諸點が如何に映ずるかは固より推測し得ないけれども、日月潭水電の將來を思へば本島の工業化に應ずる相當大規模の投資が是非とも必要でなくてはならぬ、これが爲めには電力會社の幹部の如きは最善の努力を盡し資本の誘導につき萬全を期すべきだが、果して如何なる計畫を有するであらう、更に內我國の資本が滿洲方面へ好んで流れ去り本島は顧みられぬ傾があつては少からず心細さを感ずるが、之は本島としても重大事であり總督府の重大方針の一つとして考慮さるることを望まねばならない。

支那側意外に強硬で 何等纒らず遂に散會

七日午前の停戰會議

支那軍駐屯中止は小委員會へ

【上海七日發聯合】本日午前十時から開かれた日支停戰會議本會議は昨日の小委員會における日軍撤收地域問題解決の報告をなし、直ちに次の問題たる蘇州河以南及浦東に支那軍を入る事の日本側の要求を討議した、これに對し支那側は意外にも態度頗る強硬で蘇州河以南並に浦東における支那軍の現在兵力の報告さへ拒絶し、會議少しも進まず、問題の日軍撤收時期明示問題討議にも遂に觸れ得ず、支那軍駐屯中止問題を小委員會に移すに決し午後零時半散會した

【上海七日發電通】停戰會議本會議は七日午前十時から英國總領事館に開會され、最も難關とされる我軍の最終撤兵期問題に付き日支兩國政府の回訓に基き討議を開始し午後零時十分休會した、席上蘇州河以南と浦東の支那軍駐屯地問題に就て討議し議論沸騰し大いに意見を鬪はしたが、結局何等纒まるところなく再び之を小委員會に引戻して小委員會で討議せしむることとなり、本會議は午後三時から續行し我軍の最終撤退時期問題に付き討議に決した

會議は少しも進展せぬ

【上海七日發電通】七日午前の停戰會議散會後田代參謀長は不機嫌な面持で「本日支那側は又復支那軍駐屯地問題で我の主張を蹴返し、少しも會議を進展してゐない、殘つてゐるのは我軍の撤收時期と日支雙方の駐屯地問題であるが、こんな調子では何時まで引つ張られるか分らぬ」と語り又[illegible]は「日支の主張には間隔がある、[illegible]決裂は避けたいと希望してゐる」と語つた[illegible]不幸にして少しも進展を見なかつた、日支雙方間に妥協が成立するまでには相當困難がある

まだ解決の見込はある

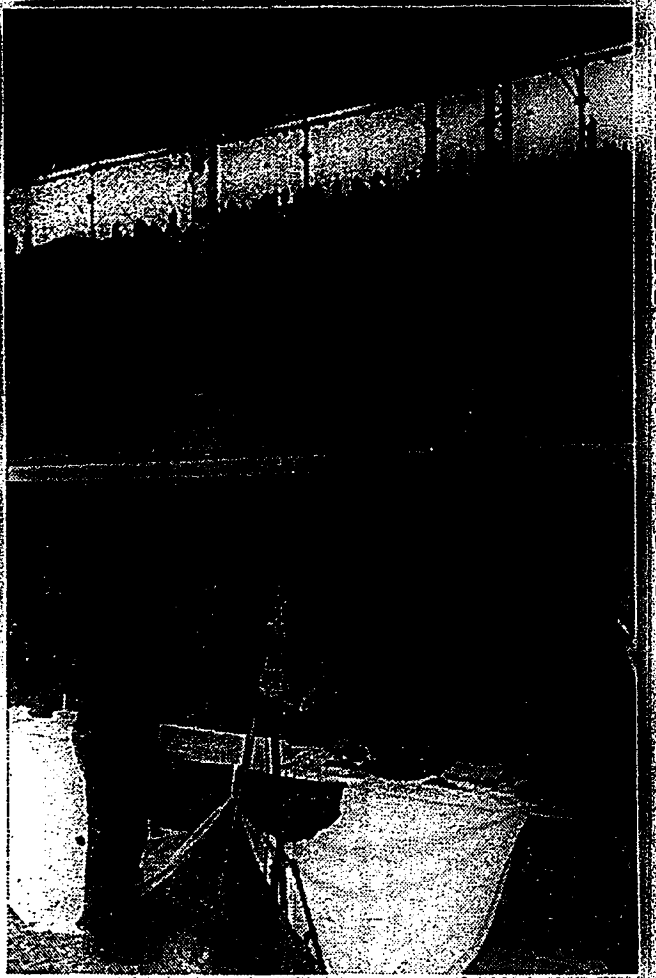
重光公使の談

【上海七日發電通】重光公使談 蘇州河以南及び浦東の支那軍駐屯地問題を小委員會に廻したのは[illegible]解決の見込みあるからだ殘る問題は我軍撤退時期問題のみで之に關しては本日午後の會議で充分我主張を通す決心である

午前の本會議後重光公使は四國公使を會見し日本の主張につき中立國の諒解を求めた

共產軍 頑強に抵抗

【漢口七日發電通】漢水沿岸で徐家[illegible]と對峙してゐる共匪第二第六軍は頑強に抵抗し居り、若し徐源泉軍敗北せば武漢は一擧に共匪の蹂躙するところとなるべく人心動搖しつつある



文相の野球見物

鳩山文相は三月三十一日西下、神戶商大[illegible]甲子園ホテルに投宿したる一日は甲子園球場に於て開催中の中等學校選拔野球を見物した（寫眞は觀戰中の鳩山文相）

政府が調査する 選擧法改正の重點

官制に依らぬ委員會組織

【東京七日發電通】犬養首相の選擧法改正の意見に基き、鈴木內相は目下之が調查準備を急しつつあるが、右準備のため委員會を組織することとなつたが、委員會は官制に依らぬ方針、改正の重點は左の如くである

一、選擧制度の改正 閣內に比例選擧制を採用すべしとするものと、一人一區を原則とし、三人迄增加し得る小選擧區制に據るべしと言ふ二つの意見行はれ犬養首相及び前田商相は前者を支持し比例代表制中に[illegible]二百名乃至三百名の大選擧區制案と一府縣一區とすべしとの二意見あり

一、選擧取締の改正 選擧取締の如くまで[illegible]の[illegible]現行法規が餘りに煩雜煩瑣に亙る弊があるから、簡和すべしとするものがある

一、選擧權被選擧權の改正 犬養首相が年齡低下を主張してゐるので選擧權は二十歲乃至二十一歲、被選擧權は二十五歲乃至二十八歲とする說あり之に婦人參政權を考慮すべしとの說あり

一、樺太に選擧法施行

拓務省內に

臨時拓殖事務局設置

滿洲國への我移植民の指導奬勵を圖る爲

【東京七日發電通】拓務省は滿洲國への我移植民の指導奬勵を徹底する爲め新に省內に臨時拓殖事務局を設置する方針を決定し、特別議會に追加豫算として費用を提出すべく目下大藏省と交渉中である、局は局長一名事務官三名の外各種產業部門の專門家數名を囑託として滿蒙經營の基礎的調查を爲す外內地、朝鮮、滿洲國を通じての經濟的統制を圖る目的を以て各種產業部門の專門的研究を行ふこととなつてゐる

滿鐵副總裁

江口氏の罷免理由

內田總裁も結局辭任か

辭表を提出しなかつた爲

【東京七日發電通】滿鐵副總裁江口定條氏が罷免となつた事情は氏が五日犬養首相を訪問した際政府の意に反し辭表提出を拒絶することなく飽く政府の希望に副ふ樣にする積りだと語つたる後依然として辭表を提出しなかつたため政府は遂にその職を以て罷免に決したものである、政府の今回の強硬手段が內田總裁に波及するや否や注目されてゐるが、[illegible]眞意は勿論內田總裁の[illegible]交渉に行はれたることは元來內田總裁が就任當時特に女房役として[illegible]した關係に見ても內田總裁の進退を顧慮してゐるべきことは明かである、政府が內田伯に[illegible]を強要せずと[illegible]しても、軍部方面が內田總裁の現狀維持を切望してゐるためであつて、政府の[illegible]れるが、斯かる事態を知つて內田總裁が依然留まることは總裁自身も[illegible]からずとする所たるべく結局內田總裁も辭任するに至るであらうと但を知るものは觀測してゐる

內田滿鐵總裁

拓相に辭表提出

【大連七日發電通至急報】內田滿鐵總裁は政府の江口副總裁罷免の報を受くるや辭意を決し午後五時發拓相に宛て電報をもつて辭表を提出した

【大連七日發聯合】江口滿鐵副總裁罷免に伴ひ內田總裁も七日午後電報を以つて辭表を提出す

後任總裁は

勝田、山本兩氏有力

然し首相は武藤氏を推す

【東京七日發電通】內田總裁の辭任に伴ひ後任滿鐵總裁として目下のところ鈴木內相、前拓相、秦拓相等の推薦する勝田主計氏が最も有力視され山本條太郎氏も有力候補者に上げられてゐるが犬養首相は武藤山治氏を推してゐる

たのは勅令第十四號第十條後段の規定にある總裁副總裁は勅裁を仰ぎ政府之を命ずと云ふ條項に基き行つたもので此の場合政府は無論任免の權限を以て上奏勅裁を仰いだものである

人事は祕密で 理由は言はれぬ

秦拓相の談

【東京七日發電通】[illegible]

江口氏に

辭令交付

【東京七日發電通】七日午後一時[illegible]

滿鐵の重役 鳩首協議

【大連七日發電通】江口滿鐵副總裁罷免の報が滿鐵社內に達するや重役間に大きな衝動を與へ[illegible]に總裁室に集め何事か協議の結果東京某方面に長文の電文を發し內田總裁も辭意を決せる模樣である

內田氏支持者

軍部にあり

政府と問題生ぜん

【東京七日發電通】政府が江口副總裁の罷免を決した內田總裁に對しては滿洲事變以來同總裁が軍部に盡したる功績が多大であり軍部方面にも同總裁支持者が多いので[illegible]內田總裁が辭表を提出するならば問題が生ずるであらうとも見られてゐるが政府としては思ふ[illegible]後任總裁の銓衡に取かかること、となるが目下山本條太郎、勝田主計氏が有力である

特殊銀行幹部の

更迭を進言

森官長から藏相に

【東京七日發電通】森書記官長は七日午前十一時官邸に高橋藏相を訪ひ約一時間に亙り會談する所あつたが森官長は「最近民間會社の重役連に就ては銀行家を集めて貰ひ、內閣との行掛りがある爲めと稱して民間實業家及び興業方面から之等特殊銀行幹部の更迭を要望してゐるから此の際特殊銀行の幹部の更迭を要する」と進言し高橋藏相と懇談して辭去した

特殊銀行會社に

脅威を與ふ

今回の罷免處分

【東京七日發電通】江口滿鐵副總裁に對する罷免處分は官吏ならば懲戒免官處分とも云ふべきもので斯くの如き絕對的處分に依り特殊會社若くは特殊銀行の首腦部を免職したことは前例のない所と云はれ從つて江口副總裁に對する處分は特殊銀行會社に對し大脅威を與へ又政界にも大衝動を與へてゐる

一、在[illegible]機關の統制に付き說議して四時散會

四ケ國會議

開催さる

聲明書を發表

【ロンドン六日發電通】ダニューブ河畔中歐諸國の財政救濟を議する英、佛、獨、伊四ケ國會議は六日午後二時三十五分よりイギリス外務省に開催、三時間に亙り討議を續けた後、各國代表部より一名づつ參加する專門家委員會を任命して散會した、散會後左の如きコムミユニケが發表された

本日の會議に於て關係四國より夫々一名の經濟專門家を出して委員會を任命しこの委員會をして聯盟財政委員會の中央及び東南ヨーロッパに於ける某々國の財政情態に關する最近の報告を審議せしめることに意見の一致を見た

陸軍首腦部の

協議

三宅少將を交へ

【東京七日發電通】陸軍省首腦部は七日午後一時關東軍參謀長三宅少將を交へ會議を開き先づ三宅參謀長より滿洲國の現狀並に將來の方針就中財政、治安維持問題につき詳細聽取し

一、關東軍司令部の組織人事

一、將來の關東の兵力編成及配備

一、匪賊討伐方針

樞府の定員增加

近く實現せん

政府應諾を明かにす

【東京七日發電通】樞密顧問官定員二名を增加したいと樞府側の[illegible]ての希望であつたが先年田中政友內閣の時商工、拓務兩省設置案審議の際、交換條件として政府を見て增員するとの言質を與へてゐる依つて樞府側では絕對多數を獲得せる現內閣は速にその約を履行すべしとの論が[illegible]に擡頭し來り政府に之か[illegible]を[illegible]した結果政府も之が應諾を明かにしたので[illegible]二名の增加に[illegible]ある

威海衛の學生

が排日運動

【東京七日發電通】在靑島海軍武官發海軍省着電に依れば、威海衛では盛に學生の排日運動あり不穩である、日同地海合航行中の我が第二十一共同[illegible]排日運動の[illegible]下せる事件あり、[illegible]するに鑑み、在靑島東北海軍司令官は今後の取締を[illegible]するため六日[illegible]ひ[illegible]に寄ることとなつた

酒煙草の賣上げ

二千八百萬圓

前年より二百萬圓減

專賣局では一大專賣品たる酒煙草の昭和六年度賣捌成績を集計した處酒の一年分の賣捌高は二千二百六十六萬二千圓にして之を前年度實績たる一千三百七十九萬七千圓に比較すれば百一三萬五千圓（八分二厘）の減少である、次に煙草は六年度賣捌高一千四百四十六萬三千圓にして之を前年度實績一千五百七十一萬一千四に比較すれば百二十四萬七千圓（七分九厘）の減少である、以上を合計すれば

酒煙草 一年分の賣上は二千八百三十七萬圓で前年度に比して減收二百三十八萬圓である、之も昭和六年が如何に深刻な不況の年であつたかを物語るもので先づ酒では[illegible]不況のため本島酒の賣行減退し殊に內地酒と洋酒はあでさ[illegible]で良成績を示したことは都會地におけるカフエー[illegible]の[illegible]を受けてゐるのと本島人中流階級の嗜好の向上とによるものである、又煙草の減收の主因は[illegible]が[illegible]て

安もの の[illegible]朝日や[illegible]に[illegible]向したため敷島が大減收を來したことで更に[illegible]以下の高級品の賣行減も手傳つてゐる、專賣局では不況が斯くまで深刻となるものとは豫想してゐなかつたので三大專賣品本年度の賣捌は當初の豫定より一百八十六萬圓減といふ大なる赤字の出現となつたのである

嘘八百の報告

を聯盟に提出

【ゼネバ六日發電通】支那代表部は又も聯盟事務局に對し左の如き南京電報を提出した

日本航空機は三月二十三日安定を爆擊し、更に百餘の日本軍は黃渡の民家を搜查して商品を掠奪したる上、中學、師範學校の建物を破壞し、四月二日には黃渡の日本軍は四千名に增員した、崑山城の報告に依れば日本は所謂南北政府なるものを設けてゐる

財部大將

後備に編入

【東京七日發電通】七日財部大將は左の通り發令された

後備役被仰付　海軍大將　財部彪

兩陛下に拜謁

【東京七日發電通】海軍大將財部彪氏は今回後備役に編入されたので、天皇陛下には午前十時中奧御座所に於て同大將に謁を賜はり、現役中の勞を犒はせられ引續き皇后陛下にも拜謁を賜はり兩陛下より御下賜品及び[illegible]

日銀の貸出

範圍擴大

特定擔保以外のものにも

【東京七日發電通】日銀は從來特定の擔保以外に對しては貸出を行はなかつたが、最近の地方金融狀況に鑑み、大藏當局と種々交渉の結果、正規の擔保以外に對しても積極的に地方金融界の安定に努力することとなつた、此の結果は政府及び與論が[illegible]の所謂インフレーシヨン政策の現實にも相當の効果あるものと見られてゐる

木多保太郎氏

二十日歸臺

[illegible]局[illegible]保太郎氏は[illegible]後へ[illegible]氏と交代し氏は[illegible]の[illegible]について、現在の[illegible]に[illegible]

上海戰後の 復舊を急ぐ

共濟會を組織

【上海七日發電通】四月一日より開店した支那側の各商店會社では如何にして戰後の復舊を為すべきかを問題としてゐたが、市商會、銀行、錢莊、辯護士、其他各團體代表者參集し、協議の結果上海戰後商工業共濟會を組織して積極的に復興を圖ることに決した、一方市民聯合會等各團體の聯合委員會では戰前の狀態を決定して其の利息を增引し、其他の方針を決定して着々その回復を謀いでゐる

製絲公債

一千萬元發行

人絹輸入稅も引上を議決

【上海七日發電通】國民政府立法委員會は昨年來凋落と不況狀態にある支那製絲業者救濟の爲め、製絲救濟公債一千萬元の發行、製絲業者の[illegible]を六日議決した、人絹は日本品に對し最近イタリー製品が競爭を開始して居り、右の關稅引上と相俟つて今後本邦人絹の新輸出には相當[illegible]するであらうと

高木子が當選

【東京七日發電通】貴族院[illegible]子爵議員の補缺選擧の結果[illegible]六日高木正得子爵當選し子は直ちに研究會に入會した

臺北市常置員會

臺北市役所では八日午後二時三十分から市尹室に於て市常置員會を開き新年度の事業[illegible]の諮問案、新年度の常置員會の[illegible]へ、八日までの間に出た諸問題の[illegible]を[illegible]議する筈

何れとなるか今の所推定して[illegible]ない

[illegible]定では伏見丸にて本月十五日頃基隆に着き、二十日頃入臺して[illegible]豫定であるが右內地出張命令が出れば[illegible]直航することとなるが右[illegible]

阿部軍司令官

隨時檢閱

七日衛戍病院八日北投分院

阿部軍司令官は新任の[illegible]を[illegible]て七日午前八時より衛戍病院の臨時檢閱を行つた八日は北投分院の檢閱を行ふ筈

人事

蓬萊丸より（來航）門司發　[illegible]後總督府の吉田和[illegible]、[illegible]、[illegible]、赤司初太郎、岡田[illegible]試驗所長、金子[illegible]、石川[illegible]、松[illegible]、松五郎、村上[illegible]、中村[illegible]、市外多數一同無事八日午後一時基隆着豫定（七日[illegible]）

▲小[illegible]一氏　八日發東臺灣から中南部へ

▲臺北松本[illegible]記者　八日より東部へ

▲岡田幸[illegible]氏（[illegible]）八日着任

◇シナチク◇

この[illegible]の[illegible]選擧に[illegible]時代の[illegible]から[illegible]に支持された[illegible]は、[illegible]して後援してくれた人に、[illegible]へ[illegible]となく[illegible]◇人に[illegible]の給で第二の[illegible]で來選する、同君としても五年振りで思ひ出深い選擧に到着するわけだ、感慨も相當に深いだらう▲同和二年に上山總督の手で豪南州知事から[illegible]大阪から上京して[illegible]も[illegible]官に[illegible]して[illegible]流轉されてゐるといふ、何しろ幸運な人だ▲臺北の酒友たち三十名は八日[illegible]さつそく[illegible]で歡迎の會合を催すさうだ、それで高等官らは[illegible]へ行き[illegible]して來る十二日かすぎ四日頃の船で內地へ引き返すさうな▲ゼネバの[illegible]の爲めの[illegible]旅行とある[illegible]代表に[illegible]中の大使の長岡春一博士に繰り佐藤[illegible]代表は駐白大使の[illegible]退いた、これで[illegible]、佐藤、長岡と國際聯盟へ出る帝國代表も三代變つたわけだが、新代表の手腕が果してどんなものかと世間では相當に注意してゐる。

OOHY SOAP
石鹸王妃
あなたのプライドの爲に
あなたの御満足の爲に
Let try Oohy
No.10

花園をゆく……（スケッチ）

廿一萬圓を投じて
東港渓に架橋
九月頃工事に著手

【高雄電話】高雄州東港郡東港渓の架橋問題は多年の懸案であるが何分にも多額の工費を要するので實現の運びに至らなかつたが愈々本年度において著手する事になつた、工費は二十一萬圓、この內三分の一即ち七萬圓は地元並に關係住民が負擔し殘り三分の二は州と國庫の補助にまつもので著手は九月頃の見込である

勅諭下賜記念日に
陸海軍聯合演習
馬公に於て計畫中

來る四月二十四日軍人に賜はつた勅諭の五十年記念として馬公陸海軍に於ては此際國防思想普及と士氣の振興を計る可く陸海軍聯合攻防演習を壯烈に行ふ可く目下陸海軍相協定して計畫中であるが當日は在郷軍人は勿論青年團をも參加せしめ其他一般にも[illegible]下に總動員的に此演習に參加させ[illegible]意義ある演習となしその目的を遺憾なく達成せしむる筈で各方面に於ては此計畫を着々進捗せしめつゝある狀態で當日は昨年陸海聯合攻防演習に次ぐ花々しき演習が見られるであらう

屏東魚市場
取扱高減る
前年より價格で二割方

【屏東電話】屏東魚市場は街役場の一の財源とされて居り前年末までは取扱高年額三十萬圓內外を見越されて居たが財界不況に遭遇すると共に著しく價格低下する見込であつた所果して四十萬圓に達せず昭和六年四月一日より七年三月三十一日までの一年間の數量は百八十七萬四千四百卅九キロ價額二十五萬二千三百六十餘圓で前年に比べ數量で一割八分價額で二割方の減收を來してゐる、賣上高の減少は物價の低下によるものであり[illegible]全般的に不況に支配されてゐる屏東地方としては前年來の不況が與つてゐるものと見られてゐる

布哇からの
視察者

【屏東電話】布哇ホノルル市フォード觀光非旅一氏は布哇に生れて三十五年初めて日本の土を踏む所のスマートな青年紳士で農業については多年有益な研究を重ね從來高雄市內外食品會社其他へ本擔を通[illegible]

臺南州下の
理髮試驗
日割發表

【臺南電話】臺南州下理髮試驗は六日各州郡署の甲種出願者四十六名と七日臺南署、新營、北門、八日新化、曾文の乙種出願者は臺南州衞生試驗室に於て既に九日新營、十一日嘉義、十二日嘉義署、十三日斗六、虎尾、十四日東石、十五日北港、臺中の乙種出願者の分は嘉義衞生試驗室に於て擧行の筈で乙種は計二百十六名であると

嘉義の花祭り
各宗派合同の下に
八日盛大に擧行

【嘉義電話】嘉義各宗派合同聯合會の發起で佛陀降誕祭により八日次の順序を以て盛大なる花祭を擧行すると

一、午後一時嘉義寺院宮前町曹洞宗布教所より稚兒參加花御堂とともに除中行列にて公會堂に入り式
一、奉祝花火、午前七時午後一時同七時各三發打揚げ
一、甘茶接待、午後一時より日沒迄
一、奉祝旗施本、來會者に分與
一、奉祝會、午後七時より公會堂に開催

延長一千間の
高美堤防成る
十五萬圓を投じたもの

【臺中電話】大甲郡高美の堤防は一昨年大洪水の際決潰して以來大甲溪の洪水の度毎に高美部落は危險に瀕するので同地の吳文通氏が率先して臺中州及總督府に出願を陳した結果總督府においても急施のやむなき事情あるを察し、財政不如意の折柄にも不拘工費十五萬圓（內三萬一千圓は地方負擔）を投じ六年二月から起工し約一ケ年を費して去る三月末竣功をつげたので七日同堤防起點において吳文通、[illegible]、[illegible]の諸氏四部落民を代表して竣功式を擧起し盛大に擧式したが堤防の總延長は一千間である

臺中州自動車共榮會社
關係業者だけで設立

【臺中電話】臺中州下の自動車營業者等が自動車及び自動車のガソリンその他附屬品一切を自給の目的で今回「臺中州自動車共榮株式會社」なるものを組織すべく近藤良吉、黑木喜彥、方武卿八、陳朝棟、邱脊、林成家、呂世明、林通陳反、林伯楷、許孫讓、張榮銘、劉金盾の諸氏發起となり過般來計畫を進めてゐるが、自動車營業者中には一人の異論者なく株式の募集の如きも順調に進み資本金十萬圓、一株五十圓、總株數二千株の中既に一千八百餘株は應募決定し殘り二百餘株も此處數日中には決定を見る段取となつてゐるので來る十日頃には創立總會を開催するに至るであらうと、尚ほ自動車附屬品一切を自給する事となれば現在經營難に陷つてゐる營業者も順調に營業を續行する事を得る事となるであらうと

彰化の獸魂碑
八日除幕式

【彰化電話】彰化街役場獸肉販賣業者の發起になる獸魂碑が數日前出來上つたのでその除幕式を八日午前十時擧行すると

屏東の講演會

東京で慈善事業や傳道に從事して居る外村義郎牧師が十二日來屏左の日程で講演があると

十二日午後七時屏東會館、十三日午前十時婦人會主催、日共敬會午後七時、十四日潮州

埔里[illegible]派出所落成

【埔里電話】郡下部落民の寄附により、約三千圓を以て移轉改築中であつた臺中州新高郡[illegible]派出所はこの程竣功したので八日午前十一時から同派出所に於て落成式を擧行の筈となり臺中州より十首席防部長列席の筈である

デンドロビウムの展覽會……臺中園藝會主催

大寮庄の
火事
子供の火遊びから

【高雄電話】六日午後四時頃高雄州鳳山郡大寮庄山子頂楊吉方から出火、住家三棟と豚小屋一棟を燒いたが原因は子供の火遊びらしく目下取調べ中

嘉義方面委員の取扱件數

【嘉義電話】嘉義市方面委員三月中の取扱ひ事項及び件數次の通りであつた

△相談指導十四件△保健救療二十四件△兒童保護六件△周旋紹介四十件△戶籍整理二件△金品給與二十五件△その他七十八件△合計二百八十八件△一月よりの累計千二百十二件

海軍への人氣——
志願者年々ふえる
臺灣に於ても志願者の
試驗所を設けるに至らう

海軍兵員の志願試驗は現在の所では臺灣に於て試驗場の指定がないので臺灣在住者にして有海軍兵員志願者には甚だ不便であるが臺灣に於ても右志願制度の有利有望なるが年々周知され相當志願者も增して來たので何れ臺灣に於ても右試驗場所が指定されるであらうと云ふ事である、これにつき鎭海要港部副官は左の如く語る

海軍志願兵とは滿十六歲以上の若者から航空隊、通信、普通科等の兵員として試驗の上採用するのであるが此志願兵の將來は非常に有望なので目下內地では各試驗場共非常な盛況で從つて試驗もさう樂な者でない、何しろ試驗は未だ臺灣に於て試驗場が指定されないので臺灣各地から種々問合せて來る人も多い樣だ何れ臺灣に於て志願者が多くなれば試驗場が指定される事になるであらう云々

四月下旬開校する
屏東高等女學校

【屏東電話】屏東高女は既報の如く四月下旬開校の運びになるので七日午後十時より設置陳情實行委員は街役場會議室に集合更に今後

花蓮港廳の農民補助

花蓮港廳では廳下農民へ深耕犂の購入費と堆肥舍の新設の補助を出す事となり希望者を募つたところ深耕犂は二百五十件に達したが右は一臺價格十五圓のもので四圓五十錢を補助する事になつてゐるが堆肥舍は一件につき七圓を補助する事になつてゐるが後者は希望者百件に達してゐると

臺南州下
製糖作業
今年は順調

【臺南電話】臺南州下に於ける本期新式製糖作業は現在の所順調なる進捗を示し又改良糖廍はこの程二ケ所とも終了を見たがその壓搾原料は二千百四十四萬三千斤で產糖高二萬八千六百三十五擔を算し步留は[illegible]に於て一割四分三厘を示し新式工場にも從來見なかつた良好さがあるがその原因は組織の改善と品種改良によるものとされてゐる、その他新式糖廍もここ數日中には六ケ所全部の終了を見る事とならうが結局本期製糖の產糖高は約四萬擔を豫想され例年より四割內外の增產とならうと

里港の火事

【屏東電話】屏東郡里港庄二三七番地方より七日午前四時半出火、一棟を燒いただけで間もなく鎭火した

臺中法華寺開眼式

【臺中電話】臺中寶町の本門法華宗臺中布教所においては宗祖立正大師六百五十年遠忌記念として過般來木像建立中の所出來せしより八日午後一時同所において奉安開眼式を行ふと

の出迎に於いても種々打合せる所あつたが當日は關係地方として祝賀會を催す計畫もある

軍人勅諭
記念祝典
高雄からも代表出席

【高雄電話】二十四日東京において開催さるる勅諭御下賜記念祝典に在鄕軍人高雄聯合分會長清水彥治氏は在鄕軍人聯合支部代表として參列のため十六日基隆出帆の便船にて出發の筈

喜多氏の歡迎會協議

【嘉義電話】嘉義市官民有志は元臺南州知事喜多孝治氏の來遊を迎へ官民合同歡迎會を開催すべく七日午後三時より公會堂に會合協議した

基隆の琵琶大會
九日公會堂で

基隆市旭琵琶會主催で九日（土曜）午後七時から公會堂で兵器獻金琵琶演奏大會を開催、內地三勇士の新名曲發表外數曲演奏とてハーモニカ獨奏、浪曲[illegible]がある、會費二十錢、出來得る限り費用を節約し、收入[illegible]の殘金全部を獻金すると

嘉義那拉草耕作組合總會

【嘉義電話】嘉義那拉草耕作組合第七回通常總會は來る十八日午前九時より同組合事務室に於て開催さるるが附議事項は次の通りである

一、昭和七年度歲入歲出豫算の件
一、同年度事業計畫の件
一、肥料購買資金借入最高限度に關する件
一、[illegible]の件
一、事業報告承認の件
一、昭和六年度事業歲入歲出決算報告の件
一、同年度共同購買資金經理報告の件
一、肥料共同購買資金經理報告の件
一、[illegible]資金經理報告の件

蘭陽巡視の
中瀨知事
十一日の日程

【宜蘭電話】中瀨臺北州知事の蘭陽初巡視日程の內十一日の分は未定であつた所左の如く決定した

嘉義市の
借入低利資金
十萬八千圓認可さる

【嘉義電話】嘉義市における本年度事業として認可された上水道擴張資金十萬八千圓、同市學校用地收資金三萬圓及び商工補習學校新築資金二萬圓の所要額その他より借入の件は三月三十一日付で總督府の認可指令に接した

宜蘭

臺北州立宜蘭農林學校長たりし柳川鑑藏君の送別宴會は四月六日午後四時から宜蘭公會堂で催されたが、宴會費の一部と農林生徒ならびにその父兄からなるものとを合して記念品を贈呈することになつてゐる

[illegible]へ孔子廟、金同坦取入口工事の視察の後自動車にて德茂公共浴場に到り北白川宮能久親王殿下御遺跡地に參拜歸北は午後五時二十四分臺北驛着

新竹

▲論文當選者　新竹州教育課にて募集中であつた學校教育に關する論文は審査の結果一等當選者なく二等以下左記諸氏當選した

二等中壢郡觀音校松尾壽治、同公館公學校長[illegible]、三等中壢公學校長宮島山多加、同大溪公學校川村[illegible]

▲部長歡迎會　愛國婦人會新竹州部の內海新部長夫人歡迎會は五日午前十一時から公會堂にて開催木原副部長の歡迎の挨拶に對し新部長新任の挨拶あり午餐を共にしたが會員其他の參加者多數あり、記念撮影の上午後二時半散會したが八十二名の出席者があつて盛會であつた

▲漫談大會　大辻司郎の漫談、[illegible]の漫談大會は市役所後援の下に六日午後七時から俱樂部で開催されたが場所の狹いのは遺憾であつた

▲火災　六日午前零時二十分頃[illegible]南門七二番地[illegible]方から出火大事に至らんとしたが[illegible]かけつけ同家を半燒したのみで消し止めた

澎湖小景

今度こた大丈夫、郡守に榮轉と大岐様を押した樣に云ひ傳へられて居る道山、田中郡衛長に付き近い中に豫定の通り御榮轉近い相ですれとやると△溫厚な道山サンは笑ひ乍ら語る「其麼ことがありますかい、夢にも見て居ませんが……」と如何にも意味深長の笑ひで打ち消す△田中警務課長は語る「今日迄何度となく新聞紙面では郡守になりましたが、未だ其通りに[illegible]でしやう……」△馬公街水道水源地の水源が年々減少して來る相で、一昨年より昨年、昨年より今年は更に減少して來たと云ふ然るに同一水井である海軍水源地に於ては全然斯ることなく十年一日の如く相違がないと云ふ同一土地に於ける此珍現象は何を物語るのか△高雄馬公間定期船が四月一日から隔日に一日置きに午後五時入港同日同九時に出港する事に成つた、何十年來の希望漸く實現是れが隔日第一級と二等目には勿體付けられる澎湖の[illegible]

▲始め蘭陽地方に農林學校を新設するの議なるや、宜、羅、蘇三郡の陳願となり、運動また猛烈であつたが、時の吉岡知事斷然宜蘭にきめたのであり、柳川君ここに初代校長として赴任し、創立上の萬難に克ち今日あらしめた努力多とすべきである

▲併しながら創立したのは大正十五年で、[illegible]御蔭閉の年であり宜蘭街民も創立祝賀をしたかつたらうけれど、事實出來なかつたに相違なく、何にも學校および柳川君に對し忘恩のためでないことを諒すべきであり、柳川君の出立間際に當り「忘恩」呼ばはりするものあるは却つて柳川君を傷つけて最後のひき際を[illegible]となり、街民と氣まづい別れをせねばならぬとは甚だ遺憾なことである

▲柳川君の隱れたる印象としては釣の名人で大里の海岸に「柳川岩」のあること、校長官舍のぐるりは柳川君自身がいふごとく魚村部落であること、しかしてマージャン黨であつたことである

▲柳川君去つて二代目校長まだ定まらず、いはゆる暗雲とみえるが誰が來るにしても、吾らの註文をいうてみれば、超然主義をとらぬこと、花蓮港方面へ旅行すること、[illegible]の什器を生徒に食はせぬこと等、等、等…數へきれず

▲來る九日は臺北地方法院の合議部において宜蘭信用組合の役員改選決議無效確定請求の訴へに對する公判があるはず、これは昭和四年二月十九日の總會で問題になつて以來まる三年越の事件であり、それからずつと兩派もつれにもつれてゐるだけに、この公判の成り行は宜蘭街民にとり重要視されるは當然である

▲兩頭の蛇をみてゐる蛙かな

花蓮港ニュース

◇【花蓮港電話】花蓮港街福住の排水溝の新設工事は三十一日竣功目下石磯の目潰し仕上工事中であるが延長約四百間餘の道路が整理されたため新築家屋が續々建てられてゐる

◇【花蓮港電話】かねて工事中であつた瑞穗の紅葉溪護岸工事は去る三十一日竣功したこの堤防は總延長二百七十五間で附近部落民は竣功前から[illegible]して新開墾に從事してゐると

◇【花蓮港電話】青果大會に出席した花蓮港代表小川、吉村、藤井、玉置、古賀、中村の諸氏は六日午後五時半[illegible]歸花街有志は武器庫通り藤井氏前で出迎をなした

◇【花蓮港電話】花蓮港[illegible]村の[illegible]は三月から開始される豫定であつたが吉野村は六日から九日まで、豐田村は十一日から十七日まで、林田村は十四日から二十五日までと變更された

◇【花蓮港電話】全島青果大會花蓮港出席者は七日歸花の豫定であるが十日午後六時から昭和記念館で會費三圓五十錢で慰勞會を開催すると

板橋

△板橋公學校長[illegible]武氏他界榮轉の送別會は四日午後五時より同郡役所[illegible]部長神谷板橋街長の發起に依り板橋林本源庭園に於て盛大に開催した

△林本源公業林本源管理人林柏壽氏は去る五日清明節に付き先塋[illegible]の爲め同日午後六時から同氏私邸東內庭園に於て各官衙長及地方有志者百餘名を招待し清明宴を開き[illegible]氏の挨拶に對し板野郡守の謝辭あり午後九時閉會した

△南山[illegible]郡守主任[illegible]郡補は今回の異動に依り臺北南署勤務主任として榮轉したがその後任は元南署[illegible]警部補氏であると

人事

▲園子技師　七日來花（花蓮港電話）

大阪　信用第一主義　顧客本位
春夏帽子荷捌　稻村益商店
萬年筆製造直賣
信號堂製作所
糸物組紐問屋　石田秀商店
鞄革具製造卸　山田乾工廠
學生用品　日用金物　瀨川合名會社
三千本膠　セラチン　馬場商店
布海苔　硫黃　健商店
夏物子供服
荷捌　本瀬商會
マースランプ
大塚乾電池製造大卸
五月人形　武者品揃
ゴム風船　廣告用品　流行玩具
羅紗　綿布　竹中利助商店
ボタン製造直卸　鈴木彌助商店
フエルト草履　花緒爪掛　大幸屋商店
運動具製造卸　松葉屋商店
護れ赤ちやん
三才から五才までが病氣に罹り易い
顔色蒼白
[illegible]

高速度滋養料 どりこの

美味　實際的　滋養　理想的飲料

何處の御家庭でも是非毎日お用ひ下さい！ これが新時代の滋養強壯飲料です！

『どりこの』は、甘露以上の美味飲料で、滋養料の王樣です。飲めば直ちに體內へ吸收されて、疲れは忽ち癒り、元氣漲り精力を增し、能率が上ります。常に用ひれば體力旺盛になります。

『どりこの』は、それ自體が滋養分である上に、他の食物の消化をも助けます。胃腸の弱い人には此の上なく、病中の人にも、病後の人にも、運動や事務の繁劇、勉强などで疲勞した時、此の上ない補血飲料であります。主成分は、人體活動力の源泉となる葡萄糖、果糖と、アミノ酸でありますから、滋養効果が著しい筈であります。

專門諸大家は、醫學的立場から熱烈推奬！ 愛飲家は、家庭必備の滋養飲料と大激賞！！

◎[illegible]法な合理的滋養品

醫學博士　佐多芳久先生

たとへ、流動食でもやはり胃腸で消化しなければ吸收されませんから、滋養にはなりません。『どりこの』は少しも消化の必要なく、飲めば直ぐ滋養分として吸收される成分から出來て居りますから、極めて簡便な、合理的な滋養飲料であります。

○病人や小兒に最適當

醫學博士　井上文戴先生

蛋白質を消化する面倒のない樣にした榮養品は澤山ありますが、これ等のものには味のよろしくないものが多いのであります。しかし『どりこの』は甘味が上品でありますから、小兒も好んで飲用いたします。又病人に消化器の世話のない樣にした榮養劑は却つて、胃腸を弱くし、下痢等を起すことがありますが『どりこの』にはさる心配は少しもありません。上記の理由で病者も小兒も又健康者も疲勞した空腹時の『どりこの』一杯はこれを恢復するに充分であり、且つ榮養料として全く安心して飲用される理想的のものであります。

○發育不良兒や虛弱者に適す

醫學博士　柳澤信賢先生

『どりこの』の含有する『アミノ酸』中のグルタミン酸は身體組織の原基であるばかりでなく、味もよく、且つ胃液の分泌を旺盛ならしめ、從つて消化を助ける特性は、發育不良兒・虛弱兒の滋養劑として殆んど理想的のものである。

○產前產後の婦人はぜひ

醫學博士　櫻井菊三先生

滋養劑だとか、強壯劑だとかいふものには、含有成分には感心出來ても、どうも口あたりのわるいものが多く、二度三度は忍んで飲んでも、死ぬ迄つゞきのしないのが缺點であります。しかるに『どりこの』は甘味と香味に富み、しかもその甘味といひ香味といひ、誠に現代人の味覺にかなふやうな上品な新味を持つて居りますから、いくらでも長く續けて愛飲することが出來ます。從つて滋養料として完全な効果をあげることが出來ると信じます。殊に小兒は好んで飲用します。『どりこの』は又產前產後の婦人にも適當な飲料だと思ひます。

○酒後の一杯はまことに妙

辯護士　中村泰治先生

藥とか滋養物は子供が飲みにくい爲めにいやがるのですが、『どりこの』は子供等が進んで飲みたがるのと、[illegible]んで頂くので、何より結構な飲み物と思ひます。私は酒のあとで一杯づつのむ癖をつけて居りますが、實に大變いゝ樣です。他の家庭へも私は極力『どりこの』をおすゝめしようと思つてゐます。

○神氣頓に恢復する

文藝家　佐々木邦先生

仕事は身體をうまく使ふことによると私は信じてゐる。この故に私は散歩をしたり體操をしたりして、あとから仕事に身體が使へる樣に心がける。私は[illegible]眠る外に術がない。散歩はくたびれて頭の足しにならない。[illegible]た御飯の蓋へ『どりこの』をすゝめられた。下戶で酒類の刺戟を一切利用出來ない私には、これが誠に重寶である。仕事に疲れた時程く疲つたのを一杯飲むと神氣頓に恢復する。コーヒーの樣な刺戟を齎さない。私は『どりこの』愛用者の一人である。

此の外、各界諸名家擧つて御推奬！　全國愛飲家よりの謝狀、謝辭山の如し！

『どりこの』は、どなたも毎日おあがり下さい 又、贈答品として、病氣見舞として絕好、最良です！

寫眞は
松竹新入社の
岡田嘉子さん
◇◇◇
『どりこの』一瓶
定價　一圓二十錢
全國信用ある藥店
食料品店にあり。

D--125

牛乳に『どりこの』を入れると榮養價が二倍！

牛乳に『どりこの』を少量入れますと、牛乳の榮養價が二倍になり、その甘味もその香氣で、とても美味しくなります。

『どりこの』を加へた牛乳ですと、如何に牛乳の嫌ひな方でも飲み易くなります。それはかりでなく牛乳の榮養價が二倍になりますから、健康の方にも、胃腸のわるい方にも、その他病後衰弱の人にも非常に榮養効果が增します。

『どりこの牛乳』は特に、乳離れの小兒、母乳不足の小兒に絕好です

『どりこの』を牛乳の六分の一位の見當に混ぜると與人向きの程よい甘味を持つた『どりこの牛乳』が出來ます。かう致しますと、砂糖を入れるよりも香氣があり消化がよく、全く理想的の榮養料が出來るのであります。

特に次の樣な人に滋養効果偉大！

◇胃腸病の人　◇產前產後の人　◇母乳不足の幼兒
◇結核症の人　◇虛弱體質の人　◇神經衰弱の人
◇熱ある病人　◇病後衰弱の人　◇老衰病の人
その外身體精神過勞の人

東京本郷　大日本雄辯會講談社代理部

滿蒙新國家へ米國から進出

日本事業家と連絡投資希望

【大阪七日發本社特電】滿洲新國家の門戶開放政策に機會均等を標榜するに對しアメリカでは商賣人之に着目しテキサス州の保險、化學、電氣土木業者よりなるエンヂンサービス・コーポレーションは日本小川榮米と連絡投資の希望を寄せて大阪府立貿易館に對し商品の紹介方に相談を申し來つたが、四日大阪貿易館に上れば最近大連入港のドイツ汽船アルスター號は商品見本と覺しきサラメ紙、ベンジン油、荷造用包裝紙、チヨコレート、ミルク、ヒルム、ワイヤー、タオル、ハンカチフその他實に數十種に及ぶ各國商品を何れも二、三個宛輸入したが同國の斯る企ては極めて稀で新市場視察に對する諸外國の**國際的**進出は各方面の注目をひくに至つた

島內郵貯新記錄

三月末現在二千七百萬圓突破

三月末に於ける本島內郵便貯金の現在高は人員四十八萬三千六百二十一人之が金額は二千七百十一萬七千六百五十二圓で遂に懸案の二千七百萬圓台を突破し記錄を現出するに至つた、例年ならば年度末で多少の減少を見るのであるが此の現象を見たのは全く稀有とされてゐる、昭和四年度以降の取扱數及年度末現在高比較を示すと次の通りである

	人員	金額
四年度末	四九九、四二七	二五、〇〇五、九五四
五年度末	五二四、六五七	二五、四九九、二〇四
六年度末	四八三、六二一	二七、一一七、六五二

尚一人當りの預入金額は昭和四年度が三十四圓十六錢五年度が二十九圓九十四錢で六年度末は實に三十五圓十六錢に達した

耕地白糖賣出

四月中九萬擔

【大阪七日發本社特電】砂糖供給組合では五日同組合事務所で協議會を開き四月中耕地白糖賣出數量を九萬擔と決定した

二ケ月振りに本島へ上海麬入津

六甲山丸で四萬袋

久しく紛糾に紛糾を重ねてみた上海麬二月積約定解約問題はその後同業組合の手を離し**賣買當事者**間雙方の協議により解決することゝし三井物產にては賣手との交涉條件により雙方の互讓により二月積は條件解約成立し新に買入と四月積契約として値段を時價一袋一圓五十二、三錢から相當切下げ試價を示す所があつた、而して右約定荷物四萬五百袋は三井配船六甲山丸にて五日上海發七日基隆へ入港した、一月末の積出中從來二ケ月振で第一船の入荷を見た譯で久しく麬の**拂底に惱め**る本島として入荷を歡迎してゐる、而し問屋としては二月積約定値段に比し一袋に付十錢以上の割增金を負擔しなり且つ上海積出其ものも今後少く依然積出に際し特別諸掛十二、三錢を要する狀態に付當分神着一圓四十五錢見當以下は見込薄である因に當島天津麬も品薄目下賣値なく大連物は一圓四十錢位であるが品質相當劣り本島では餘り歡迎されない關係である

鐵道部用石炭

十二萬六千噸購入決定

專賣局用は二萬五千餘噸

本年度の鐵道部用石炭は前年度同樣十二萬六千噸を購入することに決定し又四日各炭業者との間に契約成立した、納入者は三井、臺灣炭業、三昇公司、赤司礦業、興井礦業等である、尚專賣局の本年度所用炭は粉炭二萬七百五十噸、小塊炭四千八百噸計二萬五千五百五十噸で八日見積り合せの上購入を決定することになつてゐる因に製糖用炭は既に購入一段落を告げ前年期より多少の減を示してゐる

全島移出米

計百廿五萬擔

(稅關調查)三月中の移出米合計は十七萬八千八百八擔、この價額百三十九萬六千圓であつたがこれを一月以降累計にみると、數量では百二十五萬八百二十八擔、金額では九百六十三萬圓となりこれを前年同期間に比べると、數量では二十萬二千四百四十九擔、金額で三百六十萬三千圓の夫々增加を示し本年の米界活況を現はしてゐる、仕向地別に三月中の移出高を示してみると

仕向地	三月中 數量(擔)	價額(千圓)
東京	[illegible]	[illegible]
橫濱	[illegible]	[illegible]
名古屋	[illegible]	[illegible]
大阪	[illegible]	[illegible]
神戶	[illegible]	[illegible]
廣島	[illegible]	[illegible]
下關	[illegible]	[illegible]
門司	[illegible]	[illegible]
鹿兒島	[illegible]	[illegible]
沖繩	[illegible]	[illegible]
朝鮮	[illegible]	[illegible]
其他各地	二、五〇五	一八
計	一七八、八〇八	一、三九六

其後の移出米

七日現在における移出米の狀況は次の通りである

二期蓬萊米	七九五、二四五袋
同	在來米	四九八、〇八七
同	丸糯米	一、二四〇、七八七
同	長糯米	二四四、〇四一

△瑞穗丸(七日)丸糯米神戶揚一〇〇袋、青浦揚六〇〇袋、門司揚五〇〇袋

△桃葉丸(六日)丸糯米東京揚三〇〇袋

△岩手丸(五日)丸糯米釜山揚一〇〇袋

△湖北丸(五日)神戶揚蓬萊白一、六六六袋、在來白一九五、長糯白六三袋

高雄三月中の漁獲高增加

【高雄電話】高雄港三月中の漁獲高は八十八萬二千三百九十二斤この金額十六萬五千三百九十五圓を算し主なる魚類は鰹三萬二千三百七十九斤、旗魚四萬五千五百三十斤、鯖三萬五千六百五十一斤、鯛一萬九千二百十八斤で更にこれが仕向地をあぐれば(單位圓)

內地	三五、〇〇〇
臺北	二六、〇〇〇
新竹	三、七〇〇
臺中	二二、〇〇〇
嘉義	二三、〇〇〇
臺南	二二、〇〇〇
鳳山	七、五〇〇
屏東	八、九〇〇
澎湖	八、六〇〇

で地元高雄の消費高は二萬一千九十五圓に上つてゐる、漁獲高を昨年同月に比すれば數量において十三萬八千八百六十斤、金額で一萬七千三百八十九圓の增加を示し單價は十八錢七厘で前年同月に比し一厘高である

臺北組銀の帳尻

預金貸出共に減少

臺北組合銀行の三月末現在帳尻は預金五千三百十五萬六千圓、貸出金一億一千九百六十萬七千圓にして前月末に比し預金は四十三萬四千圓を減じ、貸出は八萬六千圓を減じてゐる、又之を前年同期に比すれば預金は二百四十四萬六千圓を減じ貸出は六百三十六萬三千圓を增加してゐる、預金、貸出を項目別にすれば(單位千圓)

預金

	三月末	二月末	昨年三月末
定期	[illegible]	[illegible]	[illegible]
當座	[illegible]	[illegible]	[illegible]
特別當座	[illegible]	[illegible]	[illegible]
諸預金	[illegible]	[illegible]	[illegible]
計	[illegible]	[illegible]	[illegible]

貸出

	三月末	二月末	昨年三月末
貸付	[illegible]	[illegible]	[illegible]
貸越	[illegible]	[illegible]	[illegible]
割手	[illegible]	[illegible]	[illegible]
計	[illegible]	[illegible]	[illegible]

蓬萊米は頭重い

丸糯も低迷

期米は二十四圓割れで一應小底を入れ六日二十四圓三十八錢と安値より四十六丁方戾して一服商狀に入つたがまだ灰汁が拔け切つてゐない、此儘低迷を續け底を堅めるのでないかとみられてゐる、二期蓬萊米は買占一派の買玉を悲觀されて賣崩しと壓迫に買方の利喰で八圓六十錢と圈外の安値八圓四十錢から二十丁方戾したに過ぎない、一期蓬萊七月限が內地八圓三十錢島內で食の八圓丁度であるから二期現物の八圓六十錢は依然高く觀られこれ以上掛れば內地上・逆移入を呼び易いので此は賣物勝ちで伸び切らない丸糯米は其際在米二萬五千餘袋と覺しいないが中部筋を始めマバラの浮動買玉が同露中弱に相當殘つてゐるので之が一掃されないと過般の高値を拔くことは期米が上向かない限り內地の入註が增加しない限り望み薄とされ目先向小幅の低迷をくるものとみられてゐる

籾摺組合の茶話會

臺北籾摺組合では一期米の出廻も追々切迫するので檢査に關する當局よりの注意及び諸般の打合せを兼ね四月七日午後二時半より大稻埕蓬萊閣に於て茶話會を催した、席上作田技師から米穀檢査の使命と題し官民協力一致、商品的改善の增進等の要項に就き取引市場等級品種重包裝乾燥調製等竝反等試驗に涉り講話あり次に後藤檢査所主任より檢査の實際問題に就き注意あり終つて前組長より一場の希望を述べ種々懇談する所あつたが檢査當局及び臺北州より係官多數出席あり大稻埕及び新莊郡の籾摺業者五十餘名參集時節柄意見の疎通を計り當業者を指導する上に於て裨益する所があつた續いて六時より懇親會を開催七時過散會した

今期糖移出高

三月中約三百萬擔に達す

累計九百九十五萬餘擔

稅關調查による三月中本島より移出される砂糖は二百九十九萬八千九百十一擔、この價格二千六百七萬九千圓で昨年十二月以降の累計は數量で九百九十五萬三千三百九十二擔、價格で八千六百七十二萬四千圓に上りこれを前年同期間に比べると百四十萬四千八百五十二擔、六百七十九萬三千圓の何れも增加である、次に移出地の各仕向地別に前年對照を示すと次の如くである(單位數量は擔、價額は千圓)

移出砂糖仕向地別前年對照表(稅關調查)

仕向地	三月分 數量	三月分 價額	昭和六年十二月以降累計 數量	同 價額	前年同期對比增(○減)
小樽	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
函館	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
東京	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
橫濱	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
名古屋	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
大阪	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
神戶	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
下關	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
門司	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
三池	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
長崎	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
鹿兒島	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
沖繩	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
朝鮮	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
其他各地	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
計	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

肥料界は青息吐息

値段は再禁前の安値へ

臺灣への販賣戰激化

【大阪七日發本社特電】肥料の取引は現在の不況を反映して最近肥料の需要不振を極め再禁後一時暴騰した肥料市價もその後引續き惡落し五日の市場は硫安十貫目一圓二十九錢と再禁前の安値を現出して肥料界は青息吐息の姿であるが之が爲め最近臺灣市場に向つて肥料販賣戰が高潮せんとしてゐる即ち臺灣では二、三月より夏期にかけて肥料需要期であり各製糖會社が入札購入を行ふが之に對して三井、三菱、住友、安部肥料、安部商店等が入札値段で**過燐酸**十貫目一圓五百目一圓五錢と**白熱的**販賣を演じてをり此のダンピング的販賣は需要最盛期に至るに從ひ激化するものと見られ業界に於て注目されてゐる

過燐酸の臺灣向け濫賣

生產費以下では入札に應ぜぬ協定運動

【東京支局特電七日發】內地肥料會社は目下**在荷一掃**の目的で採算無視の濫賣敢行中であるが此の弊風は臺灣に最も顯著的に行はれ臺灣に於ける各肥料の相場を狂はせてゐるため關西側の**水曜會**では臺灣にかける過燐酸入札に對し生產費以下では入札に應ぜざるやう協定すべく運動中であるがしかも各社の在荷整理でこれが消化に苦しんでゐる際同會の運動を以つて各肥料會社の**濫賣戰**を阻止することは到底不可能であらうと見られてゐる

合成肥料の米國輸出

輸入の立場から逆轉

【大阪七日發本社特電】爲替安を利用して肥料の海外輸出計畫が具體化し最近日本加工業では鈴木商店の手を經てホノルル及びロサンゼルス方面へ合成肥料約五百噸の輸出に成功したが此の方面に對する輸出は今後相當有望視されてゐる、從來米國に輸入の立場にあつた日本から米國に輸出が行はれた事はその數量は少なくとも重視すべき現象であると見られてゐる

鐵關稅引上反對表明

具體案纏らず

【大阪七日發本社特電】鐵鋼懇話會は五日協議會を開き釜石鑛山、日本鋼管、富士製鋼、淺野製鐵、淺野小倉製鋼、戶畑鑄物、住友伸銅、鋼管の九社代表出席鐵鋼兩稅竝びに輸入附加稅問題について意見を交換したが鐵鋼兩稅引上及び附加稅反對の意向を示したが同時に具體案を得るに至らなかつた政府は鐵鋼關稅の改造を斷行する意向であるが製鋼業者としては必ずしもこれに反對でなく唯だその運用如何を懸念してゐる尙鐵鋼共同販賣の基本的鐵鋼比率につき意見交換して散會した

臺北手形交換高

三月は增加

臺北手形交換所の三月中交換高は二萬三千四百十三枚、金額一千二百七十萬九千六百五十一圓にして前月に比し一千二百三枚、九十[illegible]萬一千九百十四圓を增加し前年同月に比すれば枚數に於て一千三十三枚を減じてゐるが金額では[illegible]を增加してゐる之を銀行別にすれば(單位圓)

	借方(交換)	貸方(持出)
臺銀	[illegible]	[illegible]
三四銀	[illegible]	[illegible]
商銀	[illegible]	[illegible]
勸銀	[illegible]	[illegible]
彰化銀	[illegible]	[illegible]
華南銀	[illegible]	[illegible]
臺北計	[illegible]	[illegible]

因に三月中の不渡手形は二枚金額六百圓で前年同月より枚數で一枚を增し金額で三百圓を增してゐる

蘭領印度の輸入附加稅

實施が遲れる

【大阪七日發本社特電】南洋協會入電三日スラバヤ發電によれば蘭領インドの輸入附加稅は四月一日より實施される豫定であつたが同案の本國議會への上程が遲れた爲本月は實施困難となつた、尙本國では布及び兩綿布に限り除外の請願がある

今後の米需給

食延べが多ければ

端境持越八百萬石以上

【大阪七日發本社特電】本年度に於て外米の輸入は既定の事實とされ殊に**海運界**にあつては最少三、四十萬噸の輸送を引當に船腹を經繩してゐるが某所調查では左の數字に基き來る十一月一日の殘存米を六百七十八萬六千石と推定し更に政府持米及び外米除外の民間持米四百二十八萬六千石と過去八年間の同期持米最高五百七十萬石(昨年)最少三百四十萬石(一昨年)の中間に位するもので必ずしも外米輸入を必要としないとしてゐる

今後の供給高　三月一日現在在米四千三百三十四萬石、鮮米移入豫想七百萬石とし二月末までの移入三百三十二萬石を除き今後移入すべきもの三百六十八萬石臺灣米の移入豫想三百二十萬石中二月末までの移入百二十八萬石を除き今後移入すべきもの百九十二萬石、外米(退縮米)の自然輸入月平均八萬石とし今後輸入すべきもの六十四萬石供給合計四千八百五十八萬六千石

今後の消費高　三、四月(此の期間統計不備昨年五、六の二ケ月消費充當)二千百二十萬石、五、六月(昨年同期充當)一千百二十萬石、七、八、九、十月(昨年及び一昨年の同期平均消費高)一千八百六十九萬石に人口增加による消費增加四十萬石、輸移出高三十萬石(推算)、消費合計四千百八十萬石差引十一月一日現在

殘存米豫想　六百七十八萬六千石外に五月以後米價高による食延べ豫想百五十萬石、十一月一日殘存米合計八百二十八萬六千石、中政府所有米四百萬石外米殘存を除き十一月一日現在外米除外の民間持米四百二十萬石の食延べ豫想が全然內地ものとすれば十一月の**民間持**米七百七十八萬石と過去八年間の最少數字と大なり問題は自ら食延べ如何に左右せらる所少なくないがこれは今後の米價如何により豫測は六つかしい

移出糖

船會社別

【高雄電話】船會社側の調查によると三月中の內地移出糖は二百八十八萬七千百二十擔を算し就中高雄港二百三十七萬八千百七十四擔、基隆港三十七萬五千三百三十三擔、花蓮港十一萬二千九百六十三擔で更にこれを船會社別に分てば左の如し

商船	一、一二七、九四四擔
三井	五四九、五八九
郵船	三八九、九〇五
國際	二五〇、四二五
辰馬	五九三、八五六

これにて最初よりの移出累計は九百七十六萬八百二十擔に達してゐる

營口では糖稅倍課を認めず

強制通關をさせる

【大阪七日發本社特電】營口海關監督は左の如く布告した滿洲國の公布により四月一日から砂糖の輸入稅を倍課する旨布告したが右は新政府で認めず從前通り取扱ふ、又若し稅關で新稅を課せんとしたら申出でよと稱してゐる、日本商は四月、五月契約の輸入砂糖はないが稅關で新稅を課する際は強制通關をする模樣である

臺中米價(七日)

蓬萊米八、五〇錢見當　丸糯九、一〇錢見當　在來米一二、〇〇錢見當　一期蓬萊八、二〇錢見當(臺中電話)

魚類卸相場表(七日)

臺北市中央卸賣市場(百斤相場)

魚名	最高	最低	平均
マダヒ	[illegible]	[illegible]	[illegible]
鮪(シビ)	[illegible]	[illegible]	[illegible]
カヂキ	[illegible]	[illegible]	[illegible]
丸サワラ	[illegible]	[illegible]	[illegible]
大フカ	[illegible]	[illegible]	[illegible]
神サワラ	[illegible]	[illegible]	[illegible]

東西南北

▲港灣總督府の[illegible]基隆市[illegible]記念館は始め「海の殿堂」とあつたのを二年後に內港整理の完成するので有識者間に之れが好機に「海の博覽會」をやる「全國港灣大會」もやらうと云ふ計畫が秘められお座成りの落成記念館と說明されたので大分意義が薄らげてしまつた▲しかしあれで市民の期待に港灣及海事知識を注入したことは多大であるがその效果は？[illegible]▲[illegible]

青物卸相場表(六日)

臺北市中央卸賣市場(百斤相場)

[illegible]

商況

米況(七日)

蓬萊米相場

(臺北米穀商同業組合賣渡値段)

[illegible]

正米市場

[illegible]

基隆在庫米(七日現在)

[illegible]

正米市況(後場)

期米正米共に小戾

[illegible]

大阪期米

▲後場

[illegible]

東京期米

[illegible]

神戶期米

[illegible]

堂島兩建拔除俵合　九四、二〇〇石

昨日の市況	
株式	強含
綿絲	保合
期米	手堅
砂糖	小弱

堂島米況後場

【大阪七日發電通】[illegible]

堂島米況前場

【大阪七日發電通】[illegible]

株況

大阪長期

[illegible]

東京短期

[illegible]

東京長期

[illegible]

東京銀行貿株

[illegible]

東京國債

[illegible]

大阪短期

[illegible]

東京株況前場

【東京七日發電通】[illegible]

東京株況後場

【東京七日發電通】[illegible]

銀塊

[illegible]

米日爲替

[illegible]

米英クロス

[illegible]

神戶爲替(月米爲替)

[illegible]

糖況

爪哇

[illegible]

大阪現物

[illegible]

大阪定期

[illegible]

穀肥

シカゴ小麥

[illegible]

大連特產取引所

[illegible]

神戶豆粕

[illegible]

神戶市中相場

[illegible]

絲況

大阪綿絲

[illegible]

大阪棉花

[illegible]

橫濱生絲

[illegible]

◇鼻高[illegible]

東京醫療器械製作所

臨業[illegible]

金五圓を活用せよ

萬金物の卸デパート　大野[illegible]會社

月めく　惱みご喜び

石井とく子　[illegible]

ラヂオ欄

今日の番組 JFAK 四月八日(金)

午前の部

【六・三〇】朝の挨拶、ラヂオ體操(臺北)今日のお天氣のお知らせ(臺北測候所發表)

【八・〇〇】全島氣象通報(東京)

【九・三〇】家庭百科問答(臺北)電氣煖房、電氣モーターのラヂオに對する影響△パントード球及びバリアブルミユウの特長について

【一〇・〇〇】今日の家庭料理獻立(臺北)[illegible]

午後の部

【一二・〇〇】日用品小賣値段(臺北市公設西門市場發表)

【一二・五九】正午の時報(臺北)氣象通報(臺北)臺北測候所發表

【〇・一〇】放送局編輯ニュース(臺北)

【〇・三〇】晝間娯樂時間(臺北)レコード演奏一、關の五本松、二、串本節、同 竹之助、三、安來節 同 [illegible]、四、木曾節 五、伊那節 同 菊之助、六、山中小唄 小千代、七、山中節 佐々木清子、

【五・〇〇】子供の時間(東京)花まつり一、お話「花まつり」西村[illegible]二、[illegible]高等女學校合唱團、ピアノ伴奏 銀竹米子

【五・三〇】九州民族講座(熊本)

【六・〇〇】子供の時間(臺北)レコード演奏 管絃樂組曲「胡桃割人形」(チャイコフスキー作曲)一、小序曲 二、行進曲 三、金米糖の踊 四、トレパーク舞踊 五、アラビアの踊 六、支那の踊 七、ミルリトンの踊 八、花の圓舞曲 フイラデルフイア交響樂團、指揮レオポルド・ストコフスキー

【六・三〇】宗教講演(臺北)「[illegible]の降誕に就いて」 阿部[illegible]

夜間演藝

【七・〇〇】掛合噺(東京)未定

【七・三五】宣傳(東京)未定

【七・五五】琵琶物語(東京)未定

【八・三二】[illegible]より[illegible]放送局

【八・四〇】三曲合奏(臺北)一、軒の雫(宮城道雄作曲)箏鈴木ミサヲ、同宮川惠美子、三絃田中春江、尺八玉置管山 二、春の夜(宮城道雄作曲)箏小林秀子、同宮川惠美子、三絃田中春江、尺八玉置管山

【九・二〇】時報(臺北)△氣象通報(臺北)臺北測候所發表△[illegible]△ニュース△放送局掲示△公示事項△明日のプログラム發表

コドモの時間

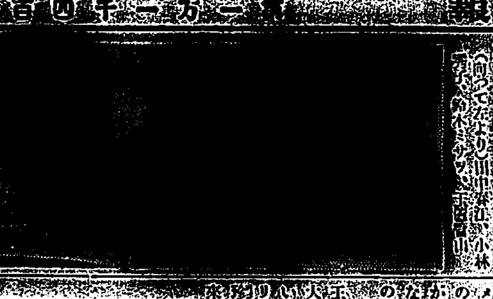
◇管絃樂(レコード演奏)【午後六時より】

フイラデルフイア交響樂團
指揮 レオポルド・ストコフスキー

組曲「胡桃割人形」(チャイコフスキー作曲)

一、小序曲
二、行進曲
三、金米糖の踊り
四、トレパーク舞踊
五、アラビアの踊り
六、支那の踊り
七、ミルリトンの踊り
八、花の圓舞曲

今日の子供の時間はレコードで名曲を放送します。ロシアの有名な作曲家のチャイコフスキーの作中でも傑作であり、廣く知れ渡つた舞踊曲です。演奏は管絃樂團とし



三曲合奏 (向つて右より)川中春江、小林秀子、鈴木ミサヲ、宮川惠美子、玉置管山

て今一番有名な米國のフイラデルフイア管絃樂團で、ストコフスキーといふ人は矢張り米國で一番の指揮者です この「胡桃割人形」といふ曲は今から四十年程前に作られたもので、ホフマンといふ人のお伽話からとつたものです クリスマスの晩に貰つた贈物の胡桃割人形を兄さんにこわされたメリーさんが、その晩可哀想なその人形の事を想つて寢床に入りますが、眠られないので、クリスマス・ツリーの蝋燭は消えてはゐるか、そつと起き上つて見に行きますと、まあ不思議、二十日鼠が[illegible]山出て來ます、クリスマス・ツリーの火もぱつとつきました、玩具やお菓子が蘇生つて來ます、そして怪我をした胡桃割人形も起き上つて來て、二十日鼠の兵隊と玩具の兵隊との戰爭が始まります。お菓子の兵隊を負かしましたが、胡桃割人形は鼠の王様と一騎打ちになり負けさうになりましたので、メリーさんが靴を投げつけて、鼠の王は死んでしまひ、大勝利。胡桃割人形は立派な王子となつて、お禮にメリーさんをお菓子の國へ案内します。[illegible]その胡桃割人形は[illegible]王子です。王の金米糖の精が皆の者を集めて大歡迎の饗宴です。そこでいろいろな踊りが始まるのです。ミルリトンの踊りといふのは蘆笛の踊りで[illegible]樂器です。一本の管で出來てゐます

今晩演奏されるのは此のお話の中のいろいろな踊りの曲と、小序曲、それと可愛らしい行進曲ですが、一番長いのは終りの花の圓舞曲ですが、あとはみな短かいものばかりです、トレパークの踊りといふのは露西亞獨特の踊りです みなさんがかう云ふ本當に良い音樂がお好きになつてくだされば放送局では時々世界の名曲をみなさんにお聽かせしたいと云つて居られます

三曲合奏 [illegible]

晝間娯樂時間

（レコード演奏）【午後零時三十分】

▽俚謠

今日のお謠は最もよく知られた各地の俚謠です

一、關の五本松

〽アー關の五本松ドッコイショ
一本切りや四本
あとは切られぬ女夫松よ
ショコ〱一力やの
ほんまつほい

〽アーお酒呑む人ドッコイショ
花ならつぼみ
今日も酒々明日も酒よ
（以下略）

二、串本節

〽ここは串本向ひは大島
中をとりもつ巡航船

〽沙の岬にどんと打つ浪は
可愛い男の度胸だめし
（以下略）

三、安來節

（[illegible]）

〽おれ見やしやんせよ
つかひの[illegible]
春雨、花に戯れしほらしさ
小鳥でさへも一筋に
ねぐら定めてゐるわいな
主と私は西東
（以下略）

四、木曾節

〽木曾のナーなかのりさん
木曾の御嶽さんはナンジヤラホイ
夏でもお寒い

〽袷せナーなかのりさん
袷せやりたやナンジヤラホイ
足袋そへて
（以下略）

五、伊那節

〽アー天龍下れば飛沫がかかる
持たせやりたや檜笠
アーヨサコイアバヨ

〽アー[illegible]が手菜に[illegible]けられて
いつか[illegible]
（以下略）

三曲合奏 宮川惠美子

七、山中節

チヨイチヨイ〱

〽アー山が高うて山中見えぬ
山中戀しや山にくや
チョイチョイ〱
（以下略）

内地中繼の演藝

【午後七時】

今日午後七時よりの内地中繼は明治座よりの中繼で、新派合同劇の[illegible]を村[illegible]、河合武雄一派の旅[illegible]公演の筈であつたが、都合によつて、これが突如十二日に延期されたため、急にプログラムに變更を來たし、七時より掛合噺、七時三十五分より宣傳、七時五十五分より琵琶物語となつたが、まだ曲目及び出演者も未定のため、詳細をお知らせし得ぬことを遺憾に思ひます

三曲合奏

【午後八時四十分】

軒の雫（宮城道雄作曲） 春の夜（宮城道雄作曲）

箏 鈴木ミサヲ
箏 宮川惠美子
三絃 田中春江
尺八 玉置管山

今日の晩の演奏は田中春江さん社中の方々の出演である。

二曲とも新日本音樂で有名な宮城道雄氏の作曲で、田中社中の腕達者連の呼吸の合つた合奏です。

▲軒の雫

（歌詞）

つくづくと春のながめのさびしきは
しのぶにつとふ軒のたまみづ
しのぶにつとふ軒のたまみづ

▲春の夜

（歌詞）

あるじはたそや、しらうめの、香りにむせぶ、春の夜は、朧の月をたよりにてしのび聞きけん琴の音か
そのわくらはの手すさびにそぞろに醉へる人心
かすかにもれしともし火に
花のすがたは照り影を
しかとたどりはてじ花の枝
なれしやどりの鳥なかん
おぼろの月のうらみより
その夜くだかぬ春の雨
ことはむなしく音たへて
いまはたしのぶかれひとり
あはその夜半の梅が香を
あはその夜半の月影を

料理獻立

【午前十時】

▲魚肉の南蠻燒

材料 鯛又は鮪 葱 唐芥子 バタ 醤油
分量は總てお見計ひに願ひます

▲鹽鮭の獅子漬

材料（八人前）鮭、五切位 [illegible]、少々 酒、一合 胡麻油、[illegible] 味醂 [illegible]

今日の家庭百科問答

【午前九時三十分】

▽電氣煖房、電氣モーターのラヂオに對する影響

▽パントード及びバリアブルミユウの特長に就いて

今日の家庭百科問答はラヂオファンの爲めに關係した形で、ラヂオ[illegible]の佐々木諦氏の解答を御紹介申し上げます

藝術と生活

青木信一

藝術味なき人生は無味乾燥なものはない、吾々の實生活に、藝人生の上によき伴侶となり

よき慰安者 となる

ものは藝術——凡ゆる文藝である「詩を作るより田を作れ」と云ふ極端論はこの場合何等文藝を否定する論據とはなり得ない。吾々が文藝に交渉をもつ原因について考察してみると、吾々の生理狀態が齎す年齡的な特殊なる或る時代に於て、その性別を問はず、一様に感傷的、夢幻的、或は浪漫的な傾向になる。しばしば[illegible]現はれ[illegible]たる叙情感にうたれ、非常に煩悶する時代を經過するものであるが、この時代にその各々の理想や思想、生活等を根據として或は宗教に或は藝術に、心身を托して慰めを求め、その生命的な躍動させやうとする。これは理智的な人間に喜ばしいことである。而も思想、スポーツ等に、走る場合は有の如き傾向にはなり得ないと云ふかも知れぬが、最も親しく接觸される文學——小説等はスポーツ、思想等よりは遙に大衆の讀者を引きつける力があるのである。だが、こゝに云ふことは、今日吾々の社會を風靡してゐる資本主義出版商が發賣するにより適切に云へば、この近代資本主義運動の波遂に吾々が華やかなそして贅澤に

低廉な生活 を營む

上に於ては如何にも便利であるが、しかし、それは必然的に凡ゆる一切の社會機構を大同的なそして畫一的な機械文明の社會に變革せしめてしまふのであつて、從つて吾吾の生活も亦極めて畫一した規則めいたものになつて來るのであり、そこにはかつての小手工業的な小生活社會に在つて生活してゐた如き悠久なそして生命的な生活は出來なくなつて來るのである、この意味から吾々の生活が改革されると同時に、藝術様式のすべてに變化が生じた。即ち過去に於て最も容認され、流行してゐた所の個人的藝術様式は次第に、群衆藝術様式へと移つた。この推移は社會生活様式の變遷に伴ふ必然性であつて換言すれば過去に於いて獨り讀んで樂しまれた小説文學の形態は次第に忘れ排されてしまひ、その反面映畫とか「戲曲」などがこれに代つて發達するのである。否現に發達しつつあるのである。無論この群衆藝術も吾々の生活を潤澤にし、過去の藝術が吾々に與へてくれた生命感の沈入や慰撫を豐かにしてくれることには決して遜色がなく、否これらを陸愛し樂しむ爲の

時間や勞力 は非常

に制限されてゐる、ところが今度はさう云つた群衆が一時に樂める藝術ではなくて吾々の中の思索力の深い理智的な人々に取つては和歌、俳句、詩だとか云つたやうな特有の詩文學が喜び親ばれるのである、先づ第一に自分らの生活を最もよく知り、自らの思索を深めて[illegible]を簡潔にして、そこから[illegible]した生活を[illegible]する人々に取つては、此れらの詩形は最も密接した適しいものであり、彼らの生命律や、生活をよく統制し、且つ又眞の意味での新興インテリゲンチャに取つては頗る良き伴侶が[illegible]まれてゐる。[illegible]は別としてそれらの詩人生をより意義あらしめ、より高く深い有用のものとして自らを生命させ、生活させるには、何よりも先づ彼自らが彼自身の生活に立脚して立派な藝術家であり詩人でなければならないのである。さて和歌、俳句、詩と云ふ三つの詩形の裡で、和歌と俳句とは厳然として

律調の約束 があり

形も忌憚なく云へばこの律調の約束は現代生活を厭ひ逃避するに換言すれば生きた生活を捉へることに既に致命的な缺陷を持つてゐるのである。これに比較して現代の自由詩は最も自由な、生々した些かの拘束もない藝術様式であると思ふ。何よりも實生活に對して自らが自己發見の詩人であることであり、又この意味にて文學は吾々に[illegible]眞に[illegible]な伴侶であり、作[illegible]であるのである、そして何時如何なる場合と雖も吾々は自らの生活の上に、詩をそして凡ゆる一切の藝術を嚴肅なる意識の許に探[illegible]しなければならない（完）

臺日俳壇

村上鬼城選

[illegible]な[illegible]畑の落ち日かな 臺中 [illegible]城
春寒や火鉢さげて[illegible]
[illegible]の香をる並木や朧月 臺北 村西 木寛
[illegible]竈の下に芽をふくトマト哉 宜蘭 [illegible]
うすぼこりかづきてぬくき[illegible] 宜蘭 [illegible]
てんと蟲とまりて百合の白さかな 桃園 [illegible] 二渓
花の[illegible]かかりて[illegible]る[illegible]社かな
[illegible]屋に猫の子やせて育ちけり
[illegible]や家鴨を追ひて[illegible] 羅東 [illegible] 山月

臺所ノート

布巾はきれいですか？

春は追々暖かさにつれて各種のバイキンが繁殖する時でありまして殊に臺所等のやうに食事を取扱ふ所はバイキンのすみ家となり易いのですから、凡てに清潔を守らねばならないのでありますが、第一に布巾ですが皆様のお家の臺所にある布巾はきれいでせうか？布巾の清潔なことは何よりも大切でありまして食器をふくものが汚れてゐたら、それこそバイキンの媒介をするやうなものですから時々熱湯で洗つてよく乾かしておくことと古いのは新しいのと取換へることをお忘れにならぬやうに願ひます

古いお臺所ボウキ

つかひ古してあたまがすつかりすりきれてしまつたお座敷ボウキを、みなさんはどうしてゐらしやいますか？これはそのまま[illegible]お臺所の[illegible]タキをあらふときにつかふと結構です

酢や醤油の長もち

酢をお求めの時ビンの中へ鹽を一つまみ入れておきますと長く酢が腐りません 醤油にはマスタードオイル（カラシ油）を一てきおとしておくと長もちします

黒豆のおいしい煮方

黒豆の上等をもとめあらつてよく水を切りフライパンでこがさぬやうにいりつけます、やはらかくなつた時に味をつけます。かうするとざうさなくにえてかうばしくおいしくいただけます

ゴミ箱の掃除

春の暖かな日にゴミ箱を掃除して乾かすことも流行病豫防の一つで忘れてはなりません

東亞の謎

(235) 作者 國枝史郎
畫家 伊藤順三

四組の自動車隊（五）

松下伯も武村も認めた。

（どうして彼奴がこんな所にゐるのか？）

伯はすくなからず驚いた。

しかし聰明な伯であつた。彼が自分達の後をつけて、此處まで來たのだらうと直感した。

[illegible]が伯の胸に湧いた。

（いつそ、我々につきまとうのだ！）

（よし！）と伯は決心した。（捕へて[illegible]る處分をしてやらう！）

伯は武村の方へ突き進んだ。

その伯は祭を見やうとして、[illegible]や小夜子を旅館に殘し、一人で出かけて來たのであつた。

伯は群衆を掻き分けて、武村の方へノシ〱と進んだ。

「あそこに居ります、也速該逹と一緒に！……さうです也速該や巴林と一緒に！……也速該と巴林とが近寄つて來ます。伯をやつつける目的からでせう。……それ此處へやつて來ました！……さうして洋子さんはあそこに居ります！」

指さす方を伯は見た。群衆に混つて洋子の姿が見えた

「おお洋子だ！洋子だ〱！」

同じ伯の眼にその方角から、也速該と巴林とが群衆を分けて、此方へ歩いて來るのが見えた。

「おお彼奴等！也速該と巴林！」

「武村君、一體どうしたんだ！」

しかし伯がさう叫んだ時には、武村の姿は見えなかつた。素早く逃げてしまつたらしい。

也速該と巴林とは群衆を分けて進んだ。ちつと武村へ眼を付けながら。

その武村が一方へ進み、一人の紳士と立話をした。

その紳士は松下伯であつた。

也速該と巴林とは足を止めて了つた。

「伯が！おお、松下伯が！」

（では）と二人は二人ながら思つた。

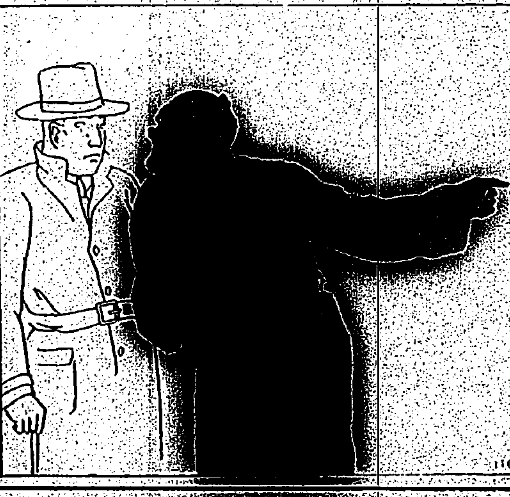
（武村一人が居るばかりで無く、松下伯も此處にゐたのか？あの豪快な松下伯が！洋子の實兄の松下伯が！）

二人は自分達の危險を感じた。

洋子の方を振り返つて見た。

洋子は一方を見詰めてゐた。

その洋子の眼に映たのは、[illegible]と[illegible]との姿であつた。



武村は進退谷まつた。

が、彼は狡猾であつた。咄嗟の間に策を立てた。

彼は群衆を押し分け押し分け、伯の方へ進んで來た。

（どうせ伯達と自分達とは、顔を合はせることにならう。同じ目的地へ行くのであるから。今逢つた方が却つていい。……さうして……）

と彼は考へたのであつた。

（これが俺を生かす道だ！）

群衆の渦の中で二人は逢つた。

「伯！」

「武村！」

「お久しぶりです！」

「貴様は……」

「しばらく！さうです暫らくお待ちを！……一切を率直に申しませう。……私は……私と[illegible]とは伯の後をたしかにつけて來ました大連から[illegible]から此上地まで！……さうして[illegible]……目的に……勿論あの[illegible]……」

「[illegible]伯と同じです！……」

「それはさうと伯、……[illegible]さんが……」

「……」

「ナニ、……[illegible]」

嵩なかだち
求職一件一回 金[illegible]拾錢
其他一回 金[illegible]拾錢
[illegible]名 [illegible]

恩給 [illegible] 電話 [illegible]

外交員 [illegible]

本年は大英斷を以て定價金四拾五錢を定價金參拾錢として金拾五錢値下げしましたから賣切れぬ内に御買ひ求め下さい

愛兒の爲めに尋常小學校五年生六年生高等一二年生父兄（及び生徒）諸君にお知らせ致します廣島高等師範學校の先生方が熱心に研究せられて生れた他にルイのナイ學習書であるホントウに研究しホントウに力を伸したい方は直ぐ試して御覽すぐ優等の成績を得られます

菊地勝之助著 小學國史附圖 定價各卅五錢

廣島高等師範學校前訓導 菊地勝之助著 學習地理新研究 定價[illegible]

廣島高等師範學校前訓導 菊地勝之助著 學習國史新研究 定價各三十錢

廣島高等師範學校前訓導 野澤正浩 北川若松 共著 學習[illegible] 定價各三十錢

廣島高等師範學校前訓導 中野[illegible]一 監修 學習理科[illegible] 定價各三十錢

廣島高等師範學校前訓導 野澤正浩著 學習[illegible] 定價各三十錢

學習國語 受驗[illegible]

發行元 大阪市南區安堂寺橋通三 振替口座大阪一四六一番 立川書店
發賣所 臺灣各書店

結核性解熱劑 ミルボン
品徴様 御注文 [illegible]

月經催進劑 アゴメンシン （チバ）
月經不順・無月經・月經困難 生殖器發育不全・生殖機能[illegible] 障害等の合理的治療[illegible]
一副作用なき注射及内服劑一

學良の卑劣な使嗾で大刀會紅槍會が蜂起

匪賊今後の行動重視さる

【奉天七日發電通特電】間島、吉林東北方の大刀會及び紅槍會の蜂起は學良の使嗾に依るもので學良は普通の手段をもつてしては回復不可能なるを思ひ卑劣にも之等宗教團體を買收して滿洲國を攪亂せんとしたものである、尚學良は河南省の青年紅槍會員を滿洲國に潜入せしめて居り匪賊今後の行動重視さる

滿洲國政府が自治の促進を圖る

特別調査委員三十七名を任命して

【新京七日發電通】滿洲國政府は地方の政治治安情況を調査し地方自治の促進を圖るため三十七名の特別調査委員を任命し之を吉林、チチハル、ハルビン、洮南の四班に分ち派遣することになつた右調査委員は差當り一月の豫定で吉長鐵道沿線十縣内の調査を行ひ各縣には參事官を常駐し調査の徹底を期する

間島派遣軍戰端を開く

王德軍との間に

【間島七日發聯合】間島派遣軍と王德林叛亂軍との戰端は遂に開かれた六日午前零時半我が騎兵隊は[illegible]對岸で敵軍約百五十と衝突又我が西村支隊は同日午後四時[illegible]家溝で數百の敵と衝突、激戰の結果敵は死體四十、負傷者五十を遺棄して潰走した、我軍死傷なく士氣大いに振ひ王德林本隊に向つて進撃中

天野、長谷部兩團引揚中

【ハルビン七日發電通】方正の匪賊討伐を終へた天野長谷部の兩○團は目下ハルビンの東方百四十一キロの[illegible]門[illegible]地點に引揚中である、斯くて同地に集結後兩三日形勢を見てハルビンに引揚ることゝなつた

王軍討伐の戰況

【局子街七日發電通】百草溝に出動した日本軍は六日午後三時より王德林軍討伐を開始したが今朝九時までの戰況左の如くである

一、大官子で騎兵隊は匪賊百五十名と衝突、賊は死者四十、負傷五十を出し死傷者を遺棄して逃走した我軍損傷なし

一、西村少佐の部隊は八[illegible]子に在り匪賊五百を攻撃目下追撃中

一、騎兵主力部隊は小城子において匪賊一千と衝突激戰中

支那兵が兵變

鮮人部落を掠奪

【局子街七日發電通】六日[illegible]及び會寧對岸の支那兵保衞團員等八百餘名は兵變を起し附近の鮮人部落を掠奪し三十餘名を[illegible]に陥らしめ逃走した

方正の敗兵富錦に潰走

【ハルビン七日發電通】方正方面の敗殘兵は列を作つて松花江下流の富錦方面に潰走し一方我依蘭の李杜軍も方正[illegible]落と[illegible]を[illegible]し頑強に抵抗してゐたが恐れて東北方に退却した

匪賊の總數約十萬

その分布細別

【奉天七日發電通】匪賊は我軍の連日連夜の討伐と食糧缺乏のため漸次減少しその數約十萬、事件後に比し約半減した、その匪賊の分布細別左の如し

一、學良系（義勇軍）三萬四千

一、大刀會系（紅槍會系）三千

一、反吉林系（王德林その他）一萬二千

一、熱河系馬賊三千

一、反[illegible]系二千

一、鮮匪八百

一、純馬賊約四萬

一、脫走兵二千

一、小白龍系匪五千

一、西山東軍系二千

一、その他二千

王德林軍に損害を與ふ

朝鮮軍司令部發表

【京城七日發電通】朝鮮軍司令部發表、間島派遣部隊主力は六日百草溝附近に到着し續いて同地方に[illegible]ある王德林軍に對し目下討伐行動中であり、敵に相當の損害を與へた我軍目下一名の死傷もない

微笑を浮べた阿部軍司令官

阿部臺灣軍司令官

見參記（二）

よく話すが皮肉でもある將軍

ファッショ問題で質せば『軍部は迷惑』とただ一語

さてお次ぎの番は臺灣軍司令官阿部信行閣下である、雅號「[illegible]」、[illegible]の「世界人名辭典」「あ」の部をみると軍人。臺灣軍司令官、陸軍中將明治八年石川縣に生る（中略）陸軍部内の[illegible]家として知られ、物腰柔らか「お[illegible]見にきたんですか」

な軍人とある

—◇—

ワタシはまづ、これだけの豫備知識をもつて軍司令部に阿部さんを訪問したのである。副官殿に名刺を通じると

「[illegible]」「お會ひになるさうです」

ワタシは[illegible]部屋へついたのであつた。「ホウ！」副官殿、目をパチクリ「ちやアちよつと待つてくれ」と、[illegible]——ワタシはホット安堵の吐息をついたのであつた。

[illegible]

といふ。

「會はないです」

「よく話すぜ——前の軍司令官（菱刈さん）と違つて」

と敎へてくれた。

物腰柔かなる軍人。ワタシが阿部さんに會ふまでの阿部さんに關する一切の知識は、ただそれだけであつた。

—◇—

そしてぶつかつたが——反應がない。初對面のアイサツはしたが、むつつりと——まるで壁に向つたやうな感じである。瞬間ワタシは、さつき副官殿にいつた言葉（お臨拜見）を思出すとともにハタと、阿部將軍無言の行の肚が讀めたのであつた。

「[illegible]だか——」

阿部さんは、[illegible]

[illegible]

と、すると、阿部さんはなんと

シンラツな、頭腦のいい皮肉屋ではないか！

物腰柔かな——ナンて、どう仕りまして、である。既然、ワタシは初對面にてまづ兜を脱いだ。

—◇—

そこでキシヤは無論皮肉のつもりで

「ワタシ、偉い人に會ふのがニガテで」

と言てキシヤが[illegible]竹治さんを私邸に訪問したとき、應接間で三べんおじぎをした話しをすると、鏡のやうな無表情な、むつつりした阿部さんの顏に、わづかに微笑の影がさした。反應があつたのだ！ヨシ！ここぞと、キシヤ必死である。

「で御伺ひしますが」

まづ第一矢に「軍人と政治」を持出すと

[illegible]

に反感してきたのは、多くは後者の、無闇とガナリ立てる輿論であつた。が軍部はそれらに一顧も與へない。軍部はガッチリと沈默のうちに國民の間に動いてゐる眞の輿論と腕を組んでゐる。

ガッチリと——阿部さんはキシヤの第一矢をうけとめた。まるで石に釘をたてるやうなものだ。で、こん度は滿洲問題を搬ぎ出してみる。

「滿洲の解決について國民が過大な期待を軍部にかけてゐるといふのか——が軍部は滿洲問題さへ解決すれば、この不景氣が一ペンに吹き飛ばされるなんていつちやゐない。それは國民の滿洲問題に對する認識不足といふものだ。が、軍部はこれだけのことは言へる、斷じてマイナスの效果は出さないと——」

[illegible]

てみたんぢやキシヤ新聞の意義を失つてしまふ。ナニか、シツポはないかと物色し、軍部とファッショ問題を提出した。之は大臣の從來さんが、去んぬる議會の松村議員の質問に對し、色をなして[illegible]上から叱咤したほどの陸軍從來のイタゴトだから、阿部さんどんな顏をするか。

「日本の現狀に關し、國民の間に軍部に對し何等かの政治的解決を要望してゐるといふのは、軍部が決して疑を言はないからだ即ち國民が軍部を信頼してゐるからだと思ふ」

—◇—

阿部さんは、巧に話題をそらさうとする。エスかノオか、既然はっきりしないのである。でキシヤここぞと一本！

「それに對する軍部の所信に」

「うーむ！」

ここに於て、阿部さんの眼光キラリと光つたのである。

沈默に陷つたのである。これは私の豫想しないことであつた。

これが相撲ならば、勝ちは完全にワタシのものだ。

が、ワタシは阿部さんの、ワタシのやうな小僧ッ子相手に、四ッに組んだ武骨さに、思はず頭が下つた。

「阿部さんもやはり軍人だ！」

—◇—

間もなくワタシは軍司令部にサヨナラをした。ふりかへると赤い煉瓦の二階に阿部さんの部屋の窓がみえる。

瞬間ワタシのマブタに熱いものを感じた。おゝ煉瓦の照り返しのためでない。あの窓の中に、一人の愛へる將軍を想つたのである。

（渡邊園弘）

總督は今日東部へ向ふ

午前八時四十六分臺北驛發列車にて

中川總督は八日午前八時四十六分臺北驛發下り列車にて全島視察の途に上るが、隨行者は友部警務局長、能澤文書課長、小山鐵道部技師、下條[illegible]局技師、吉田技手、片岡屬等であり、尚十三日高雄から能澤秘書官は池田秘書官と代る筈

川村直岡氏は近く退官か

先の總督府秘書官にて文書課長であつた川村直岡氏は太田總督下における所謂木下人事の犧牲に參じて以來その衝に當つた關係上この度は總督更迭と同時に退官するものとも噂されてゐたが、先般文書課長の更迭に當つては殖産局に入り山林課長兼營林課長に轉じた[illegible]のものであつたらしく近く今井[illegible]

掩護物の爆破演習

けふ練兵場で

歩兵第一聯隊では八日午前八時より練兵場に於て鐵條網其他掩護物などに對する爆破演習を行ふ筈である

中川内務部長等と共に退官するの餘儀なきに至つた模樣である

出征中の家族の申出希望

今回の日支事變で臺北市内から出征中のものは十四名に上り、其の家族に對しては全部町委員其他から慰問をなしてゐるが臺北市役所の調査漏れとなつてゐるやも知れぬから出征中の家族はこの際臺北市役所兵事係に申出て欲しいと係員は語つてゐる

支那人は變裝して診療を受けに來る

博愛會病院を閉鎖するなど思ひもよらぬ—森田課長談

東より歸府した 同氏を總督府衞生課に訪へば 廣東、福州、香港、厦門、汕頭各地を視察したが、福州、厦門はきはめて平靜で何等危險を感じない、汕頭が一番排氣が強い[illegible]

七日有[illegible]の博愛會病院[illegible]を終り森田衞生課長が福州[illegible]

滿洲、上海問題等うちつづく[illegible]排日[illegible]のため、對岸方面における排日運動も容易に緩和されず、廣東、汕頭の博愛會病院の如き支那人患者皆無の状態で、一日の收入も三、四十弗にすぎず、一部悲觀論者の間では早くも廣東博愛會病院閉鎖さへ噂されるに至つたが、博愛會病院も福州、厦門ではい日に百三、四十名の病人を受けてゐる[illegible]

閉鎖さ

るなどは以つての外だ、現在廣東の如き排日熱の猛烈なところでも、支那人上流階級のものは、變裝して博愛會病院に診療をもとめに來るくらゐで、今回の排日騷ぎによつて、博愛會病院の權威は一層高められた觀がある、これを一種の總督府の對支文化事業と觀ても當に當たる施設であり、現に日支融和のくさびとなつてゐることを考慮しなければならぬ、又私が在留邦人の立場からみても衞生設備、醫療機關の殆んど無に近い對岸方面に於て

活動す

る在留邦人にとつては是非ともなければならぬ機關である、かかる重大な意味を有つ博愛會病院を僅か半年くらゐの排日騷ぎに輕易し閉鎖する等毛頭考へられない、寧ろ總督府としては積極的に從來の病院の收支バランスによつて、お座なりの補助金を與へる等の受動的態度を捨て、十年なり十五年なりの長期計畫の下に各地博愛病院が獨立し得るやうな方法を講ずるべきであらうと思ふ

實母を恐喝する無頼漢を逮捕

臺灣刀を懷中して大稻埕を徘徊中

六日午後十時頃臺北署保安係員が市内を巡行中太平町三丁目街路で挙動不審の一本島人を發見誰何すると突然に逃走を企てたので逮捕して見ると懷中に鋭利な臺灣刀を呑んでゐたので直ちに北署へ留置し取調べた結果右は市内蓬萊町一六番地林紫[illegible]と云ひ北署管内切つての無頼漢、親不孝者として附近の住民より嫌はれてゐたもので昭和四年四月頃にその實兄に瀕死の重傷を負はせた罪で懲役二ケ年半に處せられ昨年十月頃刑務所を出たが少しも改悛する風なく常に親兄弟をおどかしては金錢を無心して酒色に費消し數日前又もや實母に金錢の無心を拒絶したからと云つて母を擲り倒し寢臺の刀を突きつけて「やかましい事を云ふたら母でも容赦はせぬぞ！」とおどかしつけたまゝ家出してこれ迄行方を晦し折あらば母に危害を加へやうとしてゐる事が判明したので七日午前北署係官の取調べに對しその母が「あんな親不孝者はどうぞ監獄にやつて下さい」と涙と共に嘆願してゐる有樣であつた

憲兵隊の手で靴專門の泥棒捕はる

モヒ中毒の豆腐賣り

昨年の暮頃からコソ泥に住宅に頭を配つてゐた臺北憲兵隊では五月午後七時ごろ市内旭町の[illegible]官舍附近にて靴を擔つて逃げる怪しげな本島人の豆腐賣を逮捕した

嚴重に

取調べたところ市内[illegible]の豆腐賣子は[illegible]（二六）[illegible]分海（二六）[illegible]

人は昨年五月頃より市内各所の官舍を荒しまはし靴專門のコソ泥で家人の油斷を見て靴を盗むのであるが、主婦などには良くあらかじ事で、豆腐を買つて臺所に行く間に又は「お豆腐は？」「いらない」と臺所から聞えたと思ふ迄隙に人氣のないのを見すまして一足、三足すぐに持つて行く其の盗んだ靴は仲買人の本島人に二十錢から三十錢位で片附けると云

つた始末、彼は昨年八、九月頃からモヒ

中毒に

かかり毎日一本づつ可成大量のモルヒネを注射してゐたがその金にも窮し靴を盗つてモルヒネを求めて居たものらしい、餘罪ある見込で[illegible]課で取調中であるが被害者は遠慮なく屆けて欲しいと（寫眞は犯人陳分海）

北門町のボヤ

七日午前十一時頃臺北市北門町二の四山[illegible]自轉車店裏手の倉庫に火を發し、自動車ポンプも馳せつけるなど一時は非常な混亂であつたが、幸ひ倉庫中の麻袋や棚類をくすべただけで消し止める事が出來た、而しながら倉庫にはアヒル油、セメント、麻袋が雜然と積重ねられて居り、若し油にでも引火すれば大事にも及ぶ所だつた、原因目下取調べ中

教材用映畫撮影に内地へ

一ケ月半の豫定で

臺灣教育會ではさきに本島小公學校教科書中の内地教材を活動寫眞にをさめ既に第一回分は本年度試寫を行ひ好成績を擧げたので、今度はさらに第二回撮影を行ふことになり四月五日出帆吉野丸で右撮影の爲め武井、相原兩氏は内地に向つた、撮影豫定地は大宰府、三池炭礦、久留米、宮島、吉野山、大阪、奈良、法隆寺、東京、横濱、伊勢神宮、富士山、東京新宿御苑から宮城までの各名勝舊蹟等で約一ケ月半の日程である

本格的なスキー映畫撮影

鐵道省が立山連峰で

【東京七日發電通】鐵道省では今度松竹キネマ及び富山縣の協力して日本アルプス系の本格的スキー映畫を撮影することとなつた、舞臺は國際スキー場として最も有力な候補地立山連峰、監督には鐵道省の人が當り伊藤、生田、相川、伊藤の諸君出演、スキーヤーは川上オリンピック選手、淺見、安達、關川、井崎の諸君小倉三吉君に女流選手四名と淺間のクライミングの名手[illegible]君ら十日間室堂小屋に籠つて本格的スキー映畫を作ることとなつた

在鄕軍人後援會設立の初會合

現下の時局に鑑み臺灣全島的の在鄕軍人後援會を設立することとなつて八日午後一時から[illegible]倶樂部で初會合をなすこととなつたが當日は官民各方面有志[illegible]

臺灣禁酒會の理事長人選難

會員は吉田氏の再起を希望

臺灣禁酒會理事長[illegible]氏は[illegible]一日の總會で[illegible]を[illegible]ので今後の[illegible]に關して行きなやむ[illegible]理事長[illegible]

栗田司令轉任

【馬公特電七日發】[illegible]二十五日栗田司令官は四月一日附で[illegible]賀鎭守府付となりその後任には金子中佐、栗田司令官は十一日發赴任の豫定

立教野球團渡米

【東京七日發電通】立教野球團は十七日午後零時十五分東京驛發同午後三時橫濱發の秩父丸で渡米遠征の途に上つた

バス從業員慰安の琵琶演奏會

臺北市自動車課では從業員慰安のため七日午後零時半から一時半まで四時半まで同三時半から四時半まで二回「中村大尉」「古賀聯隊長」の琵琶演奏會を催したが更に八日も同時間同様の演奏がある筈

花嫁同伴でブラジルへ移民

新卒業生の一行が

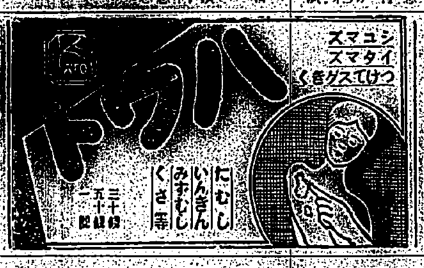
【東京七日發本社特電】國士舘高等拓殖學校は昨年四月第一回生五十名をブラジル國アマゾナス州に送り大にパイオニアとしての名聲を揚げてゐるが、今年度の畢業生六十名のパイオニア及び家族を合した八十名を更に同地方面に送ることとなり同校太田教授

引率の

下に來る十六日午前十時アマゾナス州パリレチヤのアマゾナス農業研究所の總務所に向け横濱解纜のリオデジヤネイロ丸にて特派することとなつた、尚注目すべきは是等若きパイオニアの内半數が若い夫婦者の二十歳前後の妙齢の配偶者を得て同道することで、從來は海外移民に就いては左程女性の注意を喚起されなかつたが、今回の拓殖學校の海外移民に就いて新

新婚者

を同伴することは今後若き女性の海外移民に就いて注意を惹めるものと見られてゐる、尚今回の移民に就いてはデーゼルエンジン及び發動機、精米機、製材機、氣象觀測器などを携帶して行くが、殊に氣象觀測器の如きは



ハクト　ズマユシ　ズマタイ　くきグスてけつ　たむし　いんきん　みずむし　くさ等　三十錢　五十錢　一圓

臺灣[illegible]新[illegible]　松竹[illegible]作　主演林長二郎[illegible]　鐵路の人生　風雲青葉城

特別廣告　御期待の大名篇　[illegible]　巴里っ子　愈明九日より上映　新世界館

臺北園藝會員　於各自園　植木盆栽類土拂デー　大盛況御禮　平素の三割安　晚咲ばら見頃（愈々四月十日迄）　西里月花園　加藤花園　臺北種苗園　清永千齋　春花園　清花藤園

漢文臺灣日日新報

停戰會議本會議
滿洲問題意見仍難一致
決裂之危險依然尚存

七日上海電。停戰會議本會議。七日午前十時開于英國總領事館。就其最難關之我軍最終撤兵期問題。本于日華兩國政府之回訓。開始討議。而對同問題。我態度依然強硬。中國一邊。關停戰實施後開圓卓會議。于停戰協定中。有明瞭承諾規定時。則我一邊。俟上海及上海周圍秩序回復。聲明自發的撤退。而其末文。不妨略示其時期。當出此互讓的態度。然就圓卓會議。中國主張滿洲上海兩事件不可分。而日本主張以滿洲既宣告獨立。故議題只限于上海事件。七日會議。雖非[illegible]至此點。而日華之意見一致云。仍難接近。決裂之危險。依然尚存也。

樞府定員增二名
政府已明示應諾實現

七日東京電。關樞密顧問官定員增加二名。乃樞府之夙望。先年田中政友內閣時。于商工。拓務兩省設置案提案之際。以爲交換條件。有見機增員之言質。故樞府一邊。對此得絕對多數之現內閣。再有議論從速履行約束。對政府進言。政府亦明示應諾。故樞府定員增加二名。行見實現。

英財政家招待席上
松平大使演說

六日倫敦電。六日倫敦財務官主催英國金融業者財政家招待非公式晚餐會。席上松平大使。關日華問題。演說約三十分。日本於中國。非有何等領土的野心。門戶解放之原則。務以尊重。上海事件所關。日本於上海利益擁護。純然爲經濟的。不有何等政治的意思。故日本對于將開圓卓會議。爲平和及秩序確立。最良希望和出最善方法。

對特定擔保以外
日銀非常貸出

七日東京電。日銀從來對特定擔保以外。不爲貸出。最近鑑于地方金融情況。與大藏當局。意見交換結果。對正規擔保以外。並實非常貸出。積極的努力于地方金融界之安定。爲是政府及與黨方面所希望之通貨膨脹策實現。亦有相當效果。

威海衛學生
排日熾烈

七日東京電。在青島海軍武官發。海軍省接電。威海衛。英有學生日貨排斥運動。去二日同地海上航行中我第二十一共同丸附近。有落下砲彈事件。因鑑于對日問題之糾發。在青島東北海軍司令沈鴻烈。爲謀此後取締。六日午後乘永翔赴威海衛調查實情。

決裂與否
難爲逆料
重光公使談

七日上海電。停戰會議開會前。重光公使語左。本日會議。協議事項重大且複雜。殊不能簡短以了之。其至決裂與否。全不能豫知。

何軍政部長
報告軍情

六日南京電。軍政部長何應欽。因蔣介石招電。六日由洛陽歸京。報告陝西河南兩省狀態。同時一案公政府命令。任命賀耀組爲參謀次長。

中國對上海戰後
組織商工業共濟會
企圖積極的復舊

七日上海電。自四月一日因此之中國一邊各商社。將以如何恢復戰後。殊爲問題。銀行。錢莊。錢業主其他各團體代表者等參集協議後。決定組織上海戰後商工業共濟會、積極的企圖復興。一面市民聯合會等各團體副委員會。開消戰前貸借利息。並決定其他方針。著々企圖進于恢復。

南州各郡下
水利組合
新豫算認可

臺南州下。各郡水利組合昭和七年度豫算。如已認可、嘉義郡水利組合。總額二十萬五百七十一圓。同年度中。民雄庄柳子溝圳取入區堰堤。由和蘭式改爲固定式。借入金十一萬圓。故以上總額。較諸前年。增八萬八千圓。新豐郡水利組合。一萬七千二百六十五圓。減前年二百八十八圓。新化水利組合。八千三十圓。減五千三百二十五圓。新營水利組合二萬五千八百十九圓。減五千九百四十六圓。斗六水利組合。九萬四千二百八十圓。減一萬五千六百八十八圓。虎尾水利組合。六萬五千四百六十五圓。減一萬一千二百六十三圓云。

內海知事巡視

內海新竹州知事。七日視察郡役所。農事試驗場等。八日午前十時七分出發。視察苗栗製油所。郡役所。庄役場。小公學校等。在北礦坑過夜。九日視察同所。並大湖。歸苗栗一泊。十日經公司寮。到竹南視察。然後歸廳云。

本島金移出額
最巨月七十萬圓
島人多以首飾變賣

客臘金再禁以來。滙水跌價。金塊騰貴。而本島亦自昨年末。金塊移出隆盛。本島人關係。只售于大稻埕商銀支店之金塊。爲數亦不少。由該支店移送于內地。一箇月達七十萬圓。而內地各方面。亦多流入金。致有相當存貨。因而買價稍跌。朝鮮亦買入金塊。故最近移向朝鮮者。亦達相當之數。然此情勢。唯比內地稍爲少量。若經相當期間。必至充足。至二月金售島外。一般的未普及。而入三月。因全般的賣出。故內地方面爲然。然現在已過盛期。又金塊市價。在臺灣各地所集價格六圓七十錢。此經大阪商人買入時。爲六圓九十錢。而日銀則購以七圓二十五錢。據商銀大稻埕支店長坂井原治氏談之。因金塊騰貴。賣金者續出。直接持至同店者有之。自昨年末至有將裝飾品變賣者。臺南支店亦有相當採買。惟最近已見停頓。顧銀行若致意採買。自有大利。然恐爲壓迫當業者。殊加相當考慮採買。日銀依前週滙水平均。而定金買入價。本週豫料跌下十錢云云。

日銀保證準備擴張所關
納付金制度大綱

七日東京電。日銀保證準備擴張所關。創設納付金制度。目下經大藏省調查中。其大綱如左。

一、創設納付金制度

保證準備。現在一億二千萬圓、擴張十億圓。且限保證發行稅一分二厘五毛。將日銀利益金之一部。納付國庫。保證發行突破十億圓時。則課制限外發行稅。而此只爲二分至三分之輕稅。或應其時。一任藏相自由裁量之兩論。然尚未決定。依此法國庫收入。比現在兌換銀行券發行稅應不致爲減稅。

二、納付金制度內容

(甲)由日銀利益金。取法定積立金。控除第一配當金六分。

(乙)其殘額之三分一。納付于政府。

(丙)由其殘額取第二配當四分。

(丁)更由其殘額。而取重役賞與。行員退職資金等。其餘充爲積立金。次期接越金等。

兩洋中學
臺北籌設分校

既報京都兩洋中學校。爲圖本島就學生徒之便。本年欲招募臺灣生徒百五十名。近因臺灣中等學校入學試驗競爭激烈。得此無試驗入學方便之門。人多趨之。來十八日臺北試驗後。試驗委員乃往臺中臺南舉行試驗。同本島自昭和三年招生以來。至今已第四年。雖無試驗。成績皆佳。其間優等生不少。同校英語教師猛卿陳有諒氏。日前已歸臺。來十二日便船。將再赴內地。志願者多欲隨其東上入學。按該校得橘浦伯及橫濱造船界巨擘奧田氏後援。計畫設分校于臺北。十月已由橘浦伯。致書於平塚總務長官。懇其援助建設分校之事。長官答以彼蒞臺未久。須再細查。如得許可。本校將支出鉅萬建設云

臺北釋尊降誕花祭
七日起各開講演會
十日于新公園舉祭

臺北市釋尊降誕花祭奉贊會。本年欲盛大興行。夜七日在龍山寺。開講演會。八日下午七時。假本社三樓開講演會。演題如下。就釋尊降誕。講師。岡田恭演師。龜山圓海師兩氏。另以兒童娛樂爲本位。同日下午六時半。臺北佛教日曜學校聯盟主開。假榮座開奉祝釋尊降誕花祭之夕。有兒童佛教舞蹈。童謠、遊戲、兒童劇、宗教劇、齊唱等十數回。入場券在東門曹洞宗別院。東本願寺等。以無料頒予希望者。來九日慰問。市內各病院患者。下午七時在日新町。開講演會。又十日花祭當日。集于若竹町法華寺。各宗僧侶及日曜學校生八百餘名。執旗行列。各信徒等護誕生釋尊佛。遊行市內。在新公園音樂堂。舉行大祭云。

平塚長官
來九日上京

平塚長官。將搭來九日蓬萊丸上京。豫定滯京十二日間。於二十六日入基隆港便船歸臺。主要政務。係豫算關係及其他雜務云

能高郡下
降雹

能高郡役所所在地。去六日早六時半。依然降雨。迨八時。忽降雹十數分間。附近一帶。變成銀世界。頗呈美觀云。

嘉義市役所
窮民救助
月一日實施

嘉義市役所。鑒于近時不況。人々苦艱增。自四月一日。設嘉義市窮民救助規程。對無扶養義務者。或有之而不能扶養之不具廢疾、疾病、老衰、幼弱者等。每月十五日。每名支

時評

○官界如走馬燈。更迭頻々。最近臺灣內閣。猶不能超越於中央政界。總督任期大抵一年內外。上下僚屬而交迭。固不待言也。

○官吏中警官尤易調動。人民疲於送迎奔命。而有酒肉場中人物。好事阿設。輒代發起宴會。臺北某課長。轉任南部某署長。拒謝該地送迎慶祝飲宴。多於臺北。

○最近某外勤監督調轉。又由數君宴合紳士。邀集二百餘名設祖道宴。論對官長表敬意固佳。但何必如此廣範圍也。

○入學難。就職難。生活難。今後失業日繁。物競天擇。適者生存。劣者當更慘敗。

○入學須學力金力。就職須能力。生活須智力。入學就職。有非人力所能強。惟生活一途。人々盡可研究經濟合理化。

○合理化云何。非吝嗇之意也。吾人有數月不沐浴而穿綢緞者。有日饗肥甘而病不知就醫者。有納龍崑厦屋而其子弟不就學者。諸如此類。不遑枚舉。又如迎神建醮。借錢宴客。養千斤巨豚。放終宵爆竹。此尤生活改善所不可忽也。

○食河豚中毒。動輒闔家殞命。而無知犯之者衆。各地方保甲或青年團。宜標示現物。多方宣傳。

方正地方激戰
敵死傷者數千名

六日哈爾賓電。村井○師團司令部發表。長谷部天野兩團。五日入方正城。三月以來同地之激戰。我負傷若松○隊長以下二十六名。戰死下士官以下九名。敵死者七百。負傷千八百。其他爲我飛行機之爆擊。敵死傷料有數千名。

國府議決發行
製絲公債千萬圓

七日上海電。國民政府行政委員會。自昨年末以來。爲陷于全滅狀態之中國造絲業者救濟。發行製絲救濟公債一千萬圓。製絲輸出稅減免。人絹輸入稅增課等。經于六日議決。而人絹對日本品。對最近[illegible]國製品。開始競爭。爲此關稅障壁。今後本邦人絹之輸出。應蒙相當影響。

慣竊運搬車

本居地高雄州東港郡東港街人。現住北港街北港。戶主黃水泉之弟黃飛田。年二十四。素不務正業。舉動不審。被愛甲黃兩刑事取調。發見其人。曾於昭和五年十一月下旬。竊取北港街北港陳清爽之運搬車一臺。價格十五圓。又昭和六年十二月三十日。竊同所黃地壁之運搬車一臺。價十八圓左右。翌日每臺以金八圓。轉賣于人。又本年三月十八日。竊取北港街許金亭。及李炎二名之運搬車各一輛。藏在已宅中。以上經一々自白。六日移送交嘉義檢察局究辦。

爲家中失金
取調其弟盜案

北港郡元長庄興寮人蘇阿麟家。前月二十二日。在自宅房中櫥屜內現金六十圓。被人盜去。經向當局報出。愛甲黃兩刑事。至現場檢視後。認賊必知內部事情。故嚴重偵察其家族行動。聞被害當日午後三時頃。被害者之實弟蘇清連。年二十五。與同庄內寮人姚勾。在同所北方蔗園中。賭撲投。蘇清連敗賭二十六圓。本月五日將關係者引置取調中云。

竊金屬現金
二千餘圓

臺北市建成町柴秋鴻。年二十四。曾竊盜貴金屬及現金約二千餘圓。二、三日前。被北署菊地。黃兩刑事檢舉。嚴重取調中。觀其竊盜方法等。

年一月十九日午前十一時。潛入市內大正町八條通本社記者衛藤氏宅。竊取貴金屬類五百餘圓之犯人。現詳細調查中云。

理髮工送院
爲竊主家金品

新竹北門中間政香。年十九。曾在基隆。臺北。新竹各方面。被傭爲理髮職工。就業中曾竊取七人現款。及理髮道具。並貴重品。者番被新竹署檢舉。取調結果。去六日送入檢察局待罪。

池中死體
住所氏名不詳

基隆市西町山中之池。去六日下午四時半。浮一中國人。年二十四五之溺死體。被通行人發見。報知于基隆署。吉川部長。赴現場檢視。住所氏名不詳。死因亦不明云。

大武崙炭坑
瓦斯爆發
三名負重傷

基隆大武崙炭坑名口。距離百四十八地點。去六日午後三時半。有同地坑內監督庚金木。年二十七。及運搬夫張心婦。年二十一。兩名提燈通行中。坑內鬱積之瓦斯。突然引火爆發。兩名顏面其他。負大火傷。立昇入基隆醫院治療云。

恐喝婦女無賴漢
被北署防犯係檢舉
自白有十數件

北署防犯係。偵知自一箇月前。有無賴漢出沒。對藝妓、席貸業之弱女。恐喝奪取金錢。乃由江島部長以下全員協力。搜查犯人。迨六日午後十時。忽於市內日新町席貸處。發見有一本島人。脅迫強要金錢。乃逮捕之到案。調查結果。知爲市內建成町一丁目三十六番地劉炳成。別名劉紅。年三十。爲前科二犯之無賴漢。自客臘失職。恐喝市內太平町四丁目百七十六番地。蔡氏查某。奪取四圓。後食髓知味。爾來互十數次。恐喝婦女。現正調查其餘罪云。

元派出所給仕
不正發覺

元基隆署元町派出所給仕林錦清。客年在職中。對管內住民託寫諸願時。強取手數料。又橫領他人報出之拾得物。更借用派出所勤務警官名義。凡數回不[illegible]行爲。近爲基隆署刑事探知。去七日由松野警部補等。召喚到署嚴究。同人亦在元町某官衙爲傭員云。

灘音吟社燈謎

三日汐止灘音吟社。祝五週年紀念燈謎。茲錄其一部如左。奠酒。千家詩一句。一滴何曾到九泉。廟門。揣名一。神戶。揣地名良人。字一。窺等下超生。古人名一。毛遂薦。合飲一杯古人名一。鍾會。今天甲子。畫搭句一。越翌日乙丑。

翰墨因緣

▲臺南桐侶吟社。創立十週年紀念。去三日午後二時。開於開南町醉僊閣旗亭。出席來賓有嘉義四部下。及高雄來者詠吟朋。合計南內外客二十餘名。先由陳[illegible]村氏。述開會辭。[illegible]廖緩榮氏。朗讀祝詩。已而共提春暖爲題。七律佳韻。每人定一首。六時交卷。共入吟疑。十時半過榜發散會。

▲羅東地方。此回由有志青年。楊慶富。林覺雍。林義氏外數名提倡。創設吟社。去三日。招請宜蘭仰山吟社。非贊助。李瑞[illegible]。陳[illegible]枝。簡荷生諸氏。是日午前十時。在羅東街楊慶富氏自宅。開宜蘭羅東兩處。詩會聯合組織。加入者約三十餘名出席。協議結果。皆表贊成。議舉。有伽吟。又有伯梁體以爲助興。正午一同受午宴饗應。酌酒論文。盡歡至午後三時閉會。

滿鐵副總裁更迭發令
後任八田嘉明氏

七日東京至急電。政府于七日。對江口滿鐵副總裁後任者。正式任命八田嘉明氏。

從四位勳二等　八田嘉明
任南滿洲鐵道株式會社副總裁
勳六等　江口定條
依願免南滿洲鐵道株式會社副總裁

滿洲國國勢調查
人口三千四百萬人

六日哈爾賓電。據滿洲國政府最初國勢調查。三月一日現在。人口三千四百萬人。面積七萬七千二百四十平方里。

海山
教員異動

新學期開始。全島各學校皆有相當異動。而海山郡之異動數。更爲激烈。即宜蘭坂公轉長北二公。後任爲樹林蘇澳郡視學。橋本山子腳公。轉調南港。後任石上板橋公首席。北島柑園公轉長瑞芳公。後任木木石碇公長。原川尖山公。轉淡水郡視學。岡三峽公。轉長羅東公校。後任宜蘭郡視學石井清氏。富川大埔公長免官。後任高口三重埔公首席。遠山彰和公長與北投帶刀公長交替。故郡下之小公學校長。未受波及者。僅存一二而已。

警官更迭

郡刑事主任川中警部補。當郡在勤。前後凡四年間。者番轉任臺北南署。爲外勤監督主任。其後任者。爲南署高橋平市警部補云。

竹山
院長來竹

臺中地方法院長。入里武八郎氏。去四日朝九時頃。偕大田書記到竹山。有朝倉郡守。佐々木司法警部。猿渡警部補。滕森登記所主任等。出爲迎接。嗣入同法院出張所。臨查事務。下午由猪股庶務課長。並外數氏。導往巡視街內。同三時歸去。

生筍盛出

竹山郡下。唯一大宗產物之孟宗筍。週日前降雨。俗謂雨後春筍。現陸續登市。日在竹山筍卸市場授受額。平均約七八萬斤。價格隨之降下。目下百斤三圓左右。

嘉義
電燈降價

嘉義電燈株式會社。月前出願料金改正。去三十一日認可。本月一日起。自五燭至千燭。全部降價。平均約一成。其他外燈。電扇料。電熱器料。電球交換料。器具貸附料。休止料等。亦各爲改正云。

躑躅盛開

山子頂公園溪流。昨年由市役所。栽植躑躅六百株。四月七八日起。約十日間滿開。園內闘花艷。供一般賞玩。

山地調查

郡下山地開發調查。經于三十一日終了。四日午後二時。在郡守公室。開調查報告會。報告調查經過。云成績良好。

阿里觀櫻

全島實業第十六回大會。三日開於嘉義。出席者十餘名。四日午前。視察烏山頭。第二班五十餘名。仍於同日午前。登阿里山賞櫻。而阿里山案內社。現再募阿里山櫻見學團。豫定九日早出發。翌日歸嘉。

新營
產組研究

新營郡產業組合研究會。昭和七年度豫算總會。去六日午前九時起。開於同郡役所樓上。是日有郡下各產業組合長。及專務理事出席。首由山口商工係主任。宣告開會。逐項熱心研究質問。至正午。通過原案。無事告畢。而歲入出。各千二百十圓。較前年度。增加百七十圓云。

調查戶稅

新營郡下各街庄役場。自四月一日起。各關係吏員。到各地總代處。忙於調查昭和七年度戶稅資料。

詩壇

基隆靈泉寺道中　高橋竹迷

羊腸徑折午雲遲。紫翠空濛草木間。蔭拂慈光拜何處。筍輿衝雨月眉山。

題靈泉寺

獅象双峰大雄。叢林清淨度禪風。幾時一掬曹溪水。流作靈泉到日東。

迷化道場自在。

臺南道中

日光如夏草如藍。風物自殊炎氣含。淡々平田三百里。蔗花榕樹入臺南。

結承風物句。

臺南寺示清水機雄師

五年相遇淚沾巾。夫子情鍾語最真。荷負法材宜精進。亮師吹起覺園春。

贈高雄南禪寺住職

父子天性。師禪家亦不能忘情。原本於太上。

南極禪風意氣豪。老僧提起活人刀。西來活道單傳久。大壽山頭霽色高。

核案子。一喝作三日聾。

訪潤庵先生

十載機緣一笑歡。風流千古此心丹。詩書有樂襟懷爽。尺寸園中天地寬。

次韻酬竹迷上人

蓬門寂寞有餘歡。不覓爐中九轉丹。難得晃師來訪我。

英美滙水　三弗八一仙
金塊行情　上海金塊　一七〇五兩
銀塊行情
倫敦現物　一七片[illegible]
同先物　一七片[illegible]
紐育現物　二八仙九〇
同先物　三〇仙九六
對外滙水
大連現物　六九圓三五
同先物　六九圓五五
倫敦電信　一志八片[illegible]
紐育同　[illegible]
孟買同　一〇九留比
新嘉坡同　[illegible]
爪哇同　[illegible]
馬尼剌同　[illegible]
上海(參考)　[illegible]
漢口同　[illegible]
福州同　七四圓[illegible]
廈門同　七四圓[illegible]
汕頭同　七四圓[illegible]
香港同　七六圓四分
廣東同　七六圓四分

今津佛國理學博士發明
驅蚊大王
專賣特許
イマヅの蚊取線香
人畜無害
到處商店有之
大阪大仁本町　今津化學研究所

漢文臺灣日日案內
[illegible]